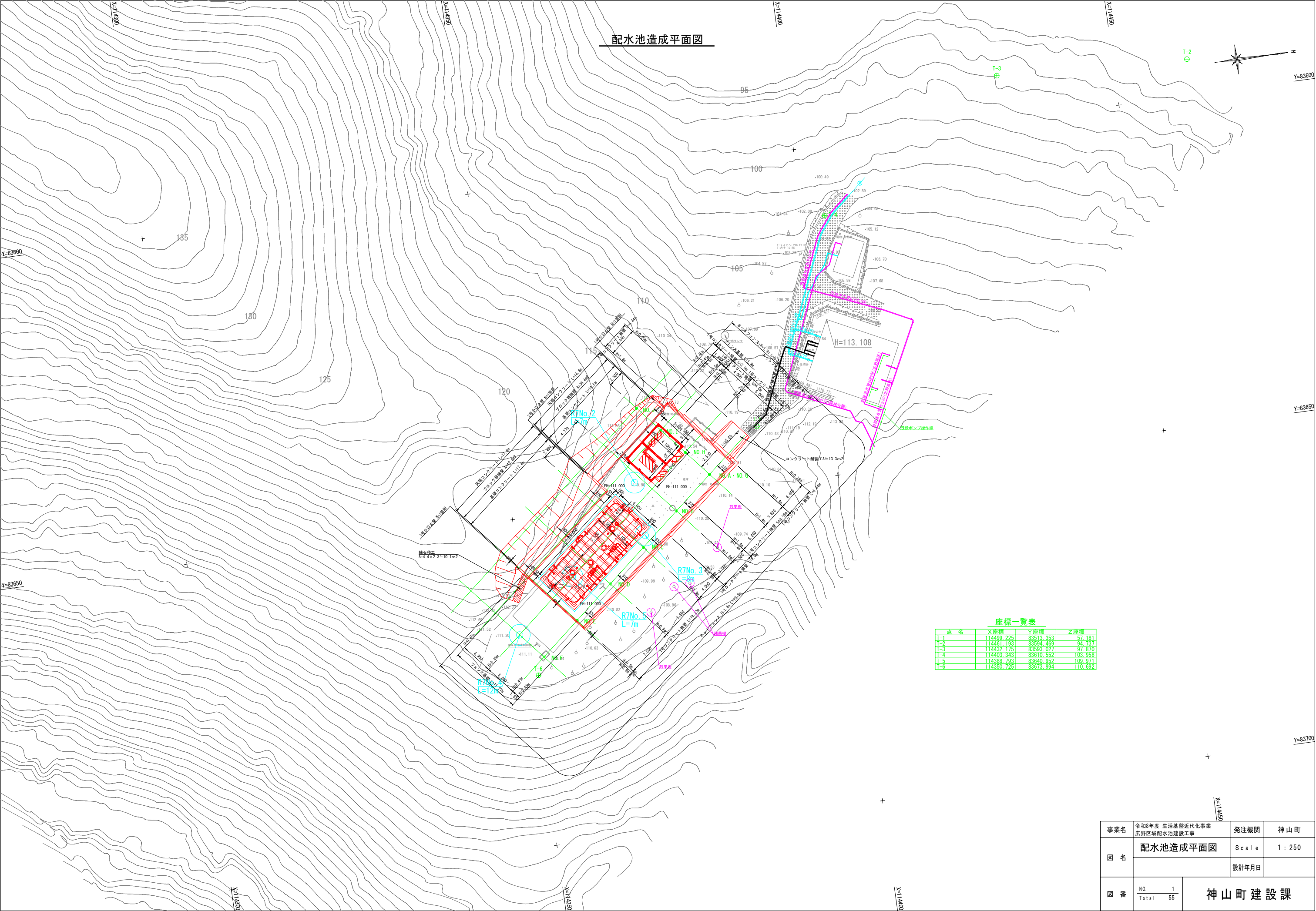




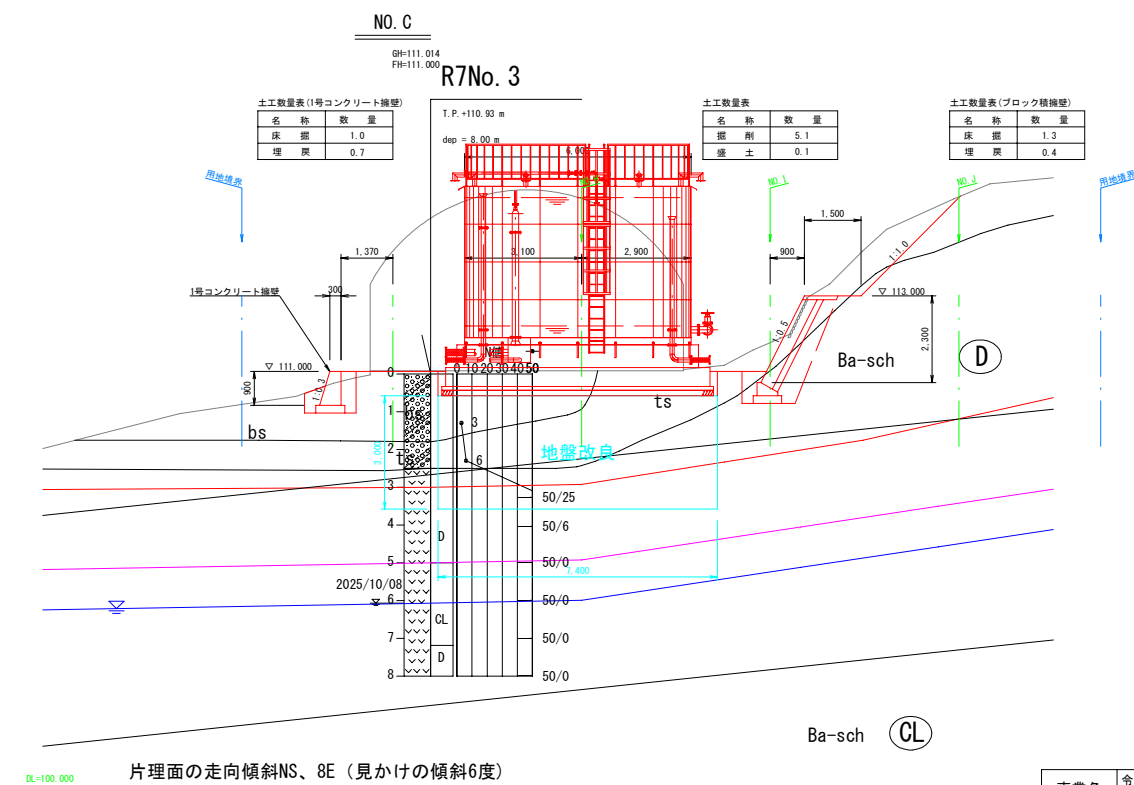
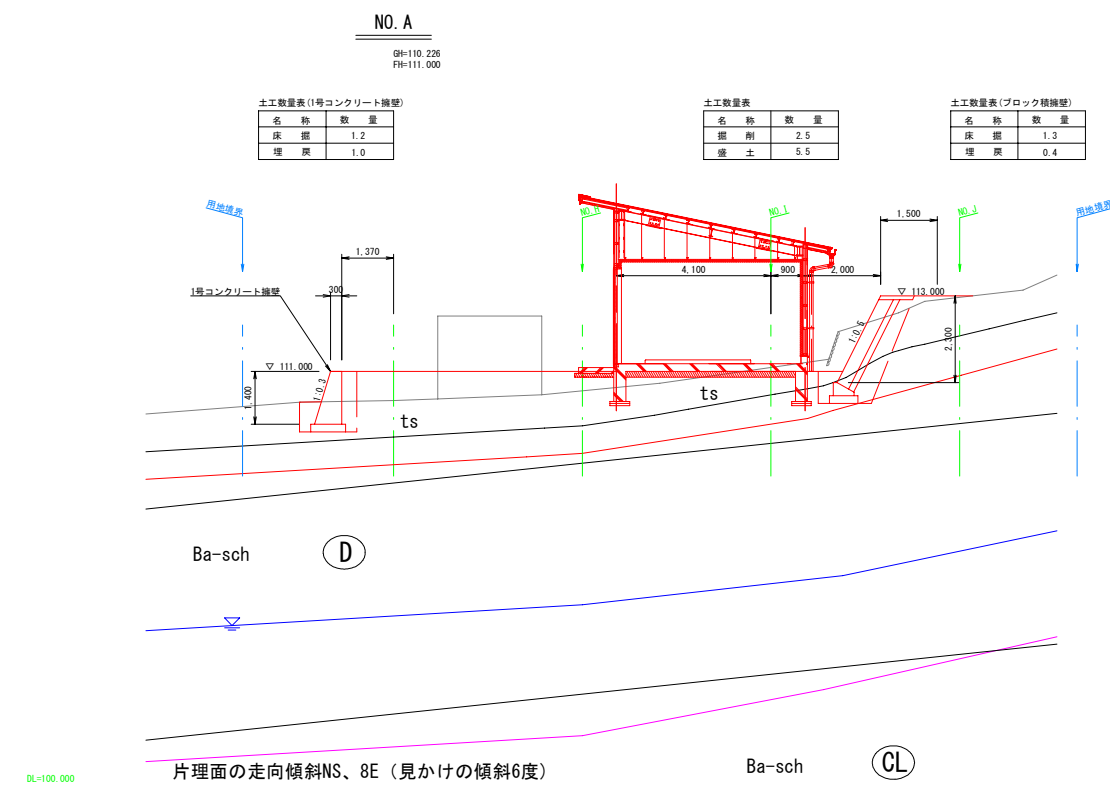
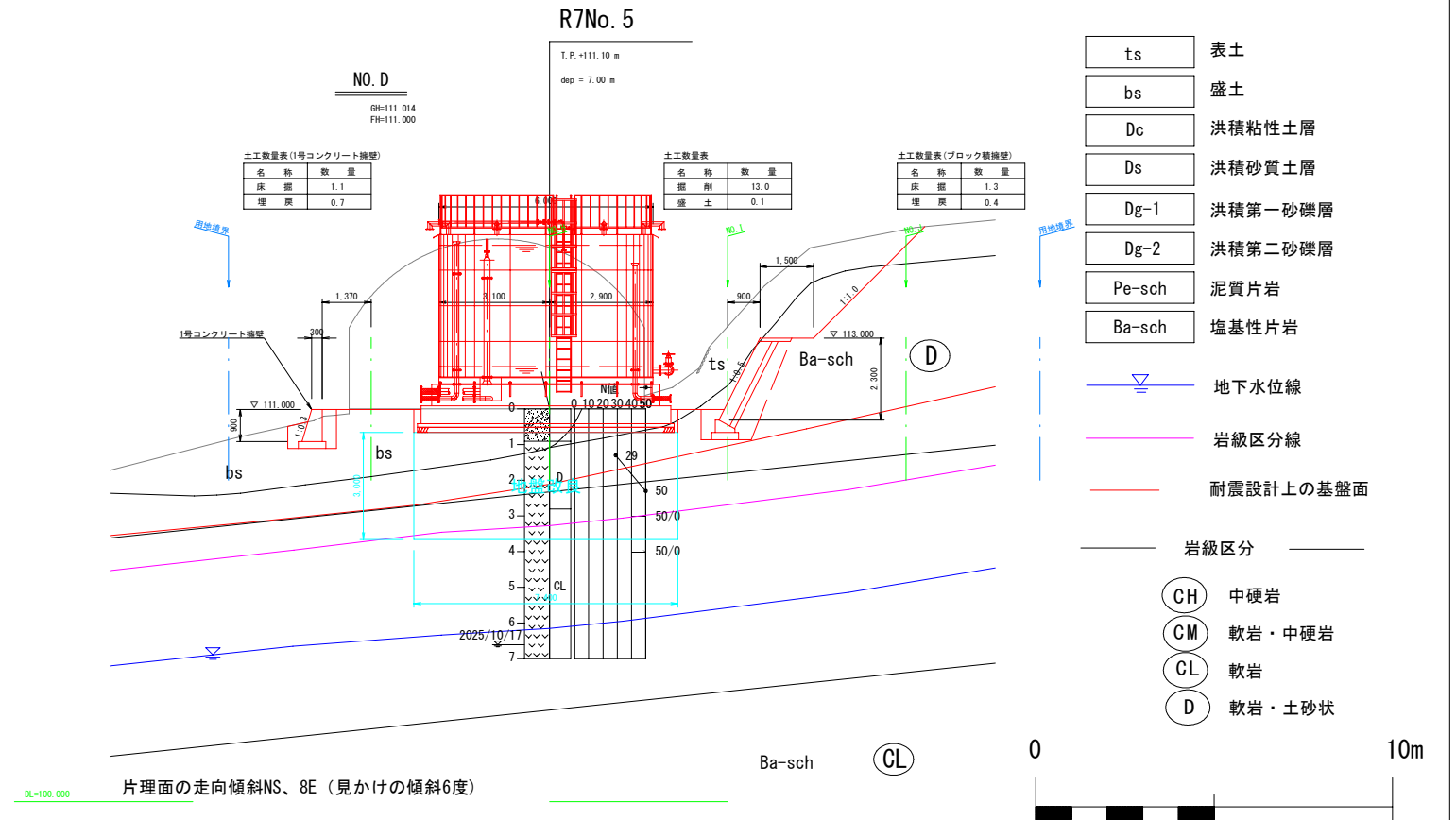
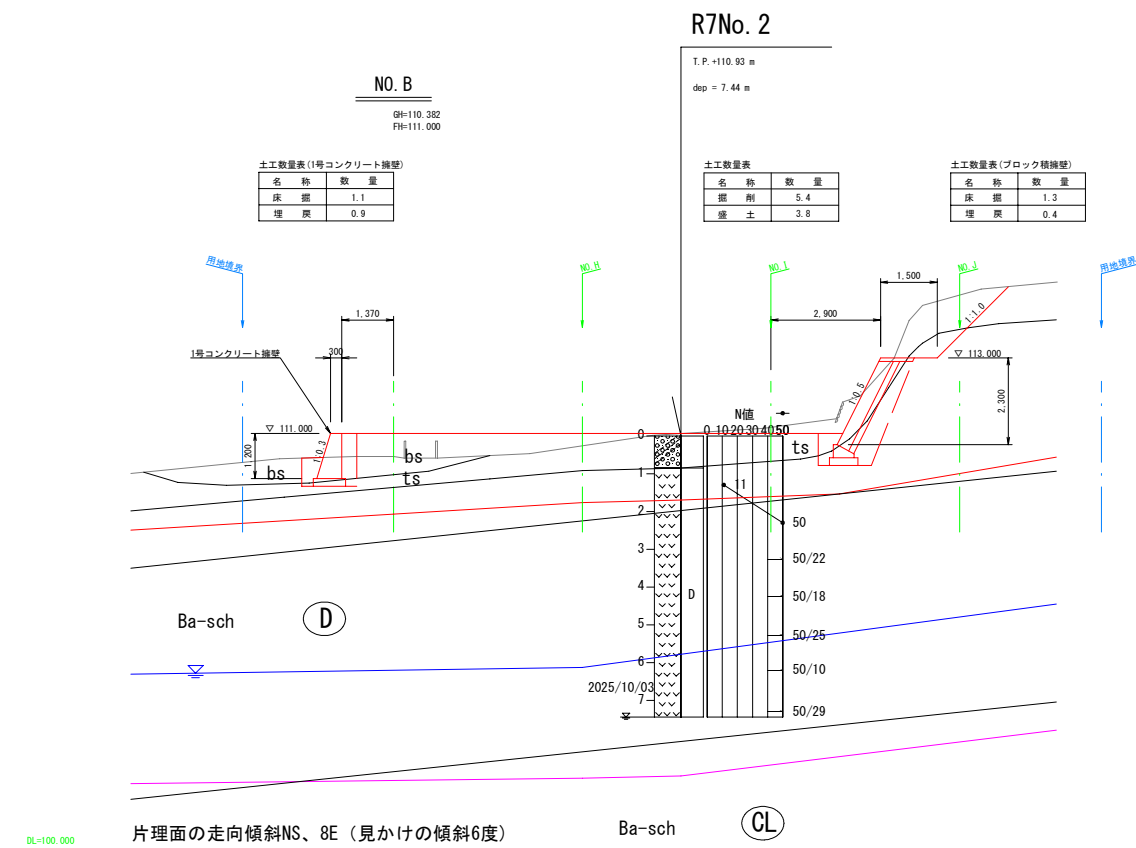
配水池造成平面図

座標一覧表

点 名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	114499.225	83513.353	97.181
T-2	114461.193	83594.469	94.737
T-3	114432.175	83593.027	97.870
T-4	114403.343	83610.552	103.958
T-5	114369.793	83640.952	109.911
T-6	114350.725	83673.994	110.692

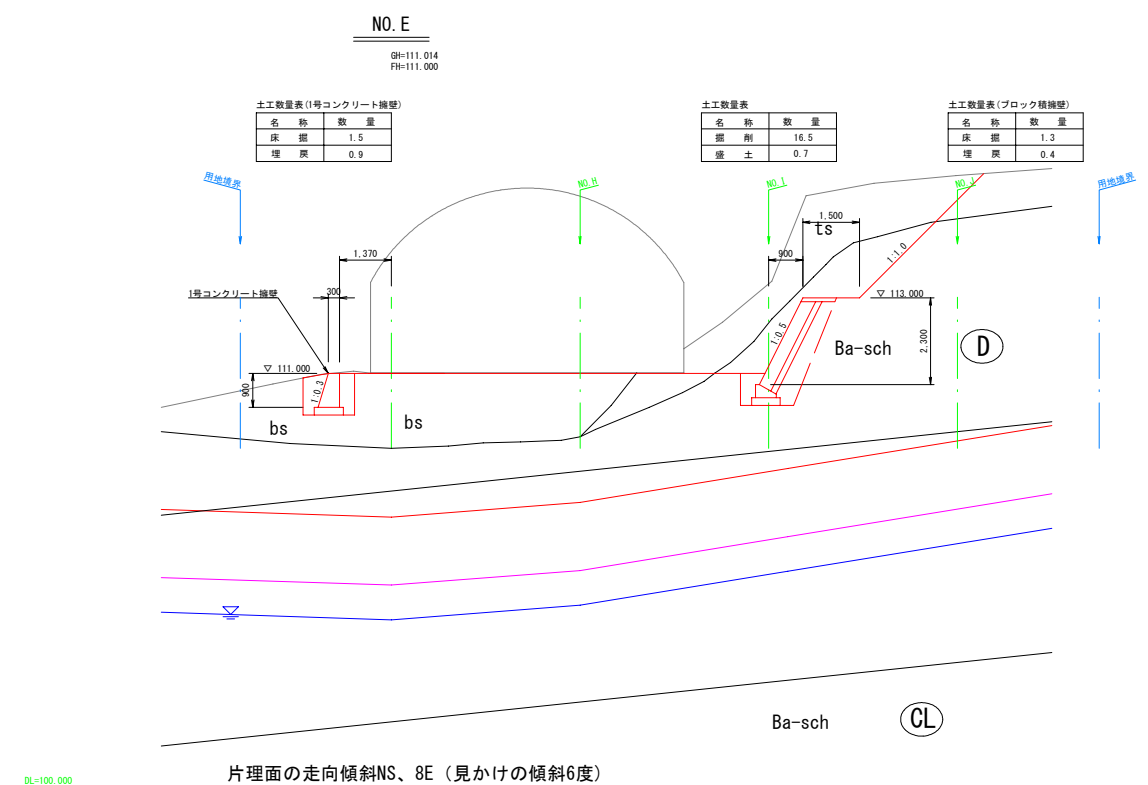
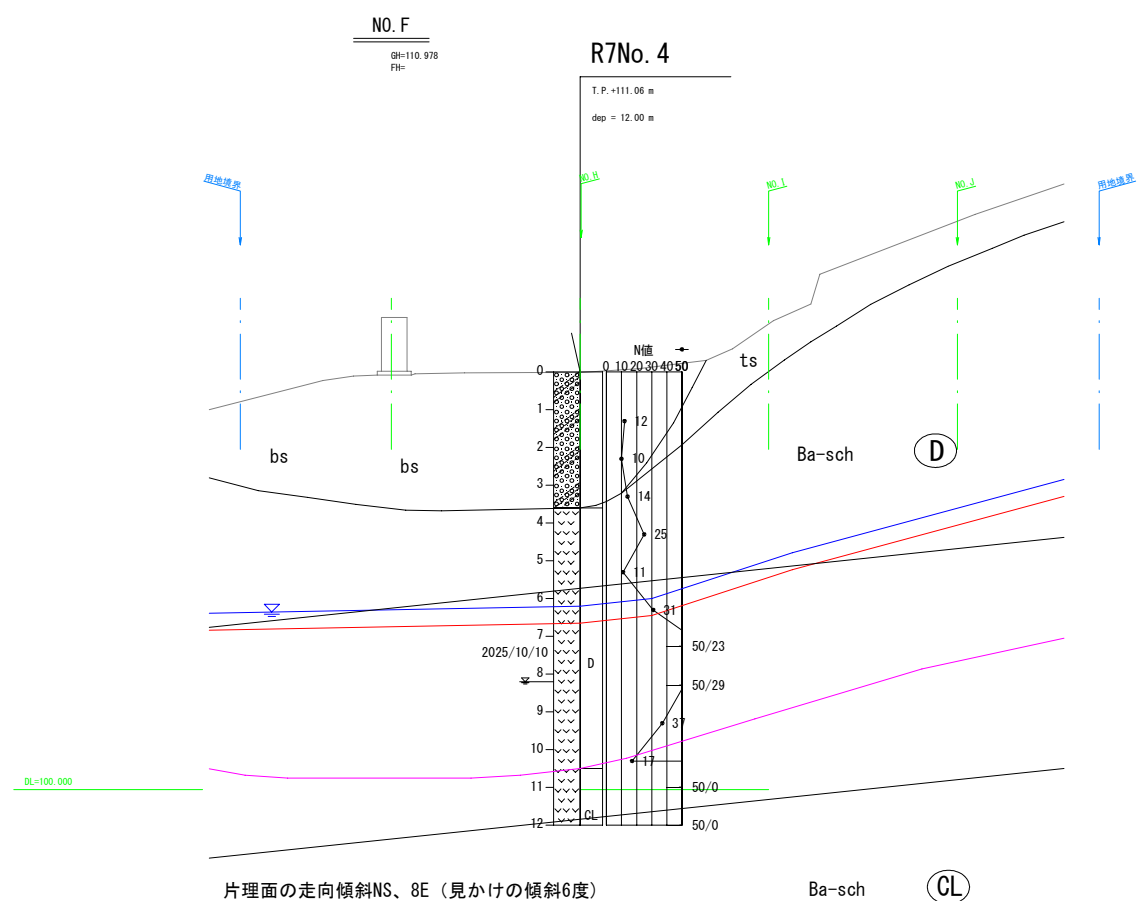
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町
図 名	配水池造成平面図		Scale	1 : 250
			設計年月日	
図 番	NO.	1	神 山 町 建 設 課	
	Total	55		

配水池造成横断面1



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池造成横断面図1	Scale	1 : 100
		設計年月日	
図 番	NO. $\frac{2}{}$ Total 55	神 山 町 建 設 課	

配水池造成横断図2



— 凡 例 —

ts	表土
bs	盛土
Dc	洪積粘性土層
Ds	洪積砂質土層
Dg-1	洪積第一砂礫層
Dg-2	洪積第二砂礫層
Pe-sch	泥質片岩
Ba-sch	塩基性片岩



地下水位線

—— 岩級区分線

耐震設計上の基盤面

———— 岩級区分 ————

CH 中硬岩

CM 軟岩・中硬岩

CL 軟岩

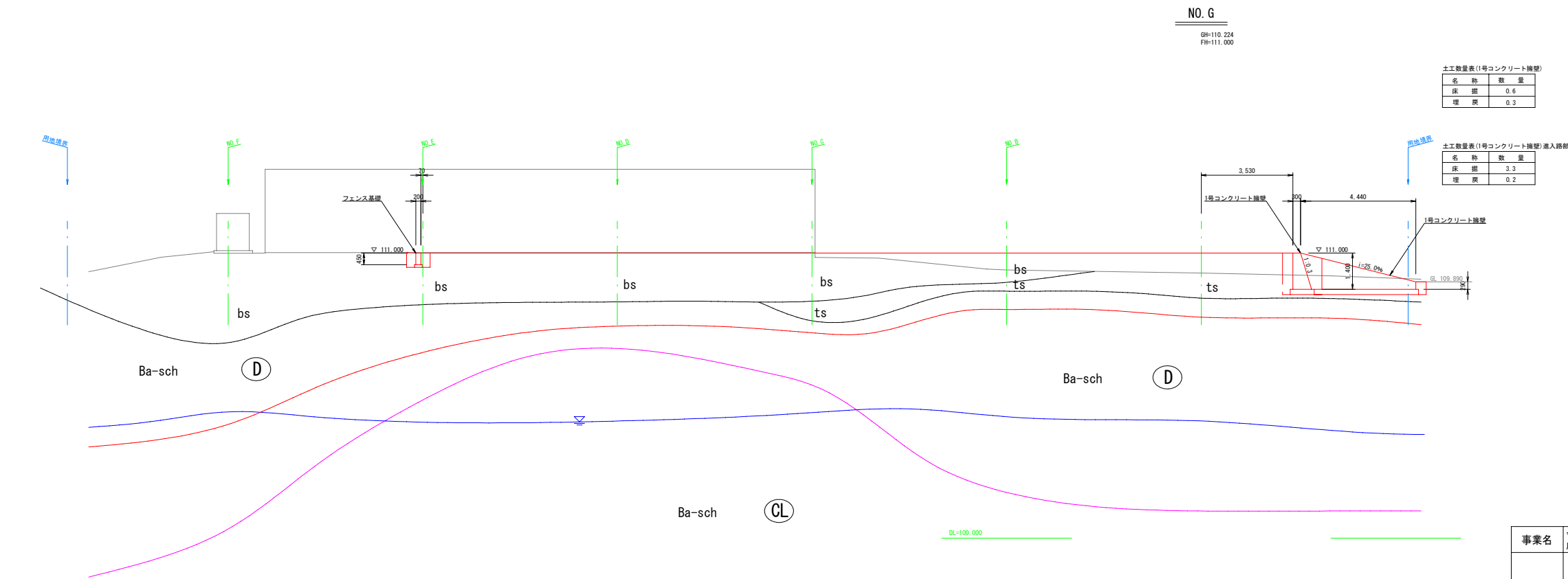
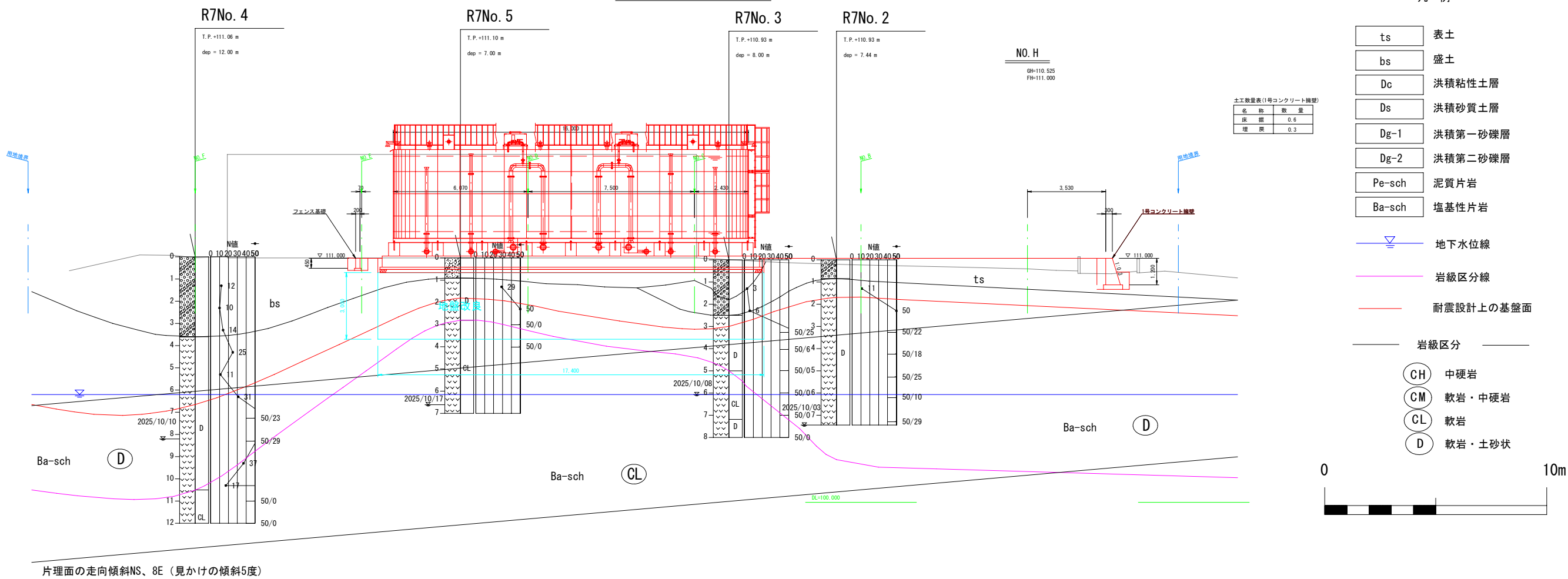
D 軟岩・土砂状



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池造成横断図2	Scale	1 : 100
		設計年月日	
図 番	NO. 3 Total 55	神 山 町 建 設 課	

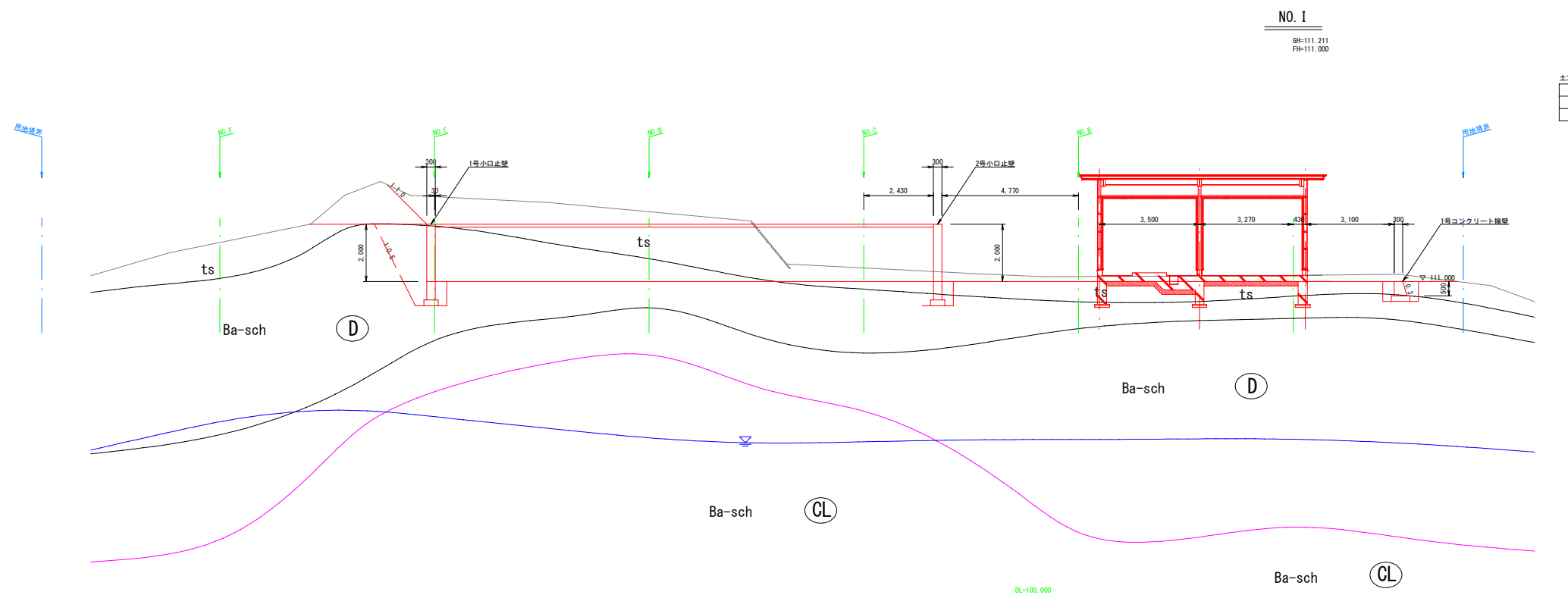
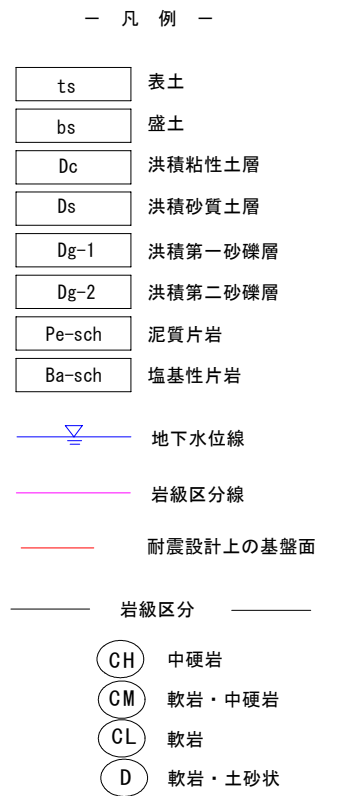
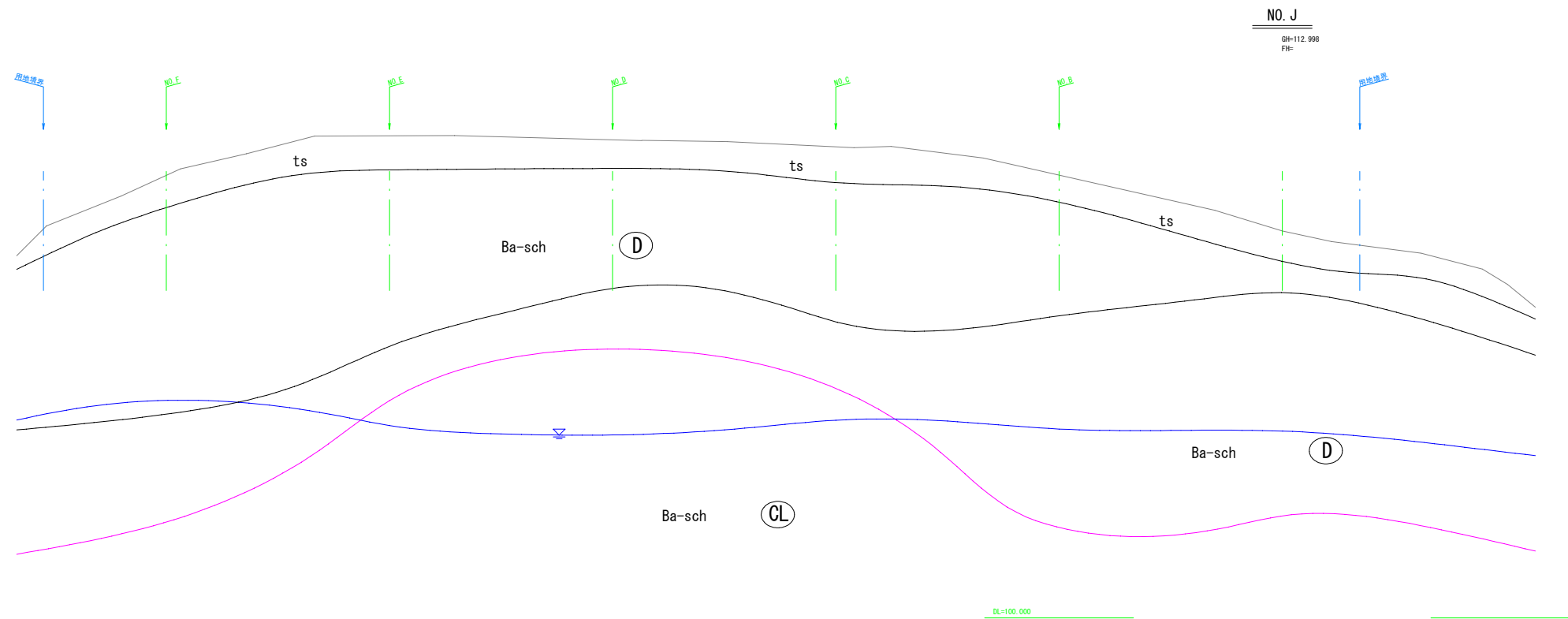
※谷側に向かって、0.5%の排水勾配を設けること。

配水池造成横断図3



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山町
図名	配水池造成横断図3	Scale	1:100
図番	NO. 4 Total 55	設計年月日	
神山町建設課			

配水池造成横断図4



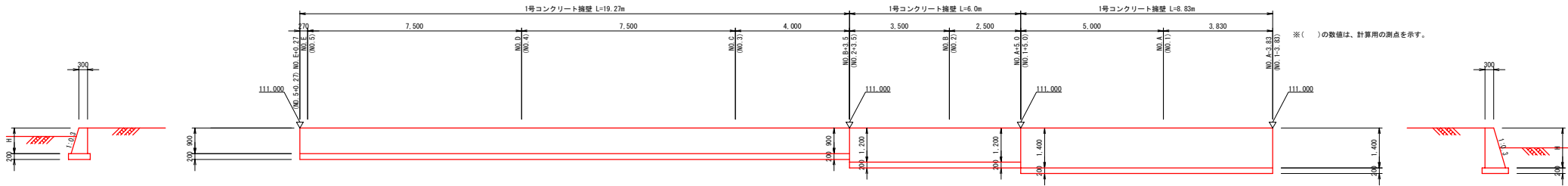
名 称	数 量
床 掘	0.4
埋 戻	0.3

※谷側に向かって、0.5%の排水勾配を設けること。

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山町
図 名	配水池造成横断図4	Scale	1 : 100
		設計年月日	
図 番	NO. 5 Total 55	神山町建設課	

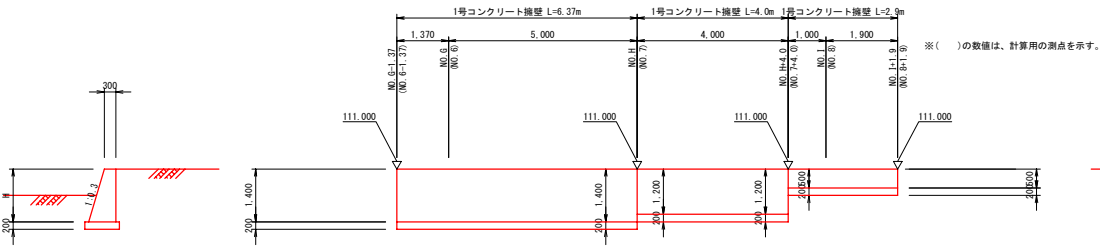
配水池擁壁展開図1

1号コンクリート擁壁展開図（東側）



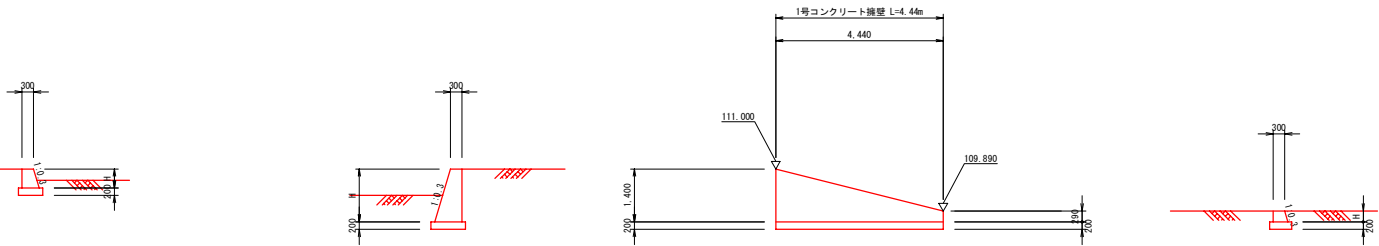
DL=105.000

1号コンクリート擁壁展開図（北側）

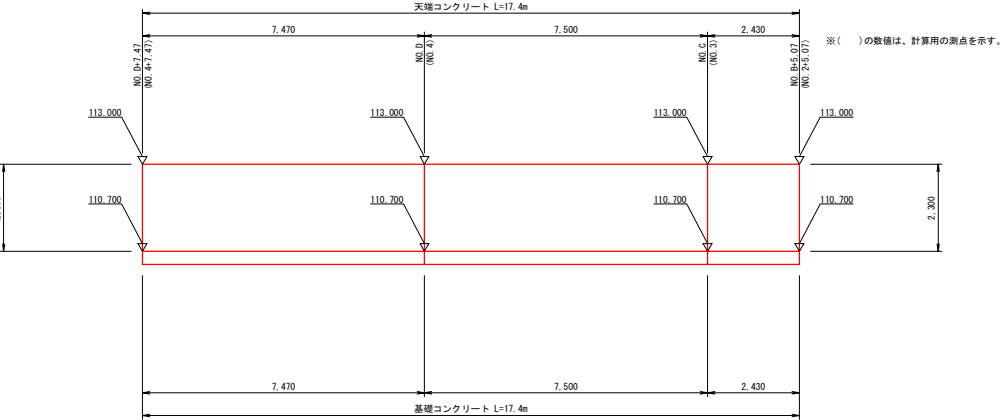


DL=105.000

1号コンクリート擁壁展開図（北側）

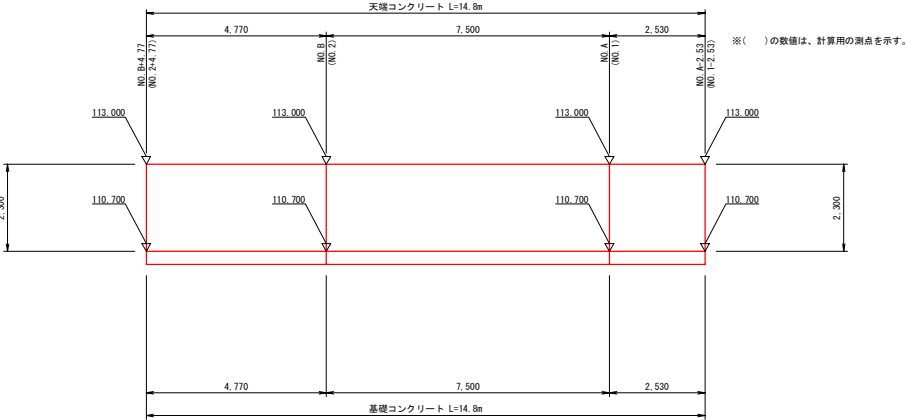


ブロック積擁壁展開図



DL=105.000

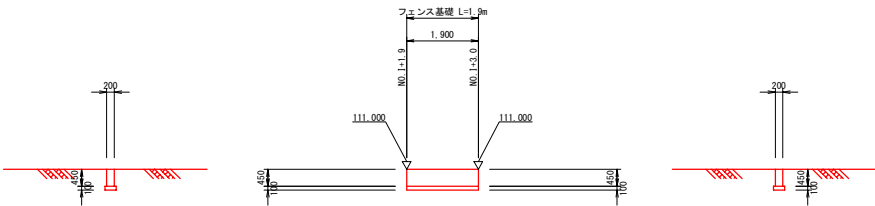
ブロック積擁壁展開図



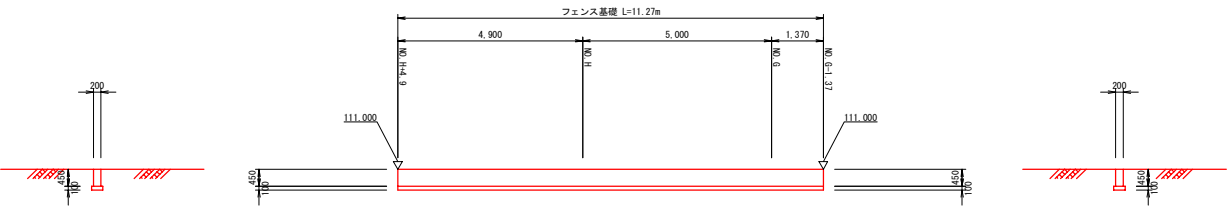
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池擁壁展開図1	Scale	1:100
図 番	NO. 6 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

配水池擁壁展開図2

フェンス基礎展開図（北側）



フェンス基礎展開図（南側）



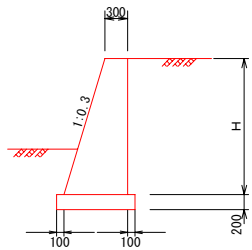
DL=105.000

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町
図 名	配水池擁壁展開図2		Scale	1:100
			設計年月日	
図 番	NO. 7 Total 55	神 山 町 建 設 課		

配水池造成構造図1

1号コンクリート擁壁

S=1:50



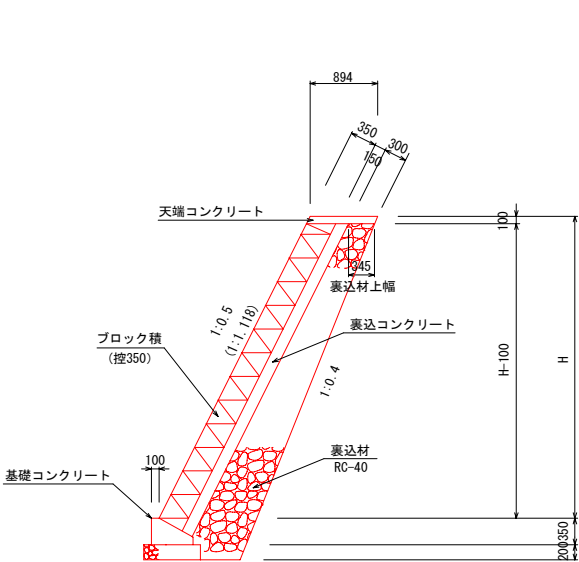
1号コンクリート擁壁

1.0m当たり

名 称	規 格	単 位	算 式
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	$0.15H \sim 2+0.3H$
型 枠	一般	m ²	$2.044H$
砕石基礎	RC-40 t=200	m ²	$0.3H+0.5$

ブロック積擁壁

S=1:50



★水抜パイプφ50 L=0.45m

吸出防止材 300×300×30

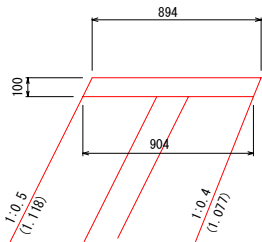
・ブロック天端より2.0m範囲内程度、
3.0m2に1ヶ所設置

ブロック積擁壁

ブロック積長	SL=1.118H-0.112 m/m (控350)
裏込コンクリート	0.168H+0.015 m ³ /m
裏込材	$0.05H \sim 2+0.39H+0.118$ m ³ /m

天端コンクリート

S=1:20



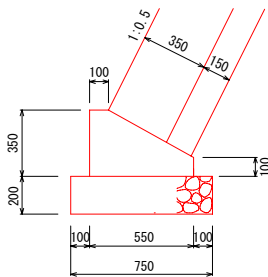
天端コンクリート

1.0m当たり

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	0.09
型 枠	一般	m ²	0.22

基礎コンクリート

S=1:20



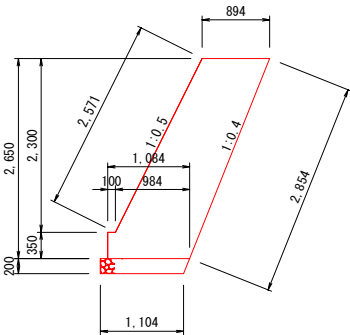
基礎コンクリート

1.0m当たり

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	0.136
型 枠	一般	m ²	0.45
砕石基礎	RC-40 t=200	m ²	0.75

1号小口止壁

S=1:50



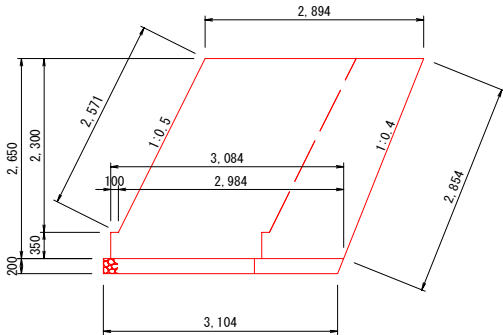
1号小口止壁

1.0箇所当たり

名 称	規 格	単 位	算 式
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	0.82
型枠	一般	m ²	7.2
砕石基礎	RC-40 t=200	m ²	0.3

2号小口止壁

S=1:50



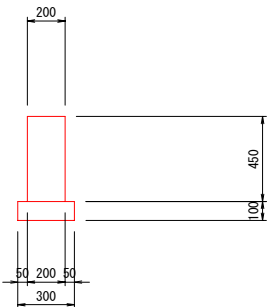
2号小口止壁

1.0箇所当たり

名 称	規 格	単 位	算 式
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	2.41
型枠	一般	m ²	17.8
砕石基礎	RC-40 t=200	m ²	0.9

フェンス基礎

S=1:20



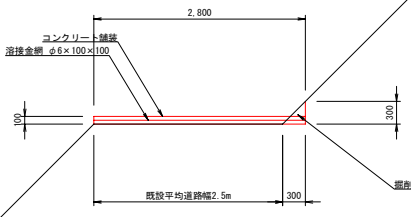
フェンス基礎

1.0m当たり

名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	0.09
型 枠	一般	m ²	0.9
砕石基礎	RC-40 t=100	m ²	0.3

既設道路補強

S=1:50



既設道路補強

1.0m当たり

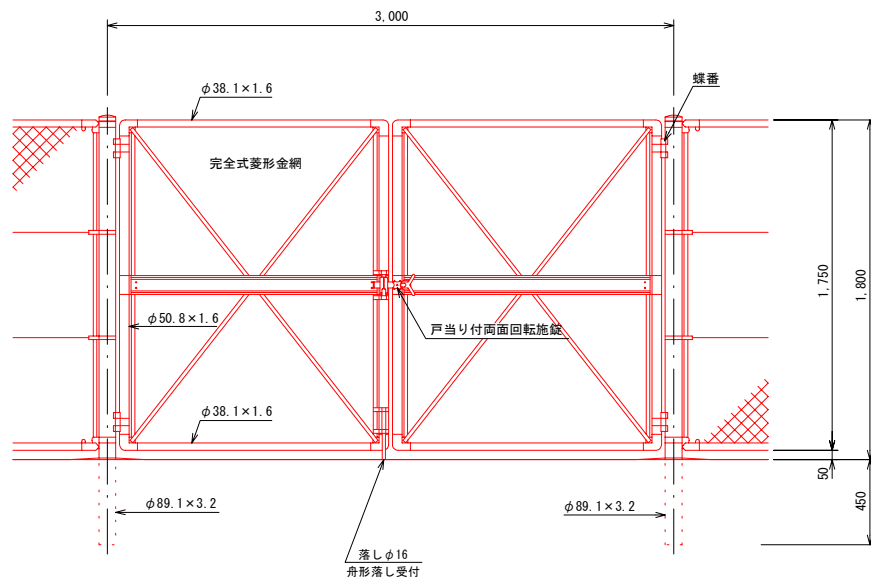
名 称	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18\text{N/mm}^2$	m ³	0.28
型 枠	一般	m ²	0.1
溶接金網	$\phi 6 \times 100 \times 100$	m ²	2.8
掘 削		m ³	0.1

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池造成構造図1	Scale	図 示
図 番	NO. 8 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

配水池造成構造図2

ネットフェンス門扉

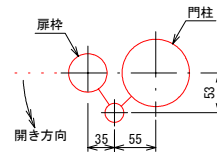
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



設計条件
設計荷重…昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件…長期許容地耐力 98kN/m²(10t/m²)

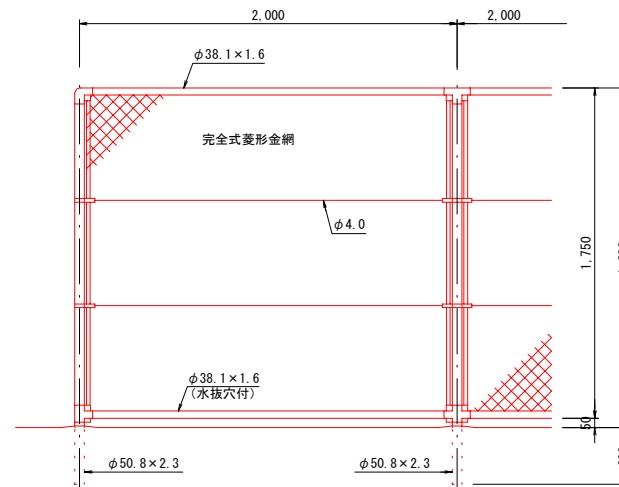
備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は旋錠側180°開き、旋錠側落しとする。

門柱・扉枠位置関係図



ネットフェンス

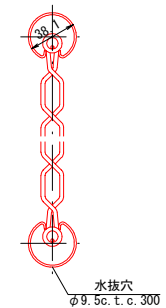
(昭和56年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



設計条件
設計荷重…昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件…長期許容地耐力 98KN/m²(10t/m²)

備考
1. 外装は金網類を除く他は熔融亜鉛めっきとする。
2. 本欄の金網規格は下記の通りとする。
φ2.6×40mm、φ2.6×56mm
φ3.2×50mm、φ3.2×56mm

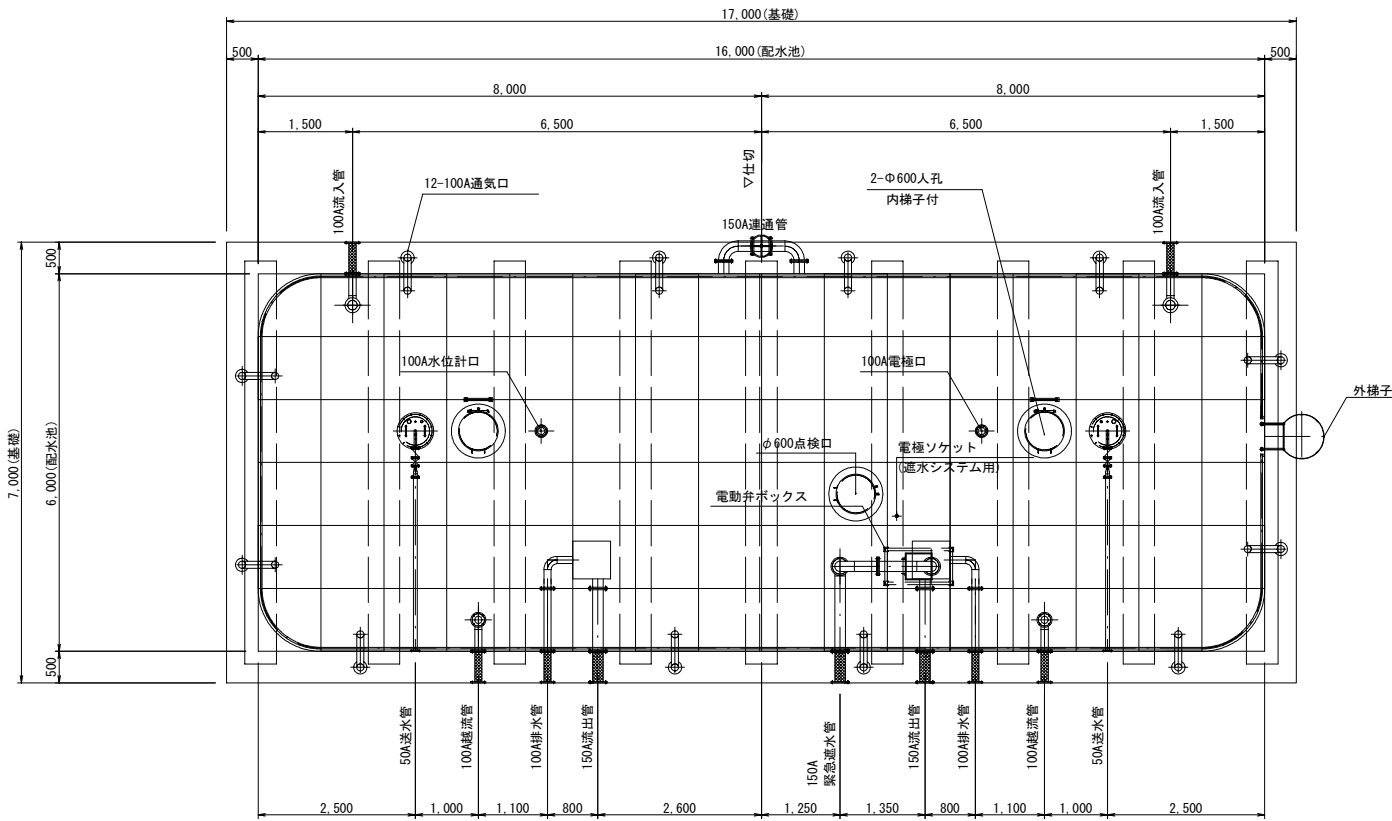
洞縁に金網取付断面図 S=1:3



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池造成構造図2	Scale	図示
		設計年月日	
図 番	$\frac{NO. \quad 9}{Total \quad 55}$	神 山 町 建 設 課	

配水池一般構造図

本体平面図

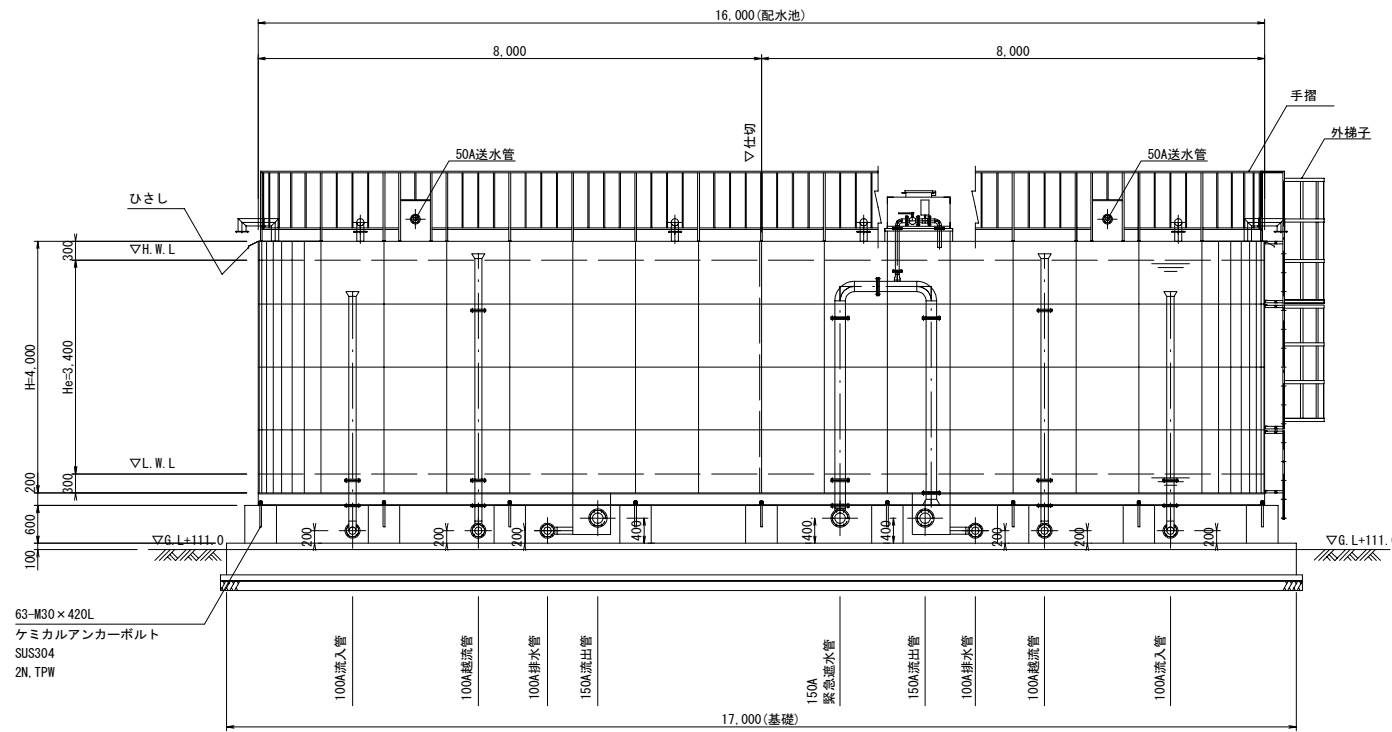


ステンレス鋼板製配水池仕様				
有効容量	324m3 2池式			
本体寸法	6000 × 16000 × 4000H			
本体材質	天井板	防眩	t1.5	SUS329J4L
	側板4段目	防眩	t1.5	SUS329J4L
	側板3段目	防眩	t2.0	SUS444
	側板2段目	防眩	t2.5	SUS444
	側板1段目	防眩	t2.5	SUS444
	仕切板4段目		t1.5	SUS329J4L
	仕切板3段目		t2.0	SUS444
	仕切板2段目		t2.5	SUS444
	仕切板1段目		t3.0	SUS444
	底板		t2.5	SUS444
受 台	C-200×90×8×13.5			SS400
	C-100×50×5×7.5			SS400
設計水平震度	KH =1.15 (レベル2 I 種地盤)			
積 雪	0.6mH × 2.0kN/m/m2 = 1.20kN/m2			
質 量	本 体	12080 kg		
	受 台	5350 kg		
特 記	本体溶接構造			
	内部構造はフレーム&パネル構造			
	池底はフラット構造			
	2mH増強レス構造			
	側面・天井面 防眩仕様とする			

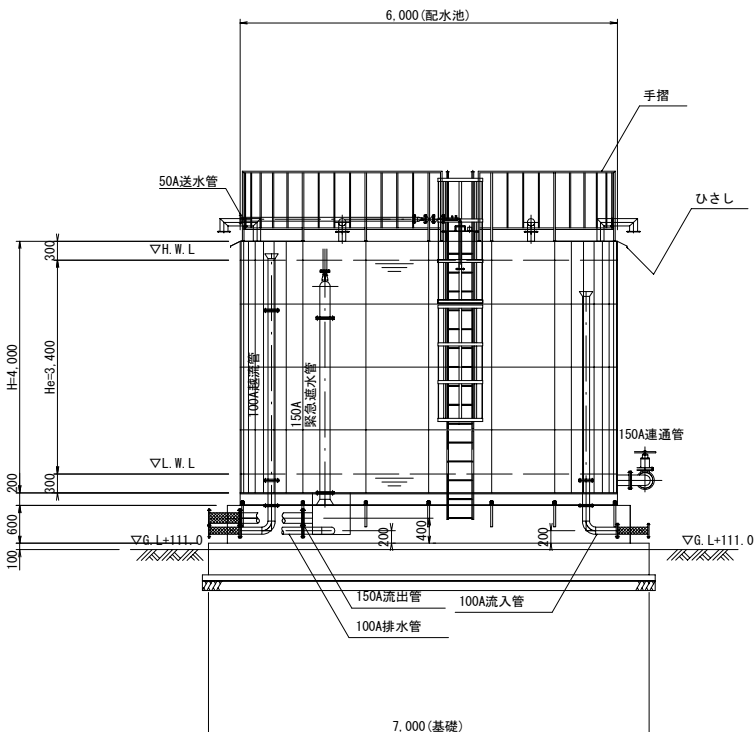
名 称	材 質	寸 法	個数	備 考
流入管	SUS304	100A	2	上水F SUS304
流出管	SUS304	150A	2	上水F SUS304
越流管	SUS316 SUS329J4L	100A	2	上水F SUS316
排水管	SUS304	100A	2	上水F SUS304
連通管	SUS304	150A	1	上水F SUS304
緊急遮水管	SUS	150A	1	上水F SUS304
送水管	SUS329J4L SUS304	32A - 50A	2	10KF, SUS316, SUS304

名 称	材 質	寸 法	個数	備 考
入 孔	SUS329J4L	φ 600	2	旋錠式
点検口	SUS329J4L	φ 600	1	旋錠式
通気口	SUS329J4L	100A	12	防虫網付 ベンド式
内梯子	SUS444 SUS329J4L	330 × 300	2	
外梯子	SUS304	400 × 300	1	20A, RB16
手 摺	SUS304	1100H	1	20A, 10A
ひさし	SUS444	W150	1	
水位計口	SUS329J4L	100A	1	5KF, SUS304, 防波筒付
電極口	SUS329J4L	100A	1	5KF, SUS304, 防波筒付
電極ソケット	SUS316	50A	1	緊急遮水システム用
電動弁ボックス	SUS		1	緊急遮水システム用

本体立面図



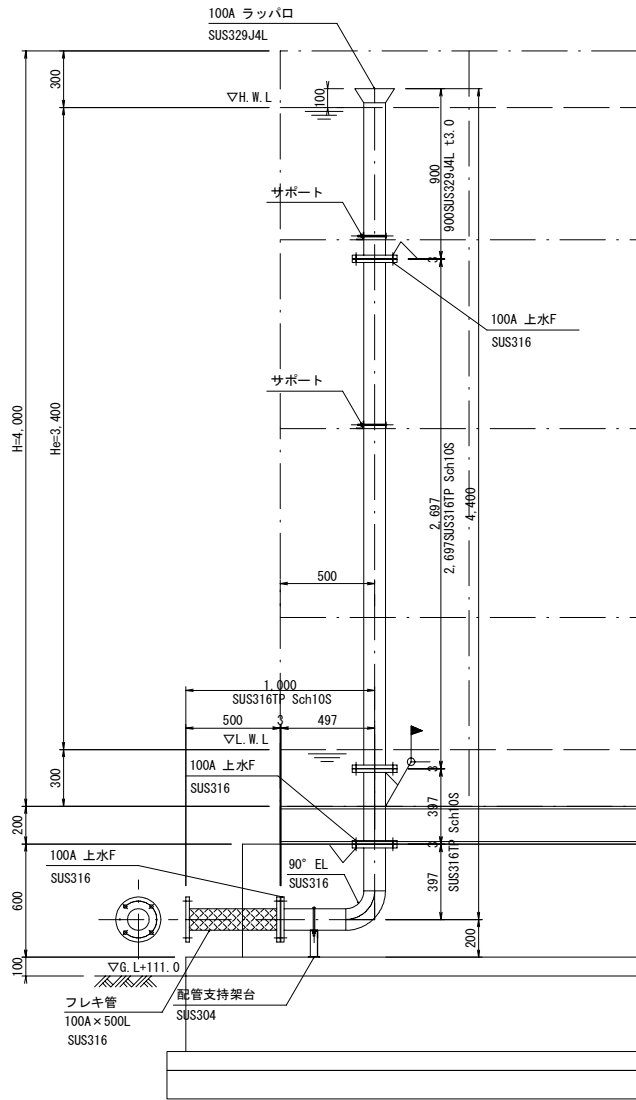
本体側面図



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池一般構造図	Scale	1:60
		設計年月日	
図 番	NO. 10 Total 55	神 山 町 建 設 課	

100A越流管 詳細図

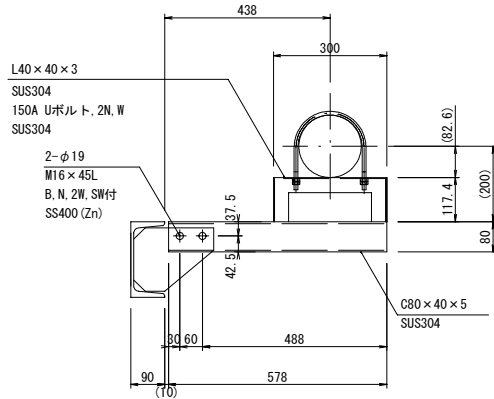
N=2箇所



連通管用
150A配管支持架台詳細図

S=1:10

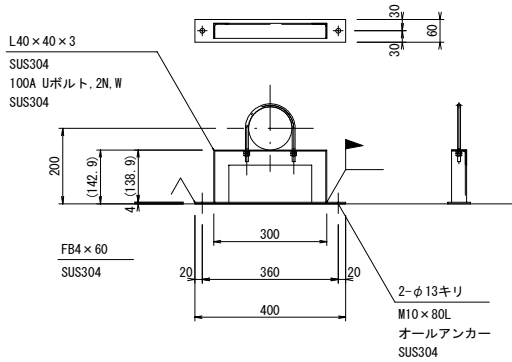
N=2箇所



100A配管支持架台詳細図

S=1:10

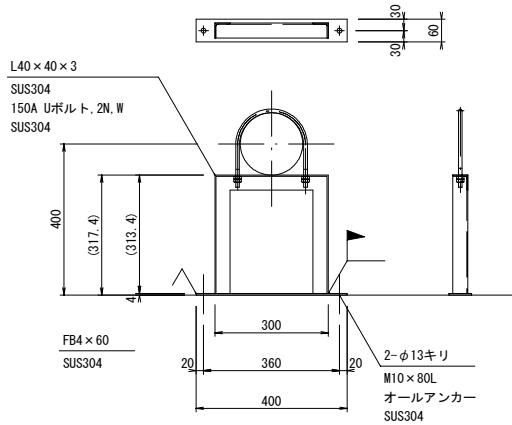
N=6箇所



150A配管支持架台詳細図

S=1:10

N=4箇所

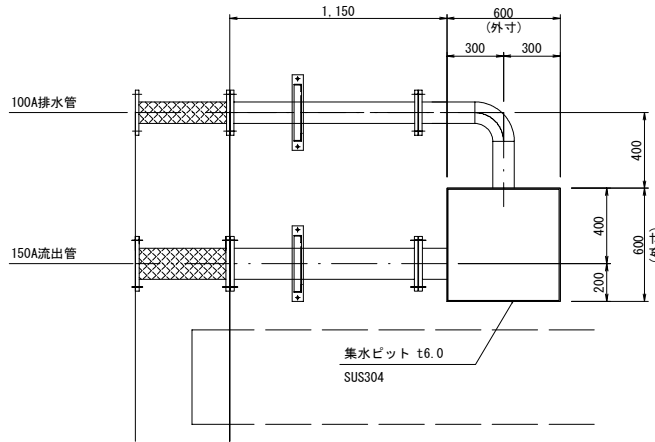


配水池配管詳細図(1)

S=1:20

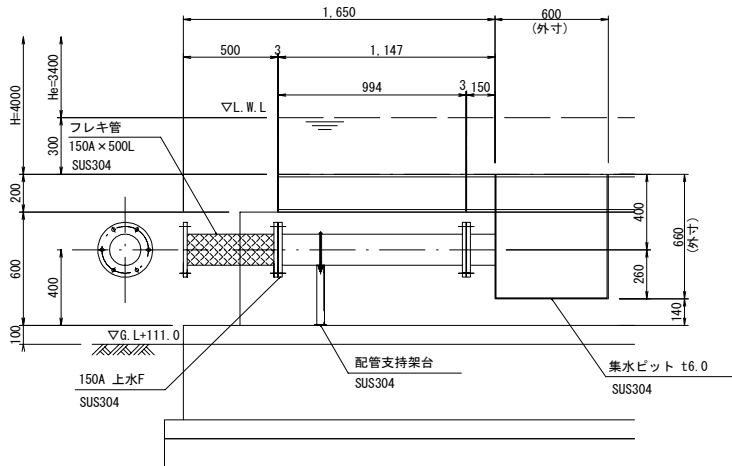
集水ピット 詳細図

N=本図の物 1箇所
対称の物 1箇所



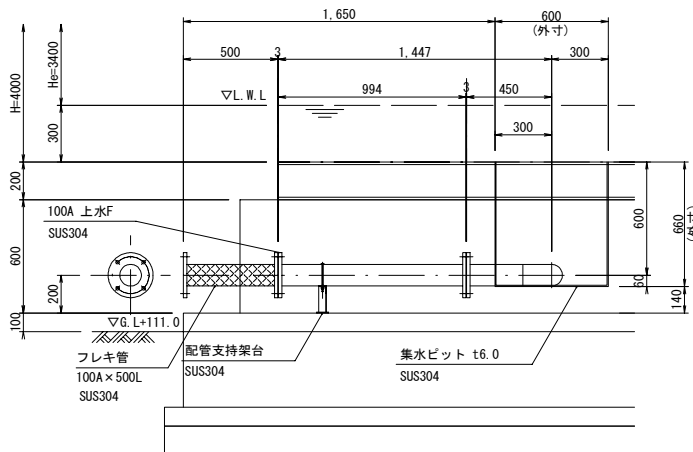
150A流出管 詳細図

N=2箇所



100A排水管 詳細図

N=2箇所



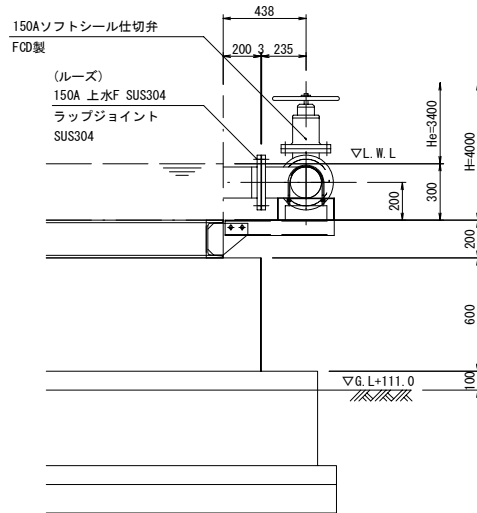
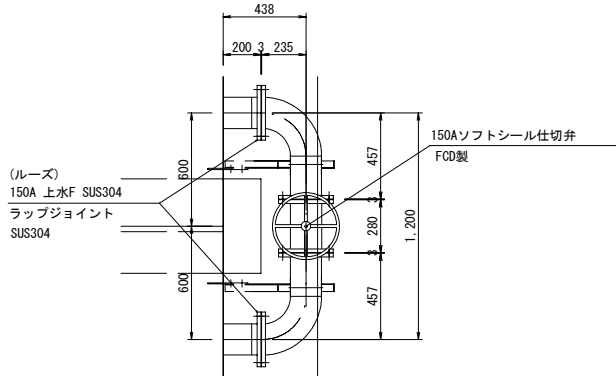
※記入なきフランジは、上水F SUS304とする。

※記入なき配管は、SUS304TP Sch10Sとする。

※記入なき曲管は、90° ロングエルボ SUS304とする。

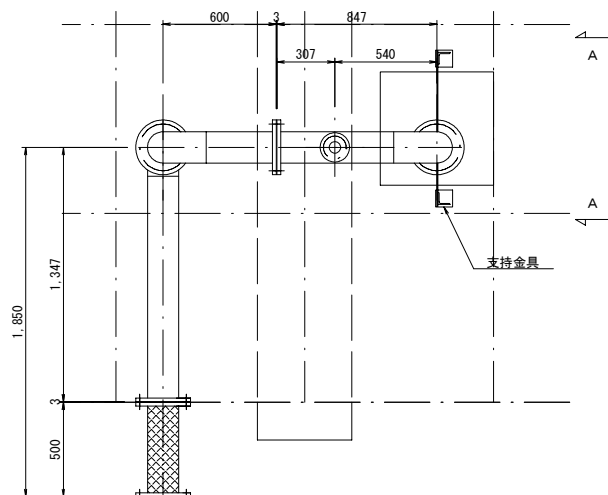
150A連通管 詳細図

N=1箇所

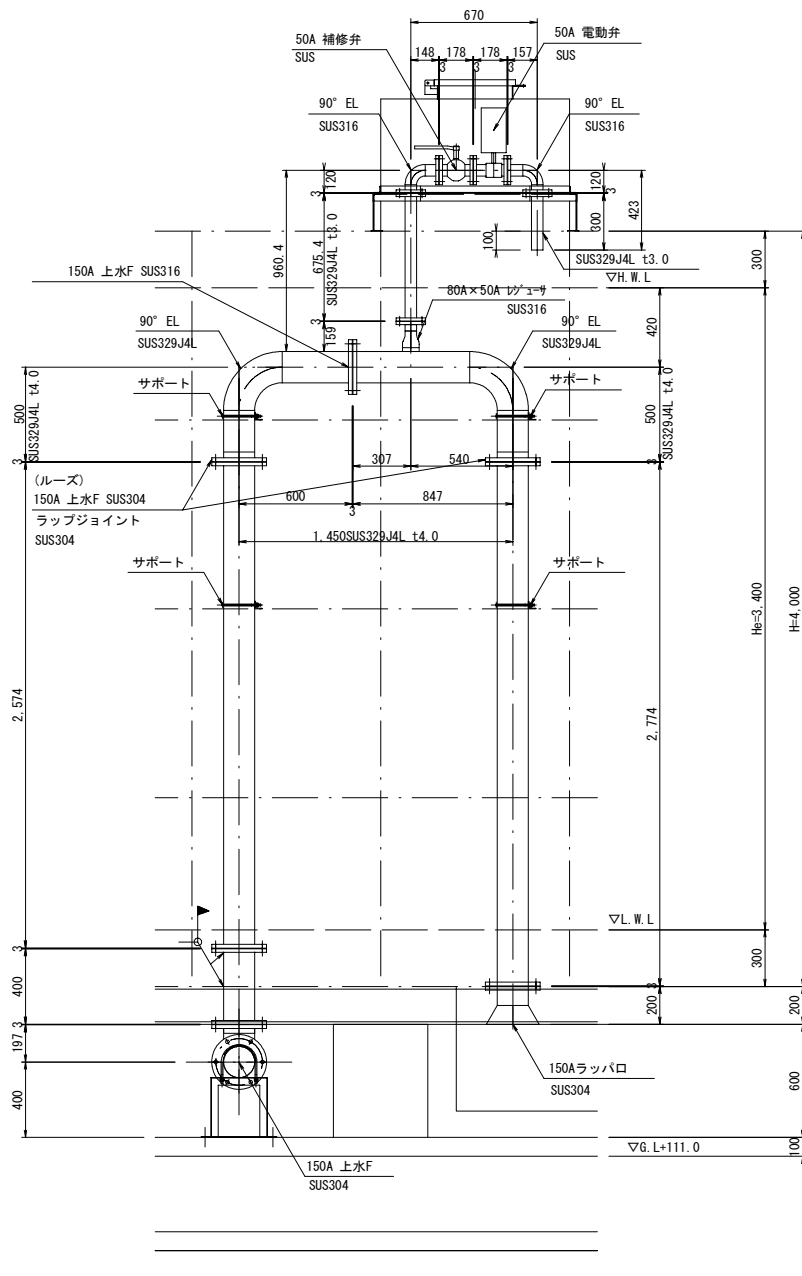


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池配管詳細図(1)	Scale	図示
図 番	NO. 11 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

平面图



立面图



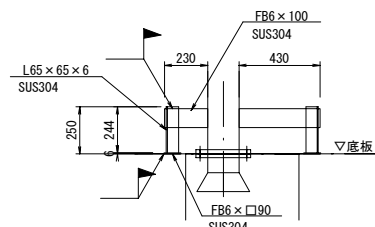
配水池配管詳細図(2)

150A緊急遮水管 詳細図

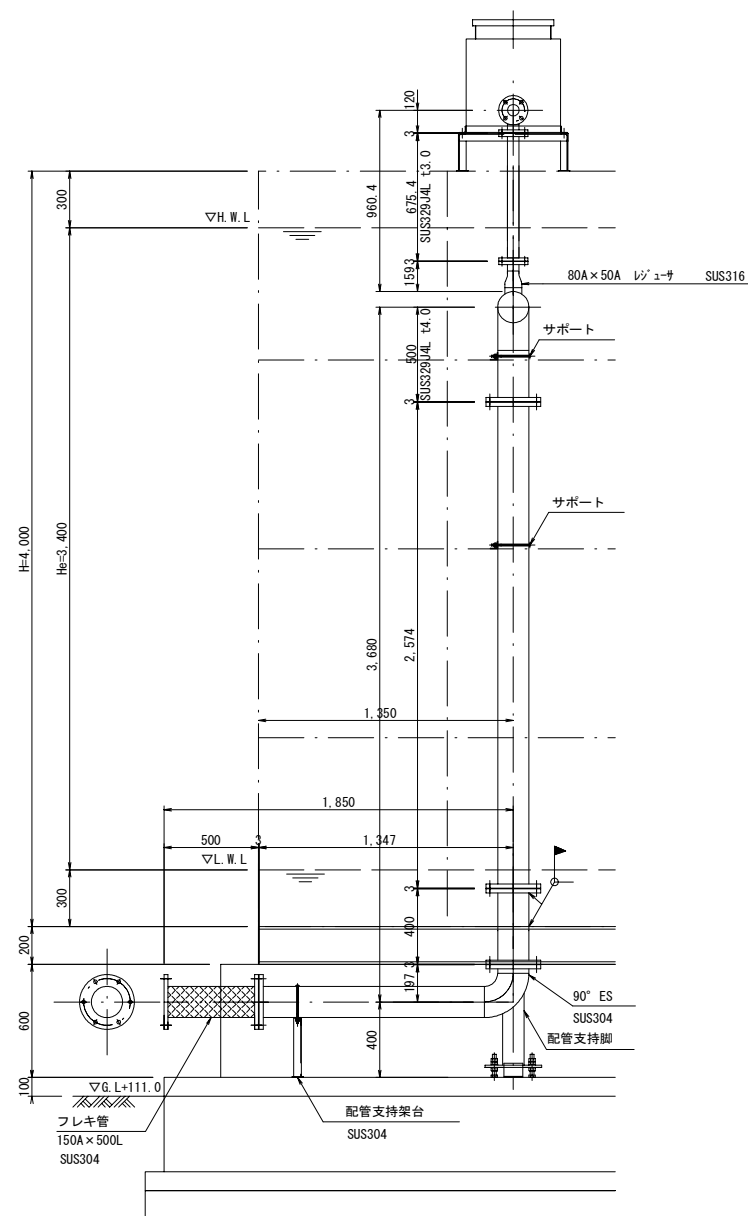
N=1箇所

A-A 矢視図

N=1箇所



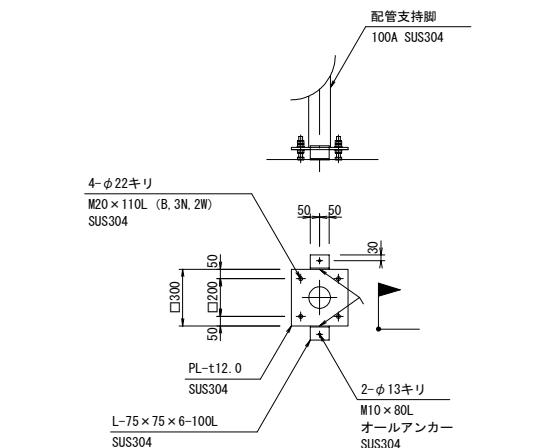
側面図



150A用配管支持脚詳細図

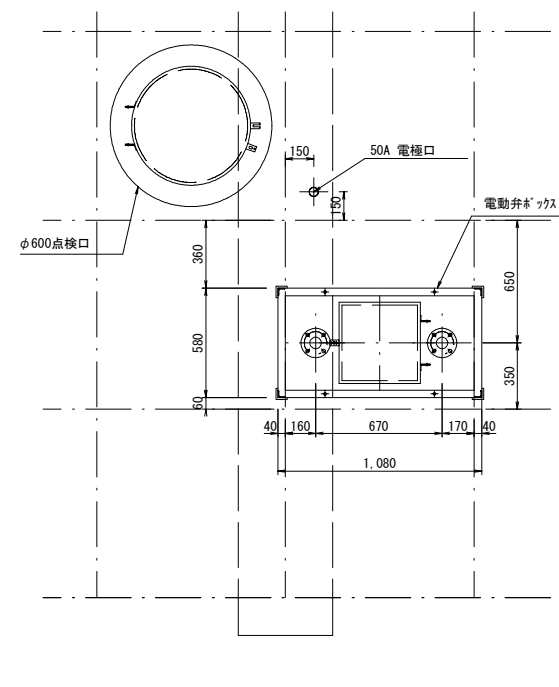
S=1:20

N=1箇所



平面図(屋根部)

N=1箇所



※記入なき50Aフランジは、10KF SUS316とする。

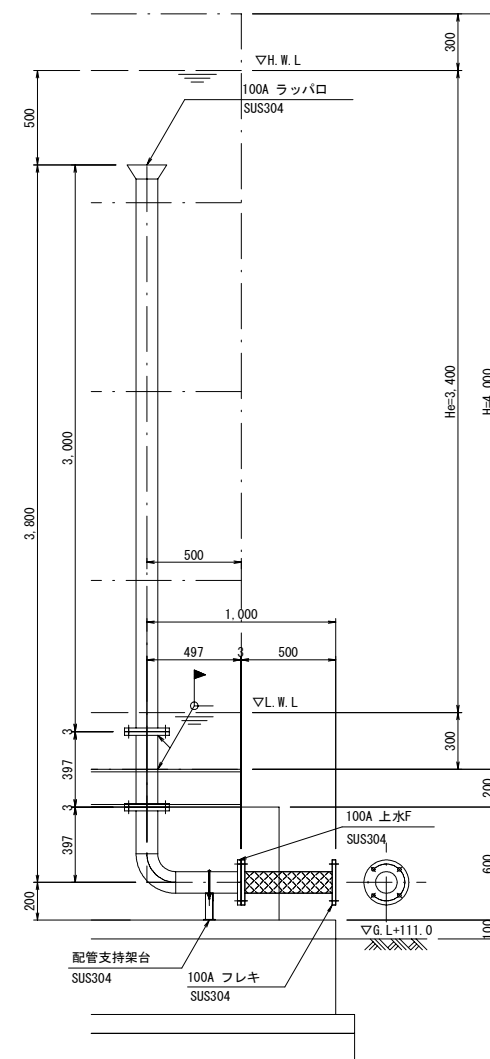
※記入なき50A・80A配管は、SUS316TP Sch10Sとする。

※記入なきフランジは、上水F SUS304とする。

※記入なき配管は、SUS304TP Sch10Sとする。

100A流入管 詳細図

N=2箇所

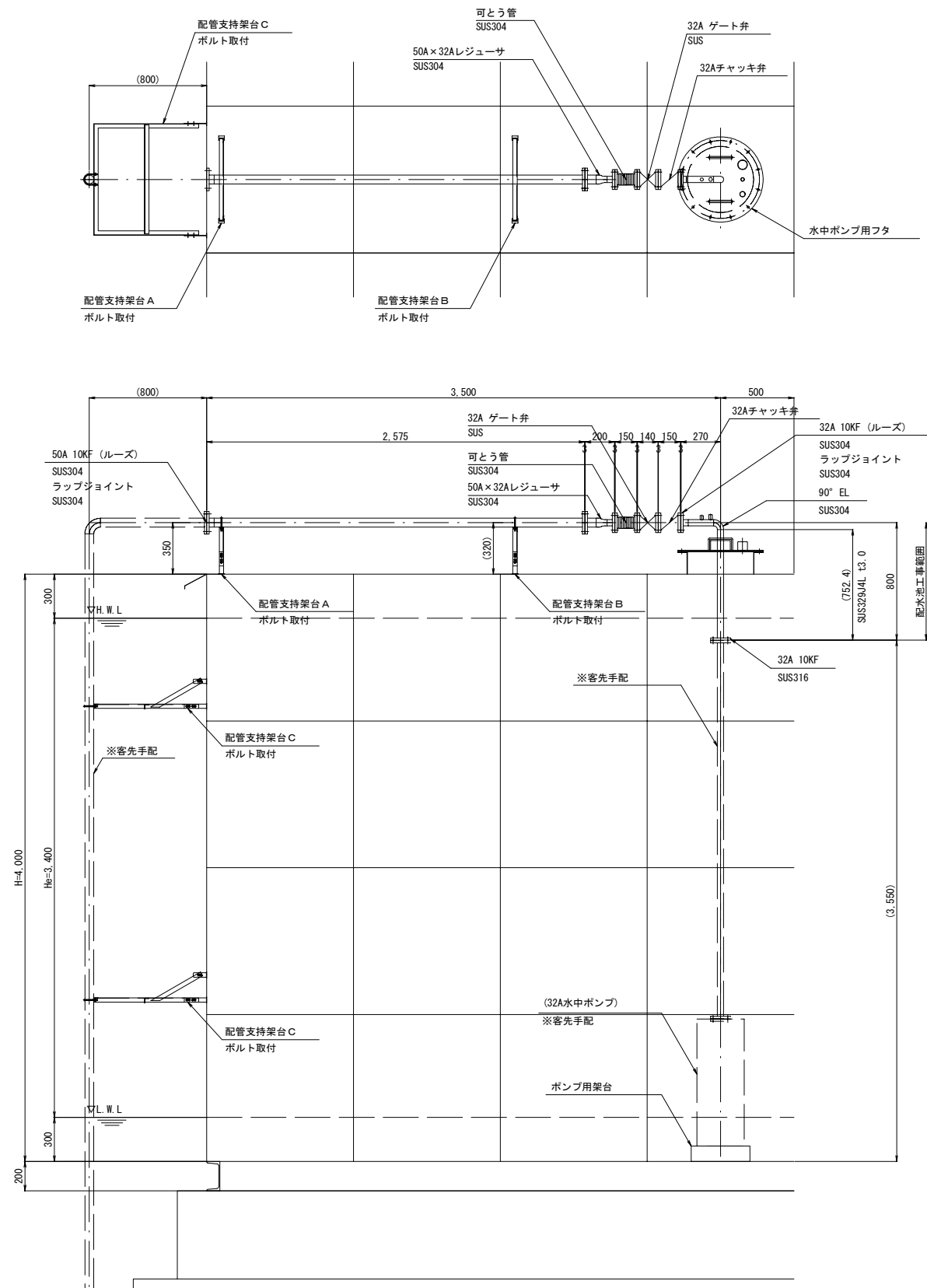


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池配管詳細図 (2)	Scale	1:20
		設計年月日	
図 番	NO. 12 Total 55	神 山 町 建 設 課	

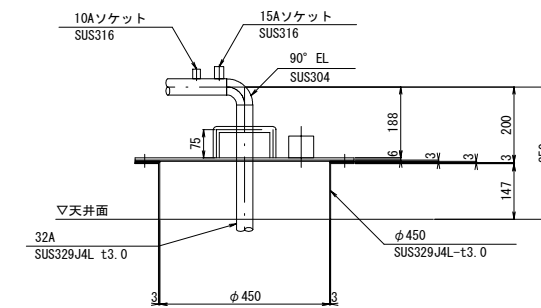
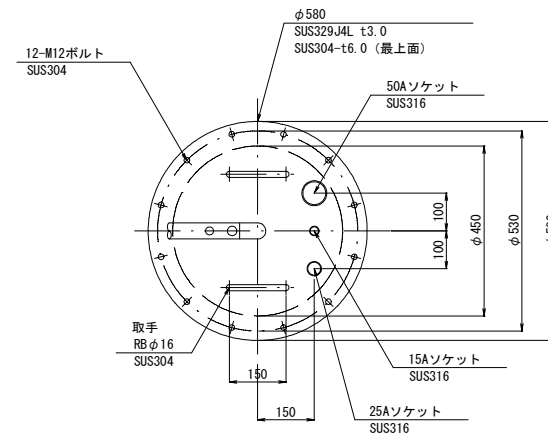
S=1:20

※記入なきフランジは、10KF SUS304とする。
 ※記入なき配管は、SUS304TP Sch10Sとする。
 ※水中ポンプ及び
 水中ポンプと直接接続する配管は客先手配

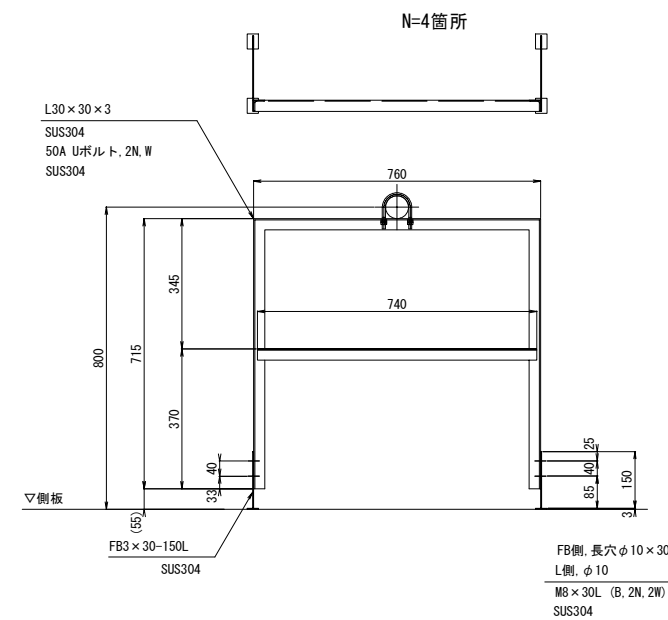
N=2箇所



S=1:10

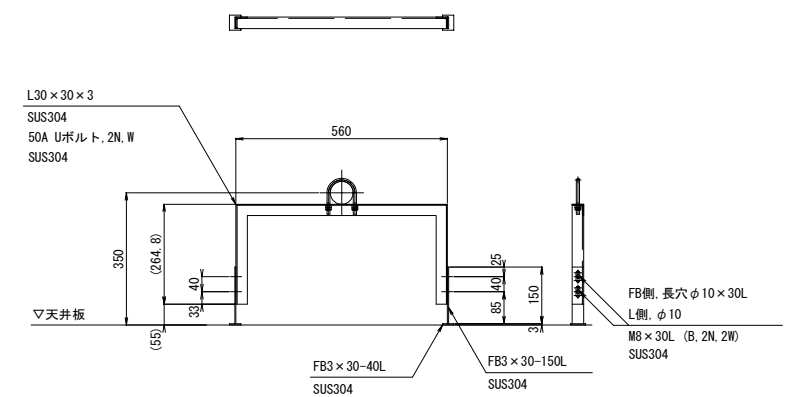


S=1:10



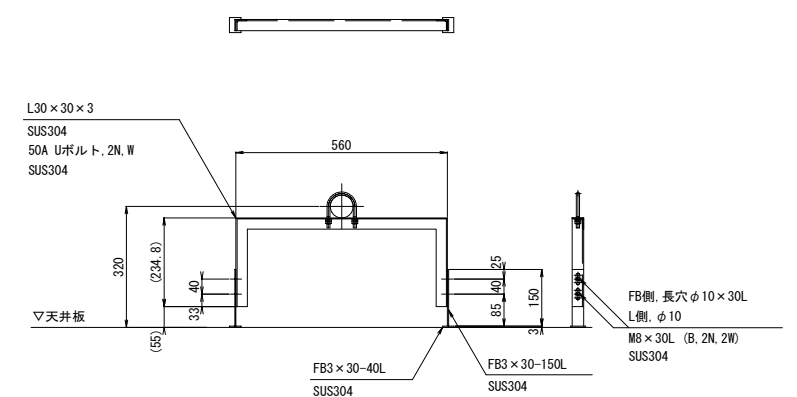
S=1:10

N=2箇所

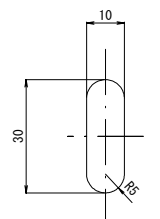


S=1:10

N=2箇所

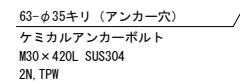


S=1 : 1



事業名	令和8年度 生活基礎近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町				
図 名	配水池配管詳細図 (3)		Scale	図示				
			設計年月日					
図 番	<table><tr><td>NO.</td><td>13</td></tr><tr><td>Total</td><td>55</td></tr></table>		NO.	13	Total	55	神 山 町 建 設 課	
NO.	13							
Total	55							

受台平面図

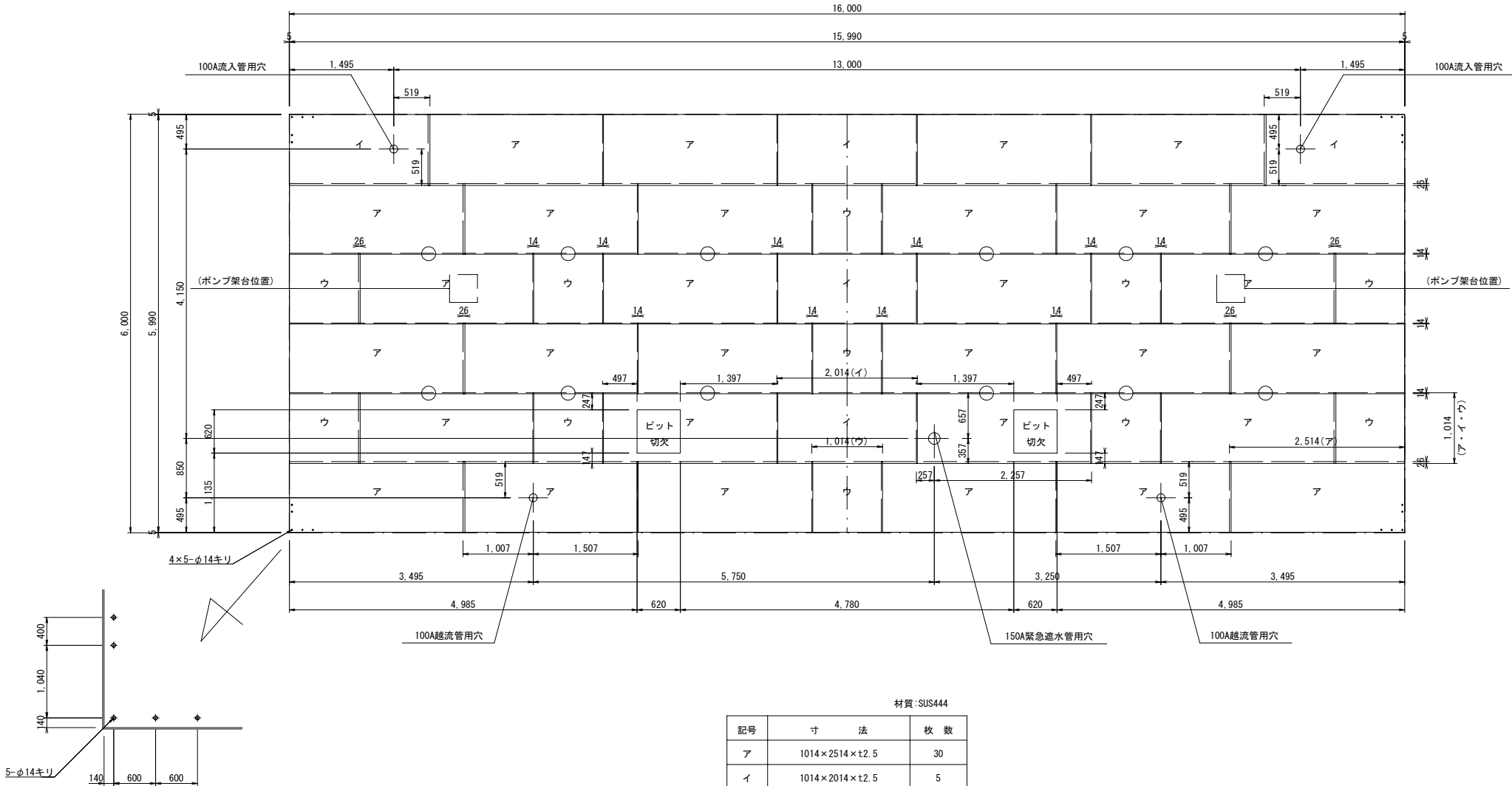


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町				
図 名	配水池受台詳細図		Scale	図示				
			設計年月日					
図 番	<table><tr><td>NO.</td><td>14</td></tr><tr><td>Total</td><td>55</td></tr></table>		NO.	14	Total	55	神 山 町 建 設 課	
NO.	14							
Total	55							

配水池底版詳細図

底板平面图

○ 内村



記号	寸 法	枚 数
ア	1014×2514×t2.5	30
イ	1014×2014×t2.5	5
ウ	1014×1014×t2.5	11

事業名	令和8年度 生活基礎近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町				
図 名	配水池底版詳細図		Scale	1:40				
			設計年月日					
図 番	<table><tr><td>N.O.</td><td>15</td></tr><tr><td>Total</td><td>55</td></tr></table>		N.O.	15	Total	55	神 山 町 建 設 課	
N.O.	15							
Total	55							

配水池付属品詳細図(1)

S=1:20

人孔・内梯子詳細図

S=1:20

N=2箇所

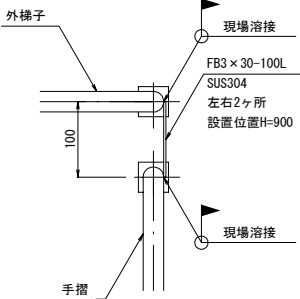
外梯子詳細図

S=1:20

N=1箇所

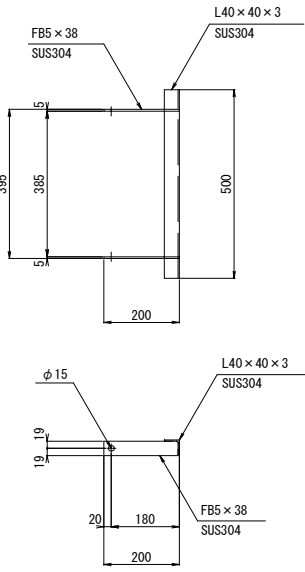
A 詳細図

S=1:5



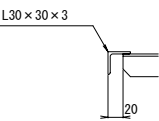
B 詳細図

S=1:10



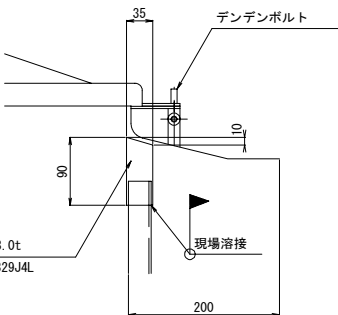
ア 詳細図

S=1:5



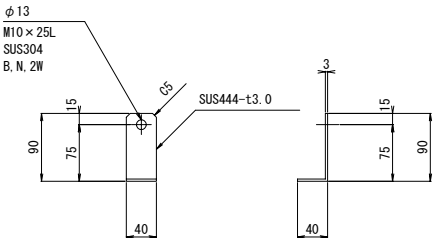
イ 詳細図

S=1:5

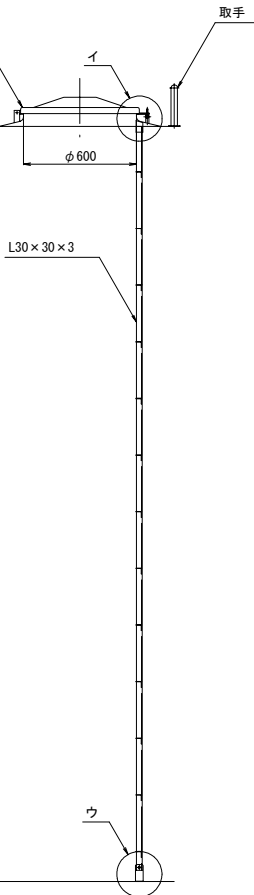
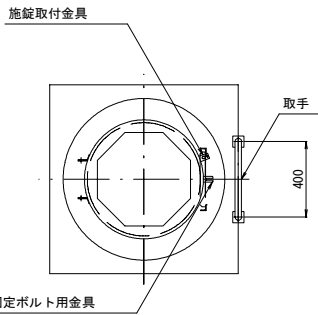
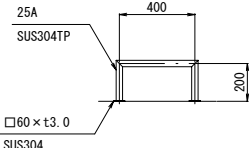


ウ 詳細図

S=1:5



取手詳細図

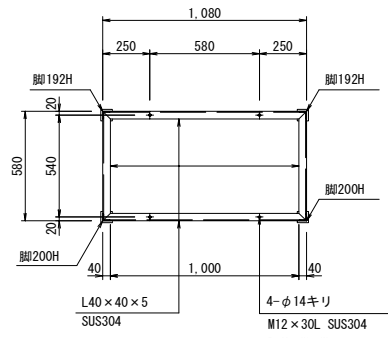


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池付属品詳細図(1)	Scale	図示
図 番	NO. 16 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

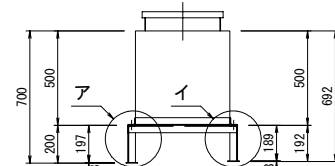
S=1 : 20

S=1 : 20

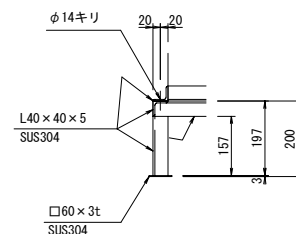
平面图



側面図

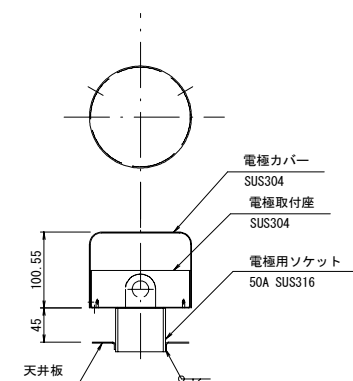


S=1:10



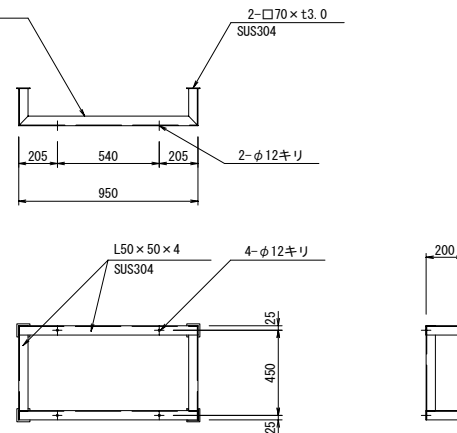
S=1:5

N=1箇所



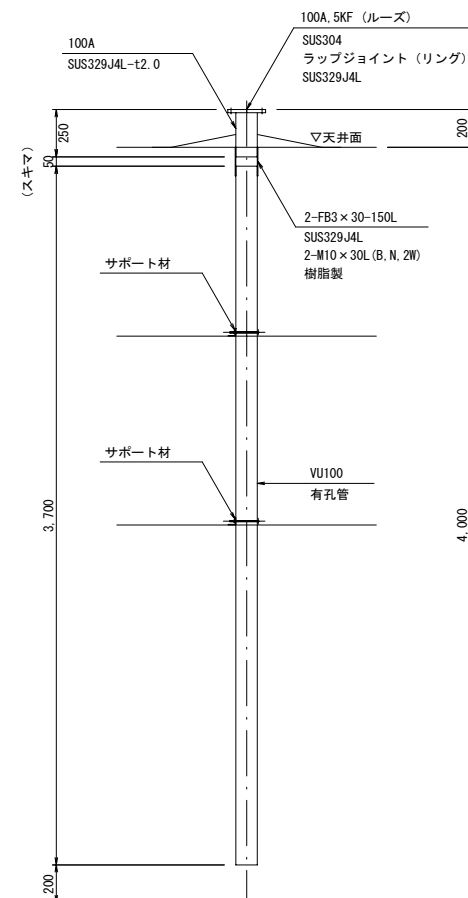
S=1:20

L50 × 50 × 4
SUS304



S=1:20

N=各1箇所



S=1:20

固定ボルト用金具

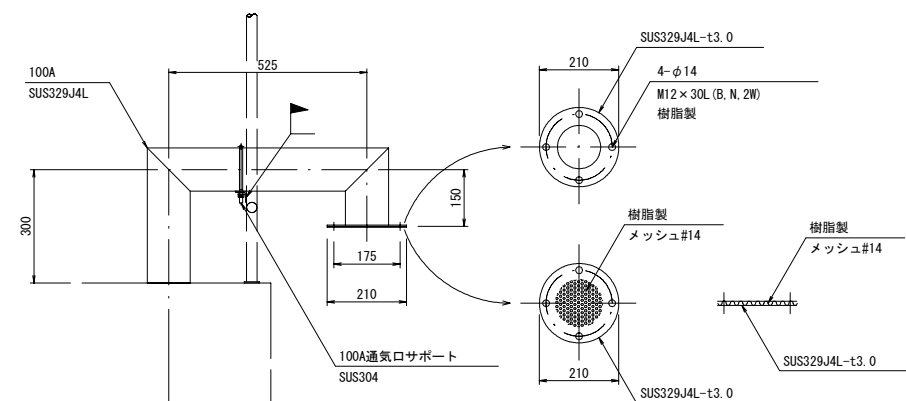
施錠取付金具

点検孔蓋
SUS329J4L-t1.5
DF

φ 600

S=1:10

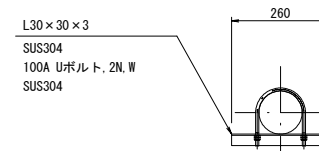
N=12箇所



脱着可能の事

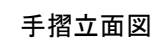
S=1:10

N=12箇所



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池付属品詳細図(2)	Scale	図示
		設計年月日	
図 番	NO. 17 Total 55	神 山 町 建 設 課	

S=1 : 40



※反対面は手摺標準図による

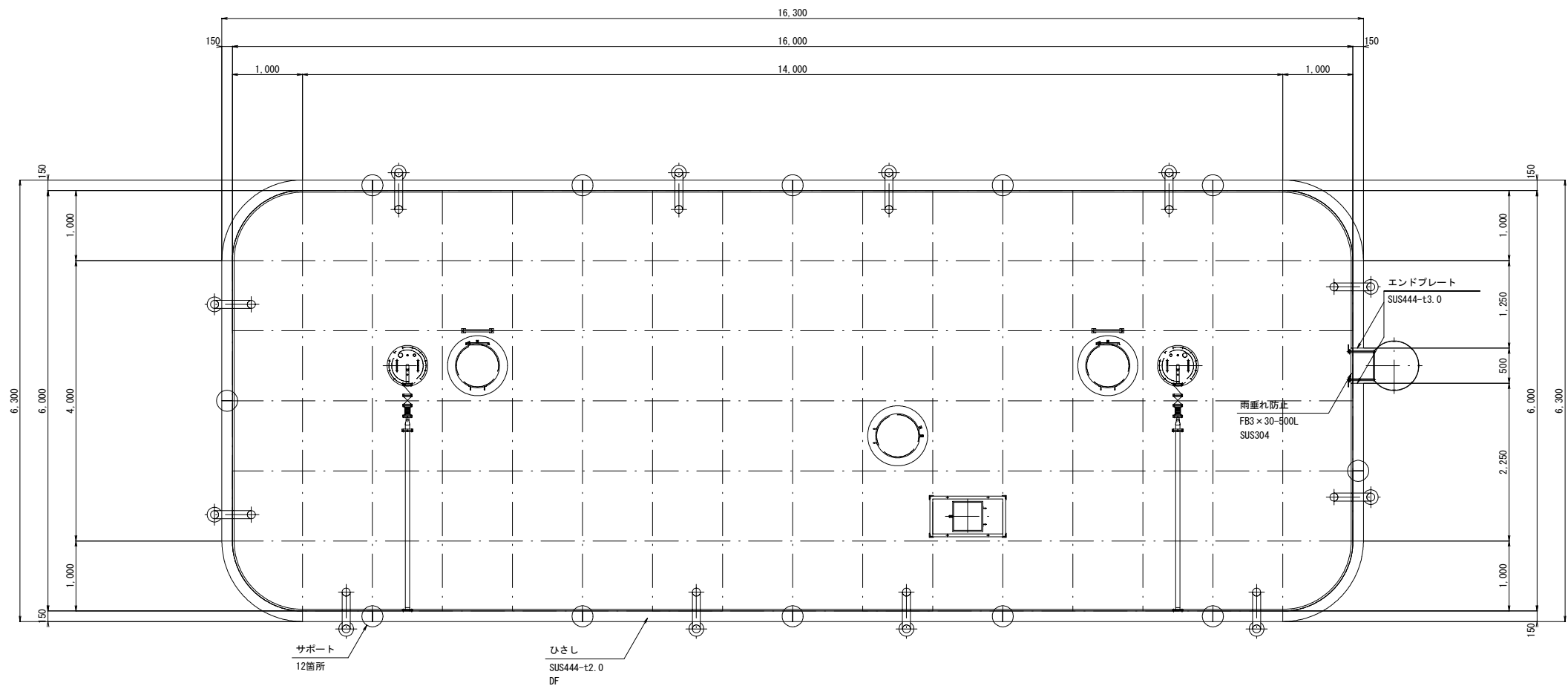




事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町				
図 名	配水池手摺詳細図		Scale	図示				
			設計年月日					
図 番	<table><tr><td>NO.</td><td>18</td></tr><tr><td>Total</td><td>55</td></tr></table>		NO.	18	Total	55	神 山 町 建 設 課	
NO.	18							
Total	55							

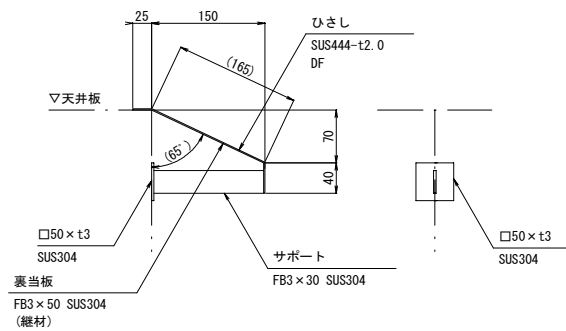
配水池ひさし詳細図
S=1:40

ひさし平面図



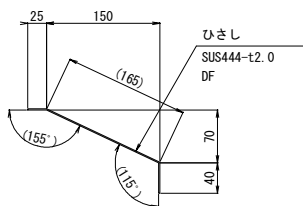
ひさし断面詳細図

S=1:5



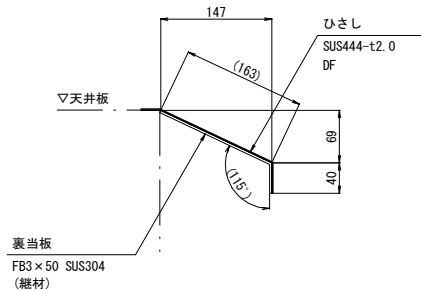
ひさし加工詳細図

S=1:5



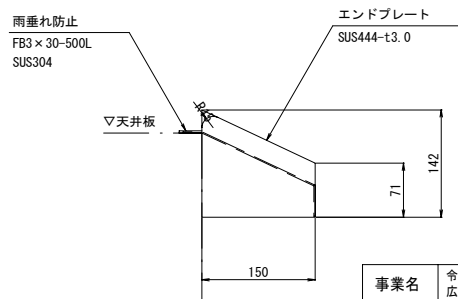
ひさし裏当板詳細図

S=1:5



エンドプレート詳細図

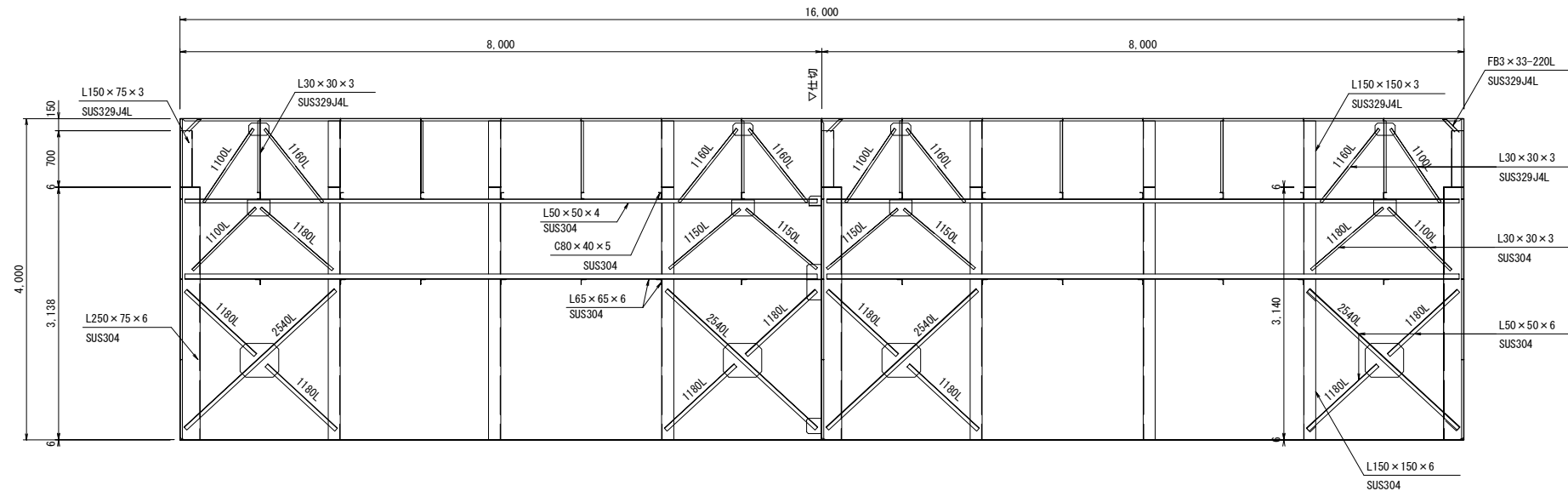
S=1:5



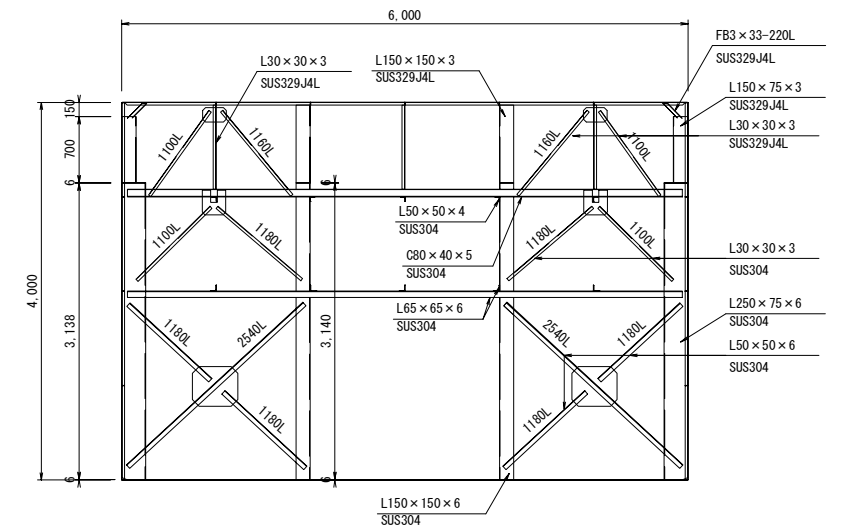
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池ひさし詳細図	Scale	図示
図 番	NO. 19 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

配水池内部補強立面図
S=1:40

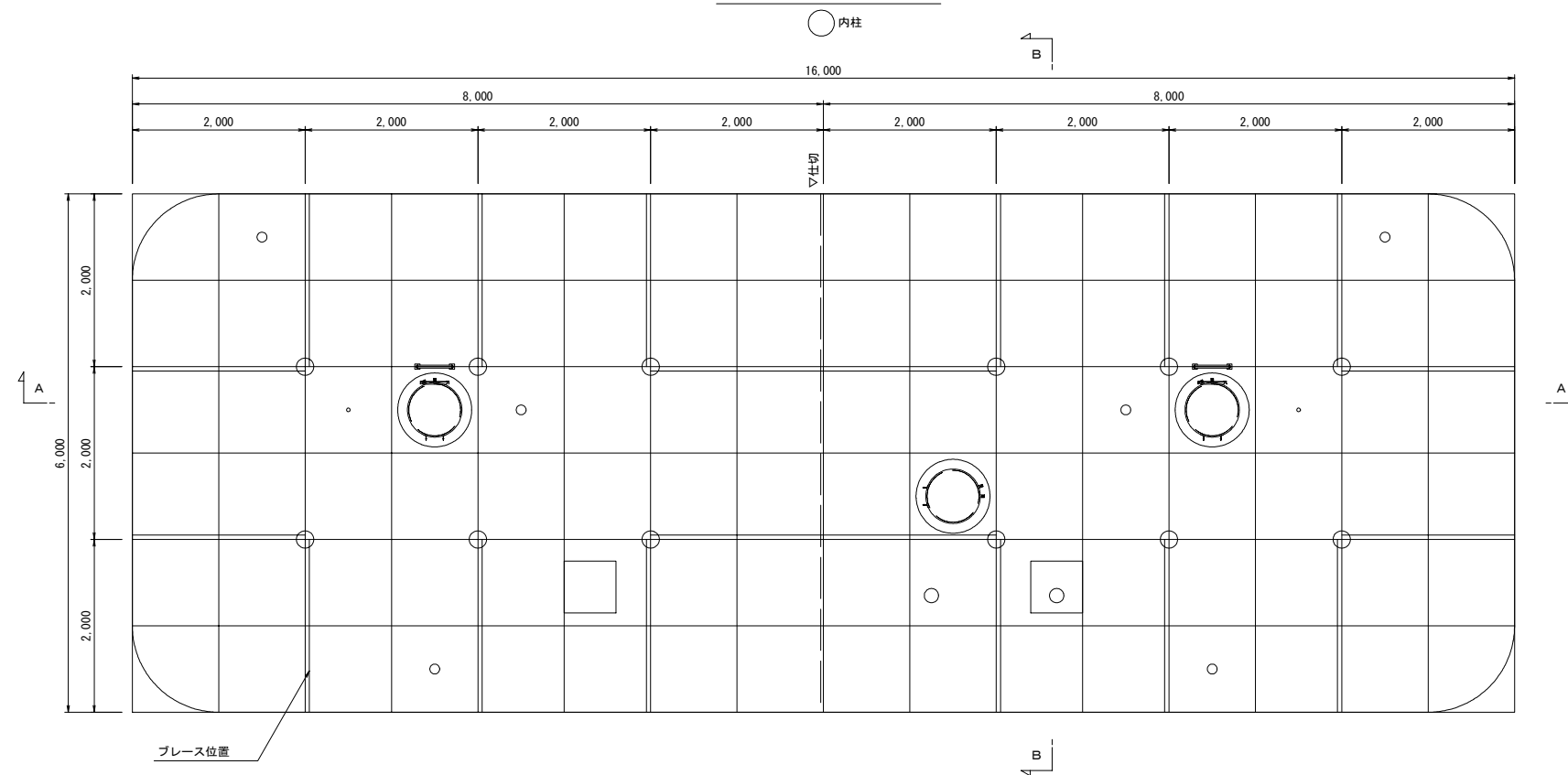
A-A断面図



B-B断面図



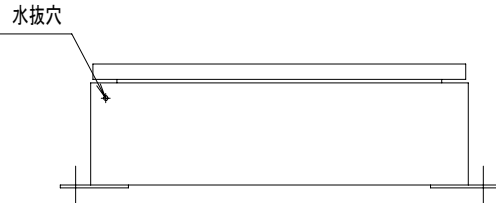
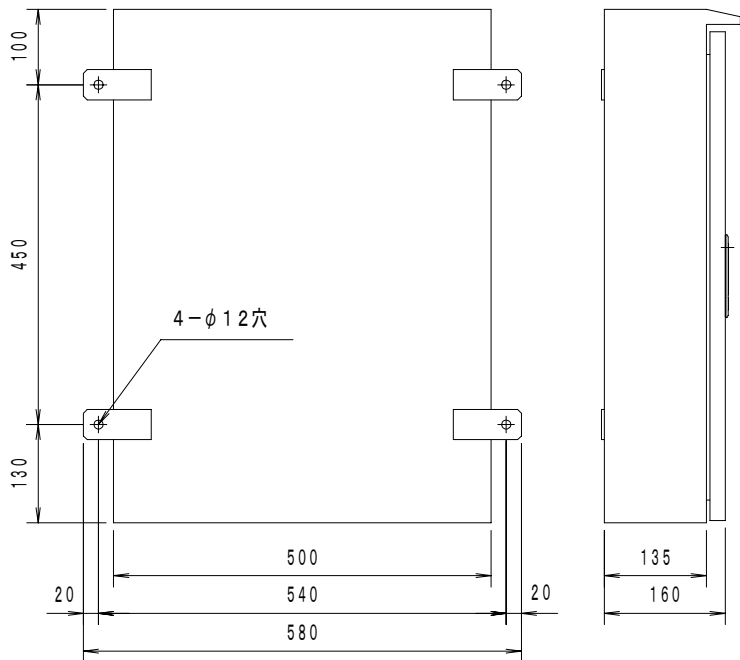
KEY PLAN



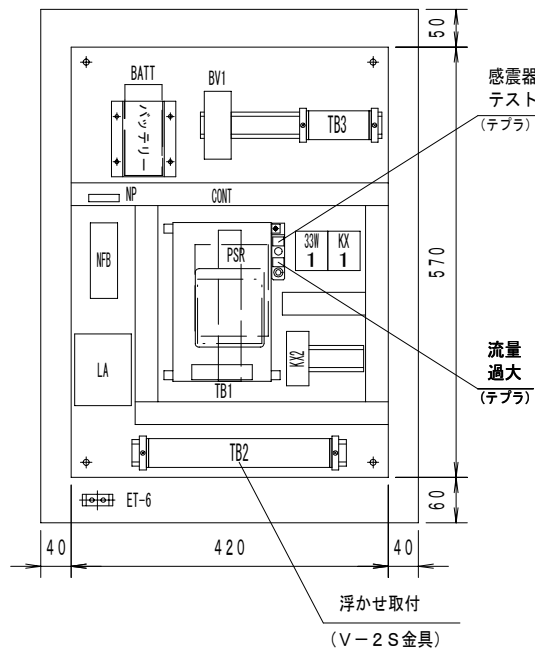
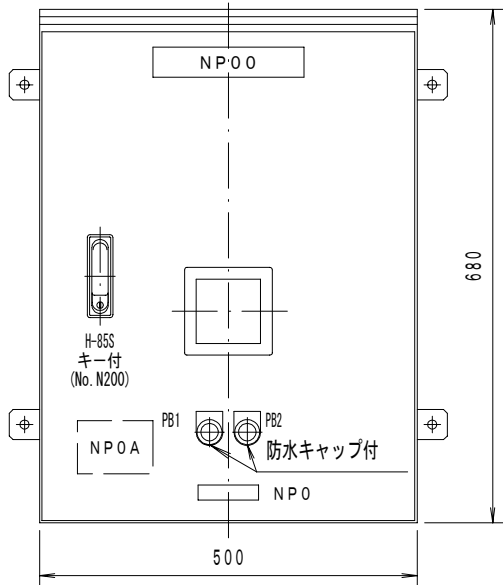
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池内部補強立面図	Scale	1:40
図 番	NO. 20 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

配水池緊急遮水システム制御盤外形図

盤姿図



移動
4P追加

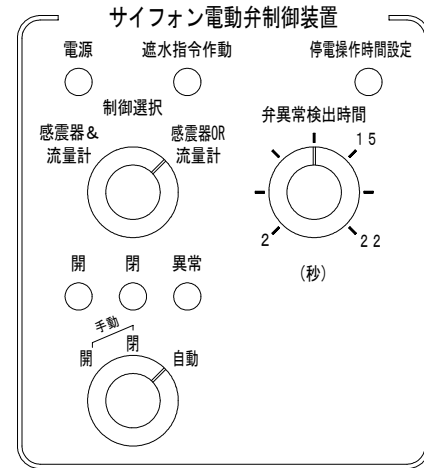


箱 t 2.0 扉 t 2.0 (材質: SUS304)

中板 t 2.3 (材質: SPHC)

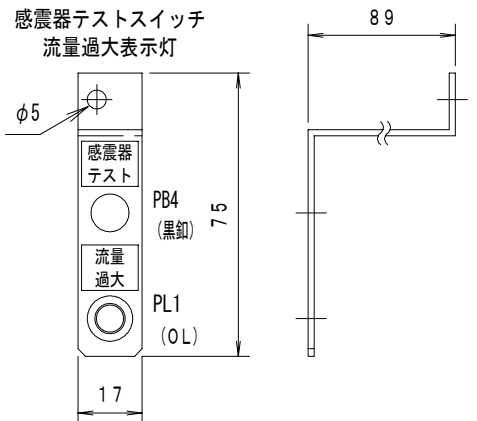
外装 シルバーメタリック塗装

制御基板操作面



銘板文字表

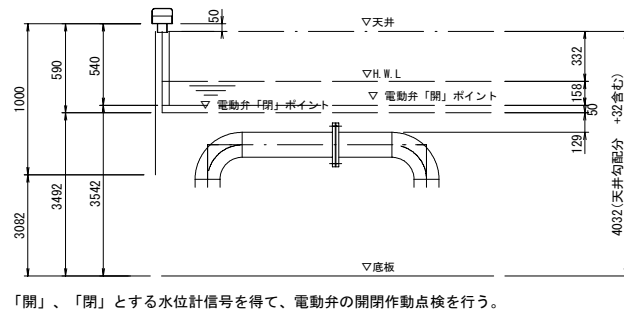
NP00	緊急遮水システム制御盤
NP0A	定格銘板
NP0	社名
NP	主幹
PB1	停電時操作 (B)
PB2	感震器復帰 (Y)



機器仕様

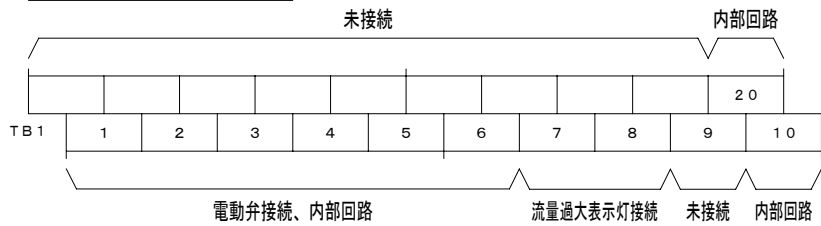
名称	記号	仕様	数量	製造者名	備考
ノーヒューズブレーカー	NFB	NF32-CVF 2P30/3A	1	三菱電機	
アレスタ	LA	LT-2T	1	音羽電機	
押釦スイッチ	PB1, 2	ABS210N 防水カバー OCS-11B, Y付	2	IDEC	
感震器	BV1	EIS-120 DC9~24V	1	センテック	250GAL作動
バッテリー	BATT	10KR-SCH 12V 1200mAh	1	トーカエナジー	
キーブリレー	KX1	MK2KP DC12V (ソケット PF113A)	1	オムロン	
キーブリレー	KX2	MY2K DC12V (ソケット PYFZ-14)	1	オムロン	
電極リレー	33W1	61F-GP-N AC100V	1	オムロン	
制御基板	CONT	OSE101	1	SHINWA	
直流電源装置	PSR	PJA100F-15 AC85~264V/DC15V 100W	1	コーセル	
ヒューズ	F	1A	3	フジ	予備品2ヶ含む
アルミ電解コンデンサ	C	25V 100μF	4	ニチコン	
LED表示灯	PL1	DO-7HJ 0 オレンジ色	1	坂詰	
抵抗器	R1	820Ω 1/2W	1		
押釦スイッチ	PB4	DS-299-K ボタン色 黒	1	ミヤマ電器	

電動弁制御用水位位置図

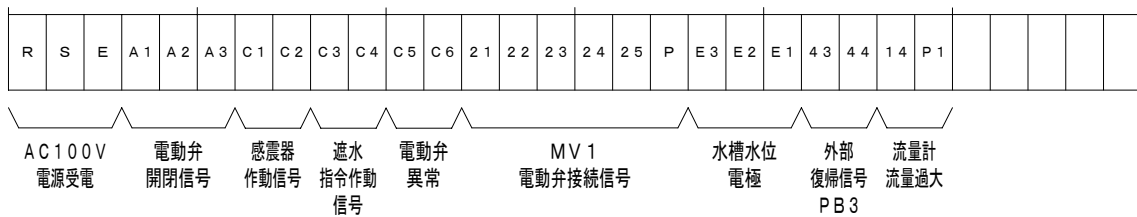


「開」、「閉」とする水位計信号を得て、電動弁の開閉作動点検を行う。

CONT基板内TB1



TB2 (BOX下部端子)



TB3 (BOX中間端子)



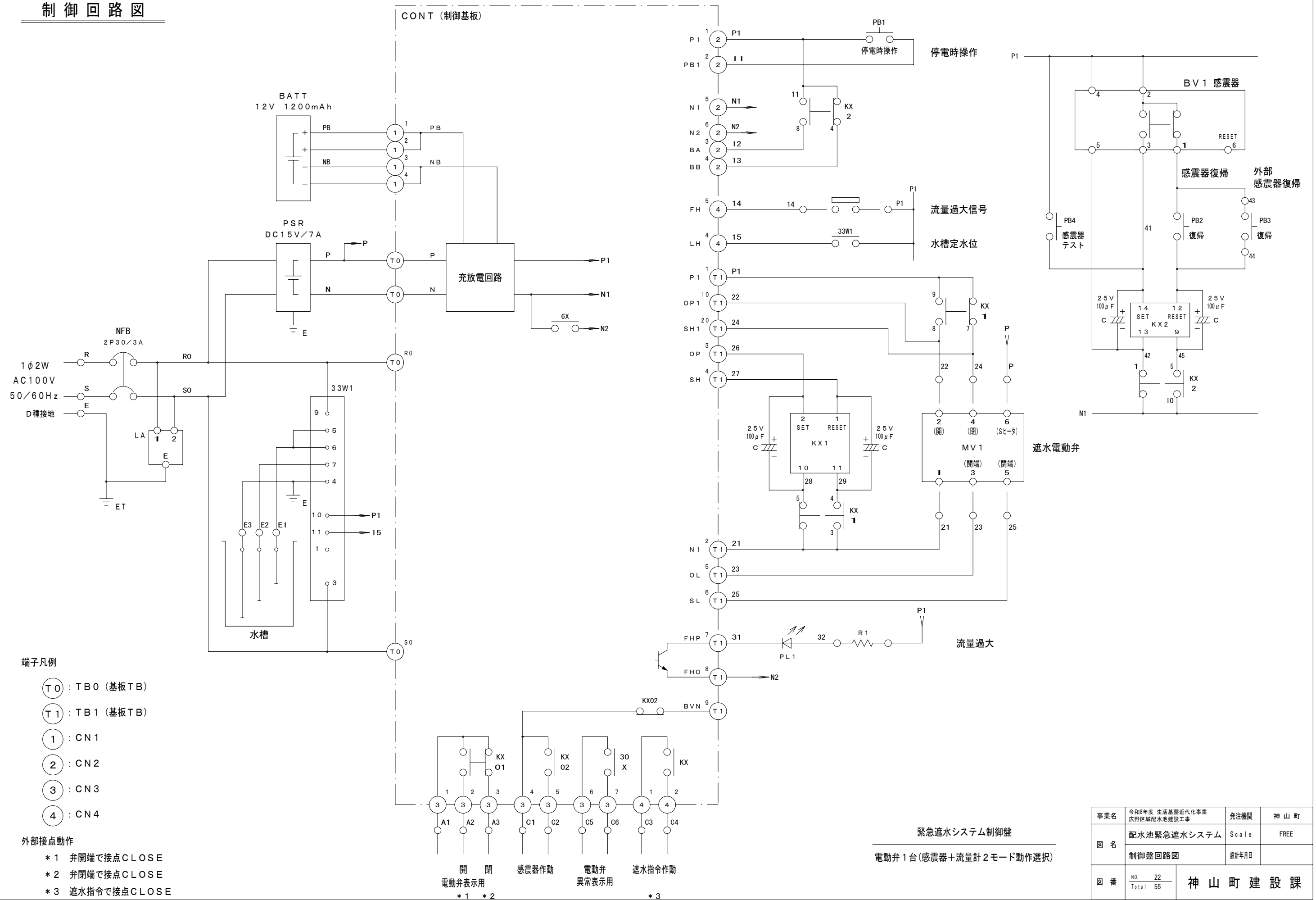
緊急遮水システム制御盤

電動弁1台(感震器+流量計2モード動作選択)

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池緊急遮水システム 制御盤外形図	Scale	FREE
図 番	NO. 21 Total 55	設計年月日	神 山 町 建 設 課

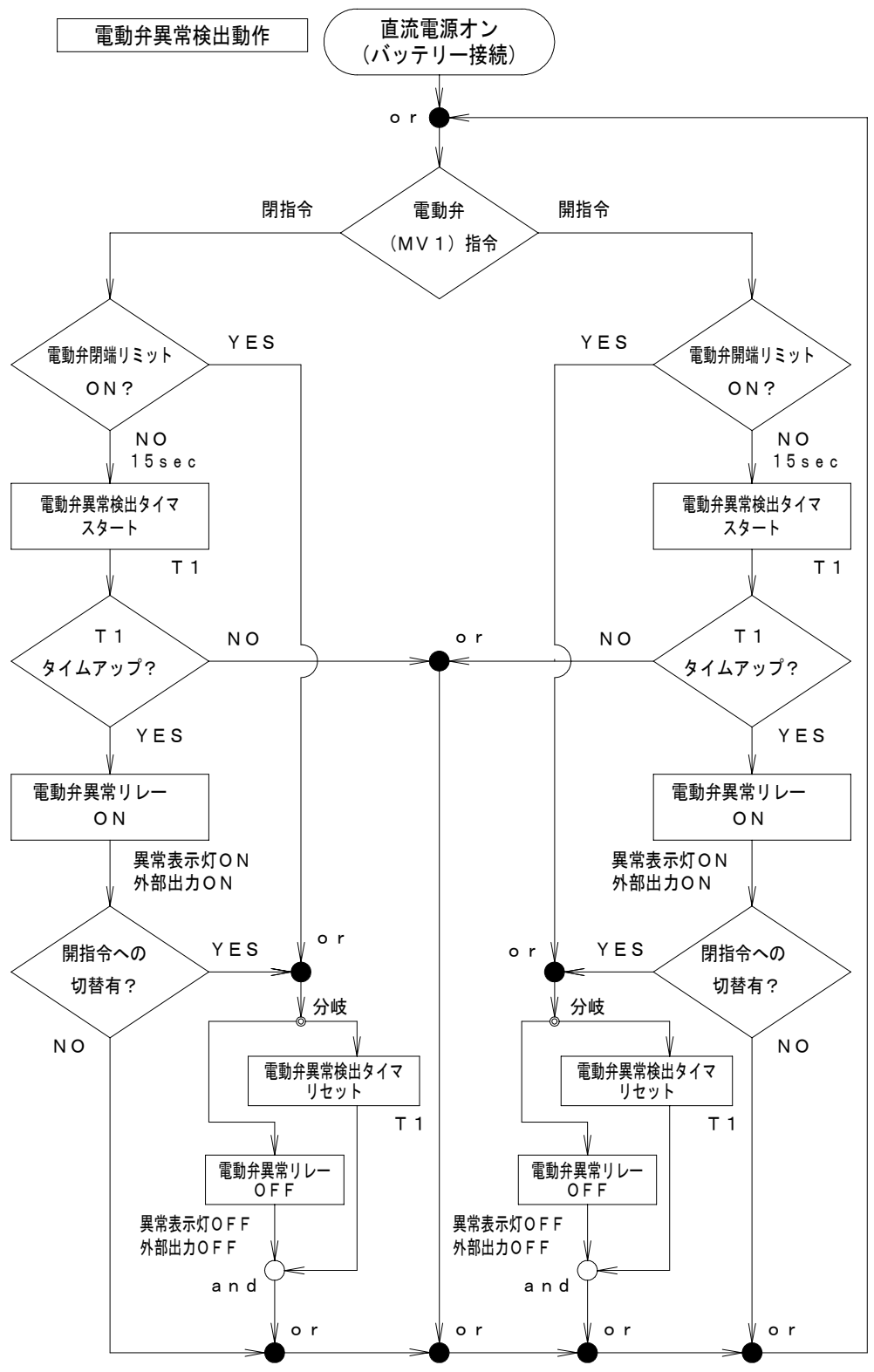
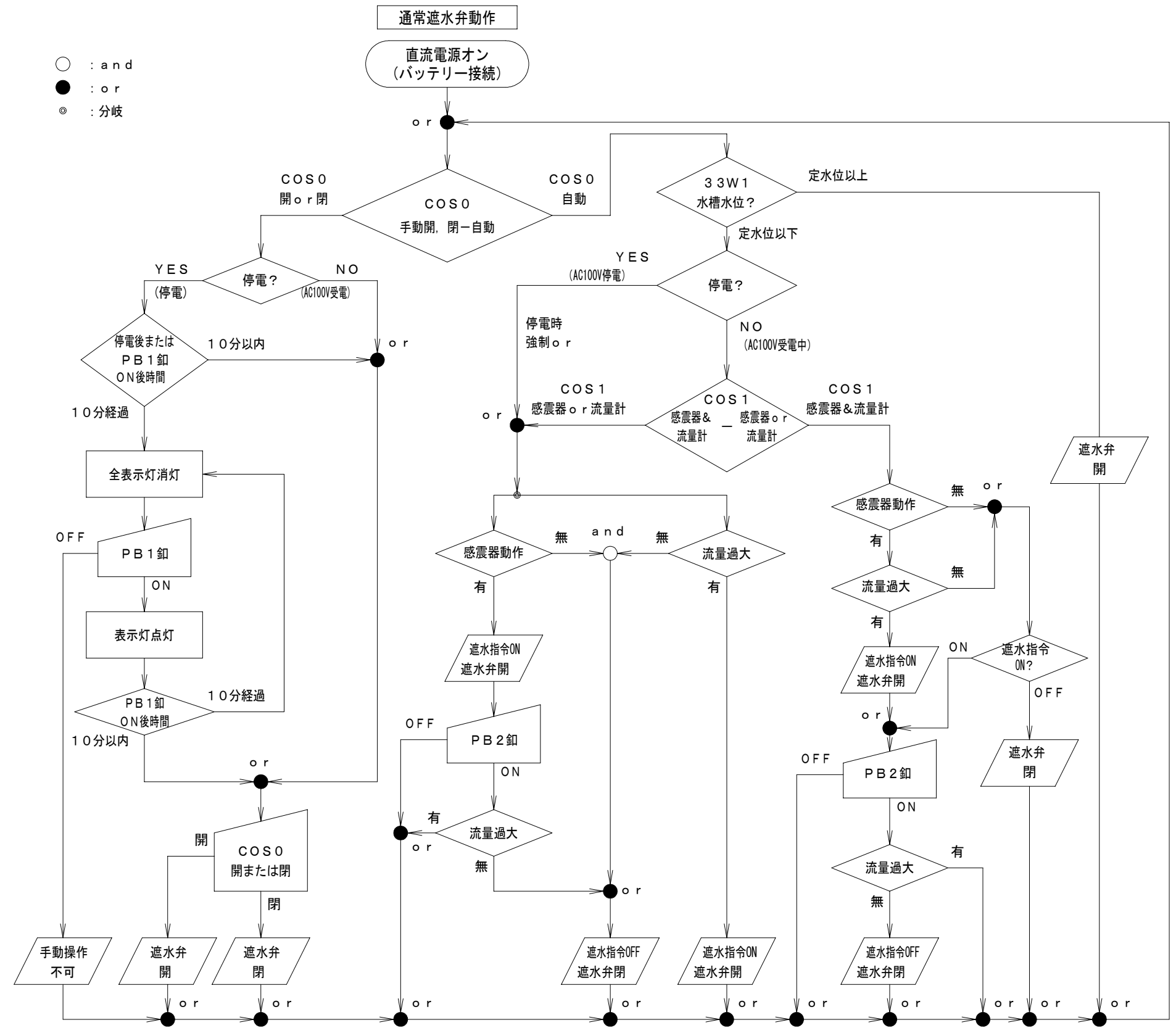
制 御 回 路 図

配水池 緊急遮水システム制御盤回路図



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池緊急遮水システム	Scale	FREE
	制御盤回路図	設計年月日	
図 番	NO. 22 Total 55	神 山 町 建 設 課	

配水池緊急遮水システム制御盤フロー図



COS0 開—閉—自動

PB1 停電時操作

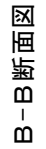
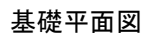
COS1 感震器&流量計 — 感震器OR流量計

PB2 感震器・バルブ復帰

緊急遮水システム制御盤

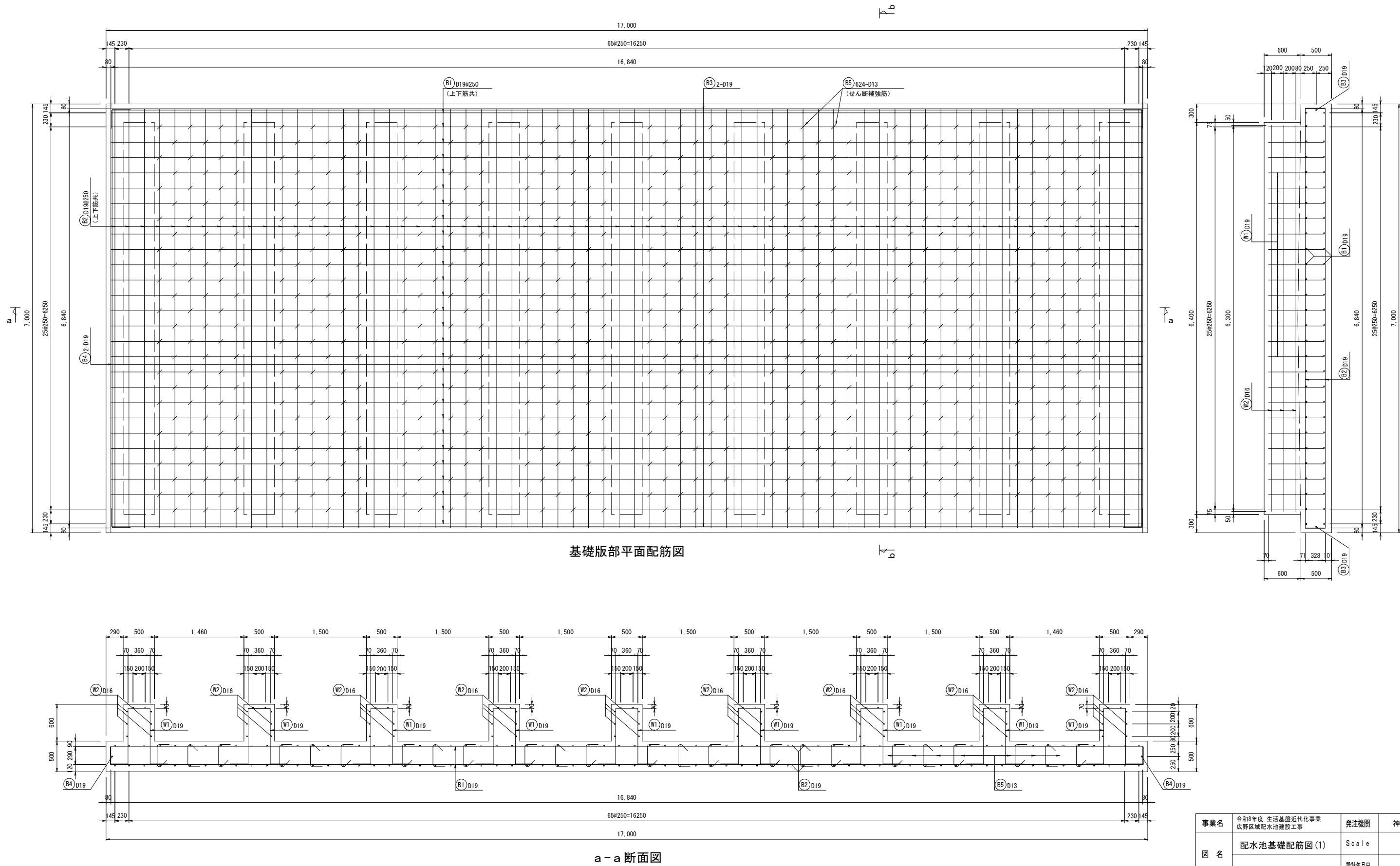
電動弁1台(感震器+流量計2モード動作選択)

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池緊急遮水システム 制御盤フロー図	Scale	FREE
図 番	NO. 23 Total 55	設計年月日	神 山 町 建 設 課



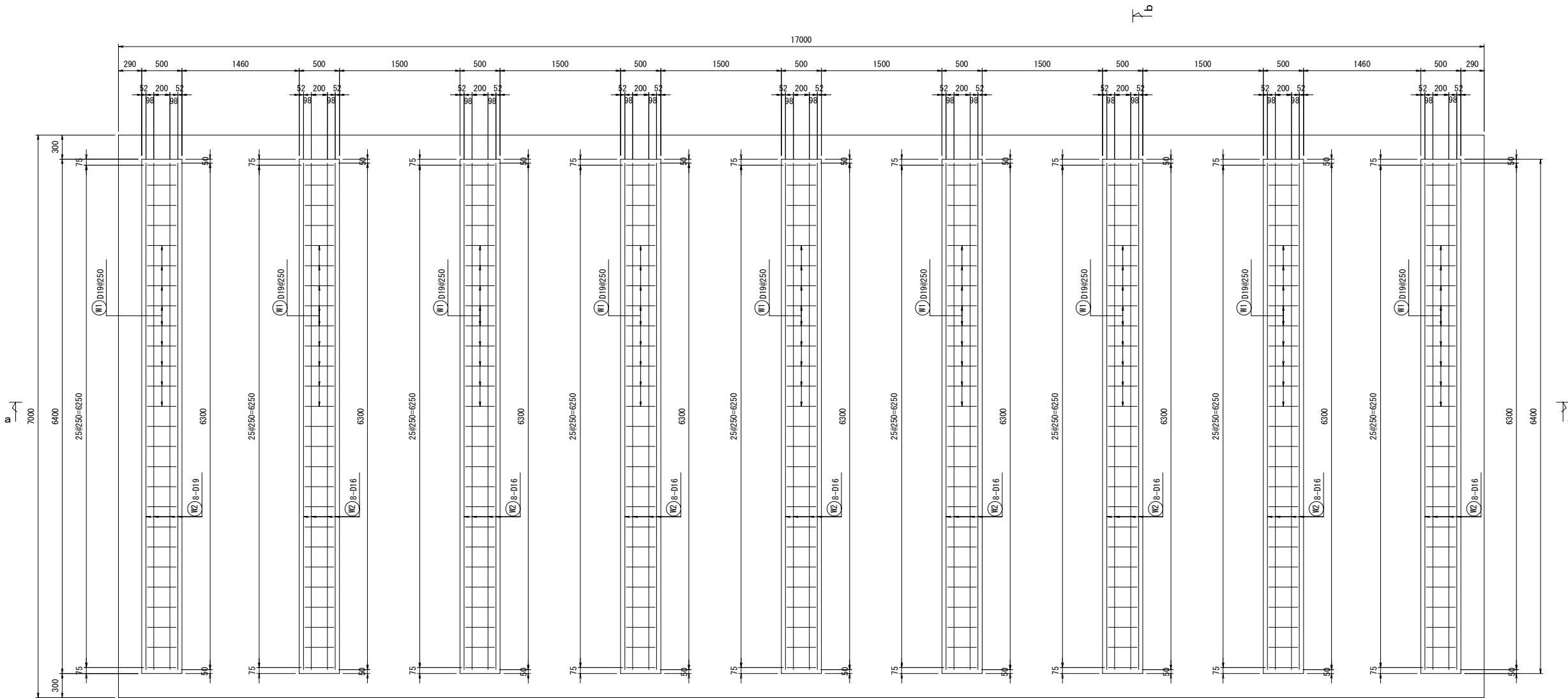
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池基礎構造図	Scale	1:30
		設計年月日	
図 番	No. 24 Total 55	神 山 町 建 設 課	

配水池基礎配筋図(1)

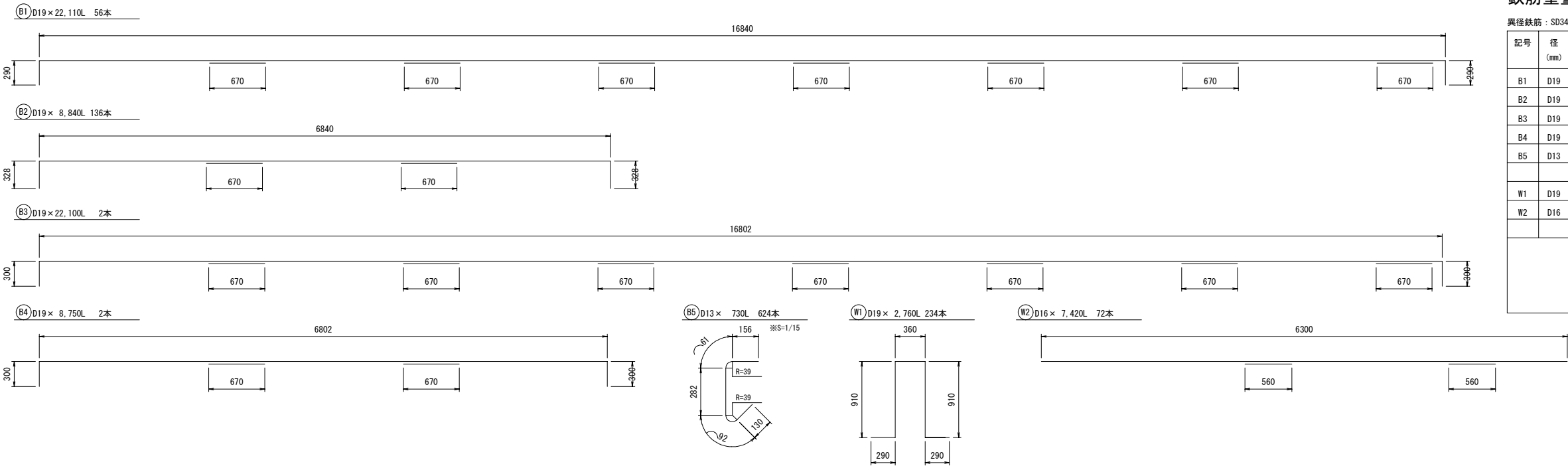


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池基礎配筋図(1)	Scale	1:30
図 番	NO. 25 Total 55	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

配水池基礎配筋図(2)



立上げ部平面配筋図

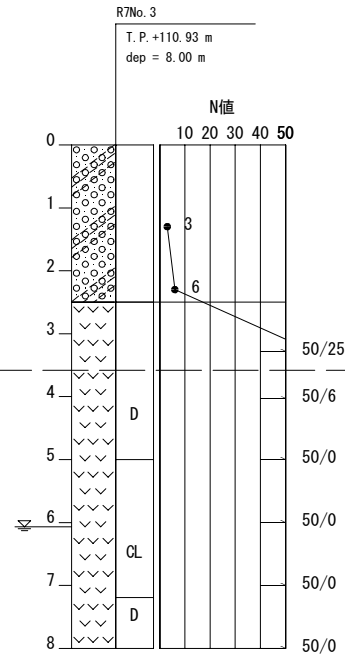
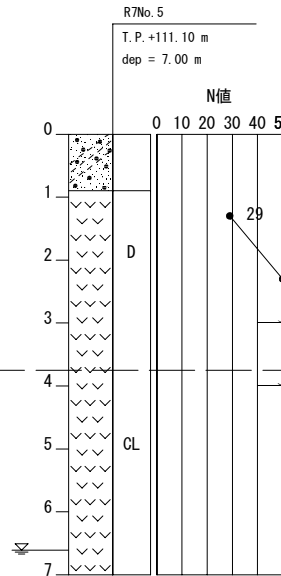
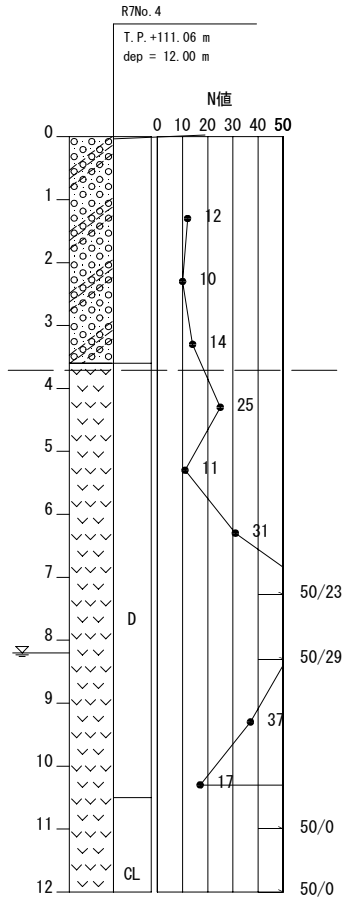
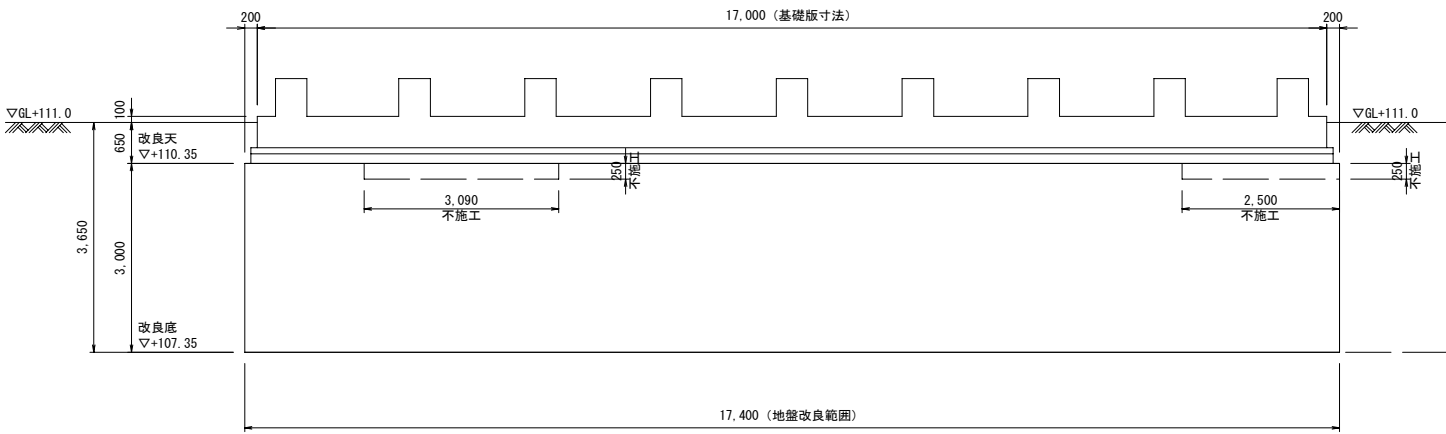
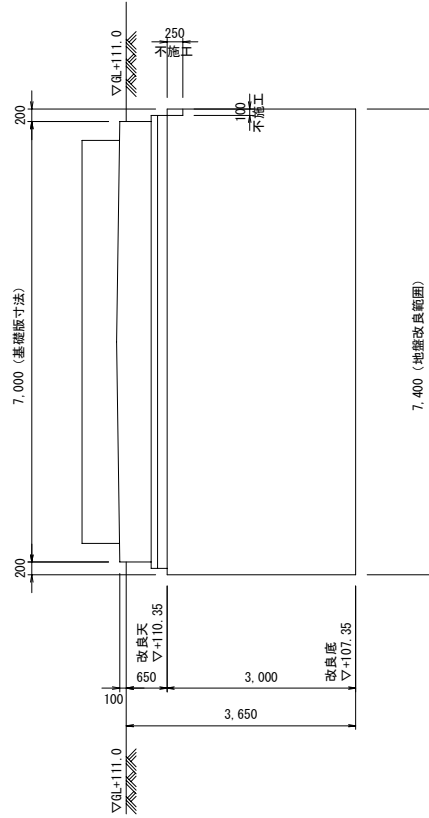
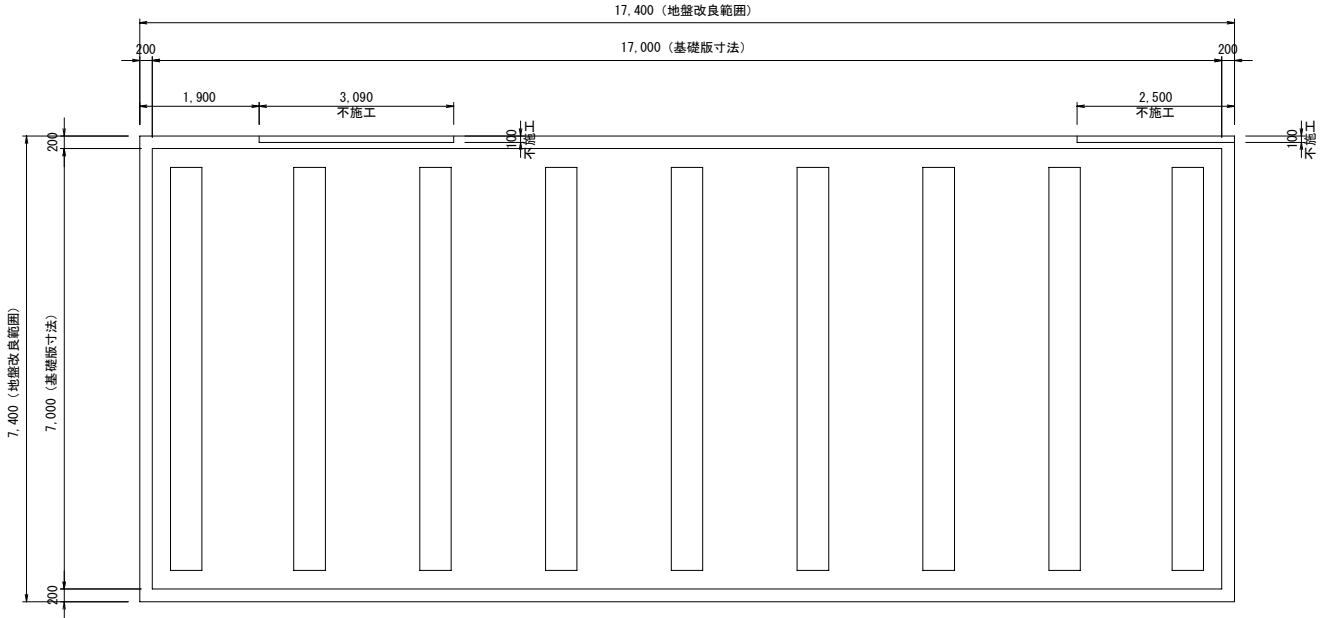


鉄筋重量表

異径鉄筋：SD345 継手長：35d 定尺：3m

記号	径 (mm)	単位質量 (kg/m)	本数 (本)	一本当り 質量 (kg)	長さ (mm)	質量 (kg)	備考
B1	D19	2.250	56	49.748	22,110	2,786	基礎版部
B2	D19	2.250	136	19.890	8,840	2,705	〃
B3	D19	2.250	2	49.725	22,100	99	〃
B4	D19	2.250	2	19.688	8,750	39	〃
B5	D13	0.995	624	0.726	730	453	せん断補強筋
W1	D19	2.250	234	6.210	2,760	1,453	立上り部
W2	D16	1.560	72	11.575	7,420	833	〃
						SD345 D19	7,082 kg
						SD345 D16	833 kg
						SD345 D13	453 kg
						合計	8,368 kg

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池基礎配筋図(2)	Scale	1:30
図 番	NO. 26 Total 55	設計年月日	神 山 町 建 設 課



事業名	令和8年度 生活基礎近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池地盤改良図	Scale	1:60
		設計年月日	
図 番	NO. 27 Total 55	神 山 町 建 設 課	

0 0 特記仕様書の取扱いについて

- 1 項目は、項目番号に○印をつけたものを適用する。
- 2 細目は、○印をつけた物を適用する。
- 3 その他特記事項は、（ ）内に記載する。
- 4 製造会社、施工会社指定については、後載のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替えることも可能である。但し、その採用並びに使用にあっては、係員の承認を受けるものとする。

0 1 一般共通事項

- ① 適用範囲
- ② 疑義
- ③ 優先順位
- ④ 材料試験
- ⑤ 提出図書

提出図書	部数	提出時期	備考
1. 工事請負契約書	1部	契約時	控えとなるもの
2. 工事工程表	2部	契約後速やかに	ネットワーク工程表
3. 現場代理人及び主任技術者属	〃	〃	一級施工管理建築士証明
4. 協力業者名簿	〃	〃	
5. メーカーリスト	〃	〃	
6. 仮設計図書	〃	〃	
7. 施工図、製作図	〃	実施15日前	各工事毎
8. 工事工程報告書	〃	1ヶ月毎、10日毎	工事進捗表、写真日報
9. 打合議事録	〃	その都度	
10. 変更工事見積書	〃	〃	
11. 出来高承認額	〃	〃	
12. 官公署届出書類控	〃	〃	EV確認申請等
13. 材料試験報告書	〃	試験後10日以内	
14. 工事竣工届	〃	竣工時	
15. 工事竣工引渡書	〃	〃	
16. 工事竣工図	下記参照	竣工時より20日	CADデータ修正含む
17. 工事竣工写真	〃	〃	外観室内共
18. 工事保証書	1部	竣工時	
19. 鍵リスト	〃	〃	
20. その他	〃	〃	係員の指示するもの

- 工事用製本は、監督員に確認の上必要部数提出すること。
- 工事竣工図は、現場施工内容を反映したもので、監督員に確認の上必要部数提出すること。
- 工事竣工図は、建物引渡し後、現場施工と相違することが確認された場合再度竣工図を製本し提出すること。
- 竣工写真は、カラー撮影とすること。サイズは四切としアルバム貼付にて（ ）部提出のこと。（電子データによる提出含む）
- ・工事完成撮影は、専門家によるものとする。

- ⑥ 定例打合会議
- 7 既設部分との取合
- ⑧ 清掃養生
- ⑨ 別途工事
- ⑩ 工事保証

- ⑪ 設計図書
- ⑫ 諸官庁への手続き
- ⑬ 保護設備
- ⑭ その他

0 2 仮設工事

- ① 仮囲い
- ② 現場事務所
- ③ 看板
- ④ 工事用水等
- ⑤ 障害物の処理
- ⑥ 設計GL
- ⑦ 資材置場工事車両

0 3 土工事

- ① 根切り
- ② 埋戻し盛土
- ③ 残土処分
- 4 山留め
- ⑤ 排水

0 4 地業工事

- 1 杭地業
- ② 地盤改良
- ③ 割栗及び砂利地業

0 5 コンクリート工事

- ① 鉄筋コンクリート
- ② 無筋コンクリート

- ③ 型枠
- ④ 試験
- ⑤ 運搬及び打込

0 6 鉄筋工事

- ① 一般事項
- ② 材料
- ③ 継手
- ④ 鉄筋スプーサー

0 7 鉄骨工事

- ① 一般事項
- ② 材料
- ③ 加工場のランク
- ④ 溶接部の試験
- ⑤ 錆止め塗装
- 6 耐火被覆
- 7 溶接垂鉛メッキ工法

0 8 組積工事

- 1 コンクリートブロック
- 2 ECP板押出成形セメント板

0 9 防水工事

- 1 アスファルト防水
- 2 シート防水
- 3 塗布、塗膜防水
- 4 モルタル防水
- 5 止水板
- 6 目地押え伸縮目地
- 7 責任保証
- ⑧ シーリング材

- 1 0 石工事

1 1 タイル工事

- 1 一般事項
- 2 工法
- 3 製造所

1 2 木工事

- 1 一般事項
- 2 樹種及び等級
- 3 防腐、防蟻の処理

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	電気室特記仕様書（1）	Scale	n o n
図 番	No. 28 Total 55 A-01	神 山 町 建 設 課	

1 3 屋根工事

		・特記なき限り次の通りとする。		
	材 料	板厚	工法・下地	形状・長尺・規格
①	金属板葺	0.45		元且TRX3型 程度
2	瓦 葺			
3	スレート葺			
4	アスファルト シングル葺き			
5	その他の 屋根工事			
⑥	樋	・堅樋： ・塩ビ製 塗装品 ・標準カラー仕上 専用支持金物共（井上商事アルトイ 程度） ・軒樋： ・金物： ・ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ製 ・その他 ・水切： ・ステンレス製 ・亜鉛メッキ製 ・その他 ・ビス： ・ステンレス製 ・亜鉛メッキ製 ・その他 ・防露： ・つかみ金物下地： ・S S 4 0 0（亜鉛メッキ処理）・S U S 3 0 4 ・その他		
7	枯葉よけ ネット	・軒樋落し口用：ステンレスネットキップ 程度品		

1 4 金属工事

① 一般事項	○工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承諾を受けるものとする。
2 防錆処理	・外部金物： ・ SUS304 ・亜鉛メッキ処理（監理者諸部材） ・その他（7%ニッケル） ・内部金物： ・ SUS304 ・亜鉛メッキ処理（監理者承諾部材） ・取付用下地金物： ・特記なき限りSUS304とする。
③ 軽量鉄骨 天井及び壁 下地材	○軽量鉄骨天井下地及び、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理はジंक ロメートメッキ処理、または亜鉛メッキ処理を施したものとす。 ○J9型（内部）○25型（外部）○耐風圧用（外部） ＜J I S規格品＞ 天井下地は、外部25型（耐風圧250kg/m ² ）とする。
4 パンスリッパ	・材質、巾： ・ステンレス製 幅＝35 ・型 式： ・タイヤ入 ・後付け工法 ・タイヤ無 ・詳細図参照
5 ルーフ ドレイン	・材 質： ・鋳鉄製コールタール焼付仕上 ・SUS304 t1.2 ・取付工法： ・先付け工法 ・後付け工法
6 床下点検口	・種 類： ・蓋： ・点検用取っ手：（ ・有 Φ6 コ型加工蓋に取り付け） ・蓋用受け枠： ・ SUS枠8×25 ・L50×65×t3.0FB加工 打ち込み
7 天井点検 口	・材 質： ・アルミ枠製（目地タイブ） ・ステンレス枠製 ・その他 ・寸 法： ・4 5 0mm角 ・6 0 0mm角 ・その他
8 製作金物	・材質、形状等は、設計図によるものとし、製作図作成のこと。
9 点検用 クランプ	・材 質： ・電気亜鉛メッキ製（ジंकロート処理） ・ステン製 形状 図示 ・寸 法： ・W3 5 0mm ・W4 0 0mm ・その他（図示）
10 点字ブロッ ク	・樹脂+ステン製 専用視覚誘導及び点字表示鉄 ・製 造 所：ナカ工業（株） 点字鉄がイドスリップ 程度
11 換気フード	・ステン製 フラット型フード付がすり（ステン網、水切り、接続配管共） 指定色焼付塗装品

1 5 左官工事

1 モルタル 塗	・モルタルは亀裂防止剤、接着剤、防水剤その他の混和剤を必要に応じて係 員と協議のうえ使用するものとする。 ・塗厚 床： ・2 0mm ・3 0mm（溝、樹） 内 外 壁： ・2 0mm ・3 0mm 基 礎 天： ・2 0mm ・ mm 鉄骨柱脚： ・4 0mm ・3 0mm
2 防水 モルタル塗	・防水剤は指定会社の製品とし、モルタルの項に準じて仕上げる。 調合容積比 セメント： 1 砂： 2 防水剤（製造会社の指定量）
3 セパ レーティング	・セルフレベリング材の種類（ ・せっこう系 ・セメント系） 塗厚 （ 10-床仕上材厚 ）mm 施工箇所 （ ・仕上表による ・図示による） ・シーラーその他の材料は、セルフレベリング材製造所の指定する 製品とする。

4 プラスター塗	・種 類 ドロマイトプラスター ・石膏プラスター
5 土 壁	・
6 しっくい	・
7 各種吹付	・種 類： ・7%アル弾性吹付タイル フィーテ下地共 JIS6909 ・ウレタン弾性吹付タイル JIS6021 ・仕 上： ・凹凸 ・ゆず肌 ・凸部処理 ・工 法： ・ローター 吹付け
8 人造石塗	・仕 上： ・水磨き ・粗磨き ・小叩き ・かき落し ・その他（洗い出し仕上げ（間柱））

1 6 建具工事

① アルミ 建具	○耐風圧性： ・S-3 ・S-4 ○S-5 ・S-6 ・S-7（自動ドアはS-1） ○気密性： ・A-1 ・A-2 ・A-3 ○A-4 ○水密性： ・W-1 ・W-2 ・W-3 ・W-4 ○W-5 ○遮音性： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ○仕 上： ・アルマイト仕上 ○電解着色皮膜 ・耐候性鋼板 ・その他 ○防虫網： ○ステン製SUS316 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・完全防水がすり： ・横120型 ・堅100型 ・横100型 ・堅70型 ・横70型 ・開口率50% ・45.2% ・35% ・防火がすり付 ・ステン製40mm付 ・その他
2 鋼製建具	・気密性： ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・A-4 ・遮音性： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ・種 類： ・普通鋼板 ・溶融亜鉛メッキ鋼板 ・耐候性鋼板 ・その他 ・鋼板厚さ： ・窓枠、出入口枠、三方枠でH=2400までは厚さ1.6mm ・窗櫓はステンレスの厚さ1.5mm ・坊錆処理： ・鉛酸がすり錆止塗料（2〔工場1回+現場1回〕）回塗 ・そ の 他： ジンクリッチペイント金属高濃度亜鉛末含有量 96.0 % 2回（40μm×2）塗りとする。
3 鋼製軽量建具	・気密性： ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・A-4 ・遮音性： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ・種 類： ・普通鋼板 ・溶融亜鉛メッキ鋼板 ・耐候性鋼板 ・その他 ・鋼板厚さ 0.6mm ・芯 材： ・ベークライト ・水酸化アルミ無機シートコブ
4 ステンレス 製建具	・仕 上： ・ヘアライン仕上 ・バフ仕上 ・エッチング仕上 ・ミラー仕上（900 #） ・その他（バブレーション仕上） ・曲げ加工： ・普通曲げ ・角出し曲げ ・その他
5 木製建具	・一般事項： ・設計図及び共通仕様書による。 ・建具の含水率の種類は、（A ・B ・C）種とする。 ・見込み寸法は、（ 33 ）mmとする。 ・表面板の厚さは、（ ・マニ化粧板1.2mm ・ホリ化粧板1.2mm）
⑥ 建具金物	○指定製造所の製品とし、形式は設計図により見本提出の上、係員が承認し たものとする。 ・マスターキー： ・必要（各扉共通キー） 組各1 0 枚 ・不要 ・グラントマスターキー： ・既存施設キーにあわす ・各キーは市販キーボックスに入れ、室名札を添付して係員に提出する。 ・ドアクローザー： ・標準取付け ・バラレル取付け ・機 能： ・速度調整機能 ・バックチェック機能 ・ディレードアクション機能 ・ストッパー： ・有り ・無し ・錠： 防犯用施錠（ディンプル錠、電気錠）とする。
7 自動ドア 開閉装置	設置場所： 風除室 駆動方式： 電動式 検出方式： 自動検出方式 扉の開閉装置： 引き分け
8 自閉式上吊り 引戸	開放方式： 手動 駆動方式（閉鎖方式）： 傾斜レール式自動閉鎖 制動装置： オイルショック方式ブレーキ
9 シャッター	・種 類： ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター ・軽量シャッター ・耐風圧性： ・1200Pa ・1600Pa ・2000Pa ・2400Pa ・2800Pa ・材料（下地含む）： ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・鋼帯 ・カラー鋼板
10 ガラス	・種 類： ・設計図による。 ・ガラス取付材料： ・ビニール製ビード ・ポリサルファイド系シール材（延焼ライン部分） ・硬化性ガラスパテ ・その他（シリコンシリカ）

1 7 カーテンウォール工事

1 一般事項	・カーテンウォールの諸性能 ・耐風圧性： 2800Pa ・気密性： 2m ³ /h/m ² ・水密性： 500Pa ・耐火性： ・耐温度差性： ・遮音性： ◎建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出 すること。 ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V0=（ 36 ）m/s 地表面粗土区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ）
2 移動カー テン ウォール	・金属材料の種類： アルミ製 ・シーリング材の種類、耐久性の区分： MS-2 ・ガラスの取付け材料： シーリング材の種類（SR-1） ・断熱材： ・見え掛り部分の仕上げ： A-2種 ・ガラス溝（寸法： 30mm 形状： ）

1 8 塗装工事

① 一般事項	○素地調査及び塗装工程は標準仕様書による。
② 材料・工法	○種 類： ○塗回数 ○素地ごしえ S O P： 標仕 表18.4.2： B種（鉄鋼面） D P： 標仕 表18.7.1： （鉄鋼面） D P： 標仕 表18.7.2： （亜鉛メッキ鋼面） ○E P： 標仕 表18.9.1： B種（ホート面） A S C L： マスISA工法同等品 木材保護： シリツール同等品

1 9 内外装工事

① 一般事項	○本工事に使用する材料は、J I S規格品とする。但し特殊材料はこれに準 拠し前もって見本品を提出し係員の承認を受けることとする。 ○本工事に使用する合板は指示なき限り、塗装下地の場合は合板、そ の他は7%合板とする。又水場廻りに使用する合板はT 1 耐水合板とす る。 ○目透し貼りの受材面は、特記なき限り幅広のテープ張りを施す。
2 ビニル床タイル	・材質： ・色柄： ・厚さ： ・接着剤：
3 置床 ビニル床タイル	・材質： 置床ビニル床タイル（東リ：ルズレI40NW-EX程度） ・色柄： 木目調 ・厚さ： 4mm ・接着剤： 標準仕様書、メーカー仕様による
4 タイルペー ット	・材質： タイルペーット（東リ：GA-3600程度） ・色柄： 現場打合せ ・厚さ： 6.8mm ・接着剤： 標準仕様書、メーカー仕様による
5 長尺塩ビ シート	・材質： 複層ビニル床シート FS （東リ：マチュアNW、消臭NSTワレNW程度） ・色柄： 木目調、マブル、現場打合せ ・厚さ： 2.0mm ・接着剤： 標準仕様書、メーカー仕様による
6 フローリ ング 張り	・種別： ・樹種： ・表面仕上：
⑦ 塗り床	○下地： ・コンクリート直押さえ ・モルタル塗り ・工法： ・コーキング仕上げ ・流し延べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・厚さ： ・0.2mm ・0.4mm ・0.8mm ・1.0mm ・2.0mm ・その他 ・仕様： ・防塵 ・防滑 ・抗菌 ・耐電防止 ・難燃性 ・仕上： ・7%樹脂系 ・ウレタン樹脂系 ・エポキシ樹脂系
⑧ 内 壁 材	○下地： ・鋼製軸組＜J I S規格品＞ ・軽鉄下地 ・50型 ・65型 ・75型 ・90型 ・100型 ○その他（図示による） ○材料： ・石膏ボード 12.5mm、9.5mm（不燃） ・シーリング 石膏ボード 12.5mm ・岩綿吸音板 9mm ・化粧石膏ボード 9.5mm ・石膏がすり板 6mm ・化粧がすり板 6mm ・マニ化粧板 3mm（7%セラー がすり程度） ○その他（図示による） ○工法： ・継目処理工法 テーパーエッジ（石膏ボード下地） ・目透かし貼り ○突付け貼り ・7%見切り（マニ化粧板） ○その他（図示による）
9 ビニルタ イル 張り	・材質： SIAA（抗がすり加工）取得品（法規制部分不燃） ・色柄： 現場打合せ
10 化粧がすり 張り	・材質： SIAA（抗がすり加工）取得品 ・色柄： 現場打合せ

⑪ サイディング 張り	○材料： 金属系サイディング t15 好張り IG工業 程度
12 断 熱 材	・材料： グラスウール100mm 24kg/m ² u3（天井） ・材料： ロックウール100mm 24kg/m ² u3（外壁） ・材料： 吹付硬質ウレタンフォーム25mm（外壁） 硬質ウレタンフォーム50mm（屋根）

2 0 ユニット及びその他工事

1 トイレース	・図示による。
2 ブラインド ボックス	・溝幅×深さ（mm） ・90×150 ・120×80 ・130×110 ・図示による ・材質 ・集成材 ・アルミニウム製 ・鋼製
3 カーテンル	・施工取付箇所： 図示による ・材質： アルミ製
4 ロースクリン	・施工取付箇所：
5 カーテン	・施工取付箇所： 図示（天井伏図）
6 ブラインド	・施工取付箇所： 図示（天井伏図）
7 ビックフェ ーレル	・中量タイプ 30kg型
8 流し台	・各階給湯室： 詳細図による
9 サイン	・図示による。
10 消火器	・消火器BOX（全埋込）+消火器ABC10型共 ・消火器BOX（床置）+消火器ABC10型共
11 OAア ラ マ マ マ	・3000N評価品 H150

2 1 排水工事

1 鋳鉄蓋蓋	・種 類： ・水封型 ・簡易密閉型（バツクン式） ・密閉型（テパ・バツクン式） ・中蓋付き密閉型 （テパ・バツクン式） ・適用荷重： ・T-2 ・T-8 ・T-2 0 ・鍵： ・有 ・無
2 グレーチ ング	・種 類： ・図示による。 ・形 式： ・受枠付 ・ボルト固定 ・用 途： ・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用 ・適用荷重： ・T-2 ・T-6 ・T-1 4 ・T-2 0 ・T-2 5 ・マンホール蓋： ・普通目 ・細目 ・亜鉛メッキ付着量： ・H D Z 5 5 ・その他 ・上面形状： ・凹凸形 ・その他
3 排水管	・図示による。

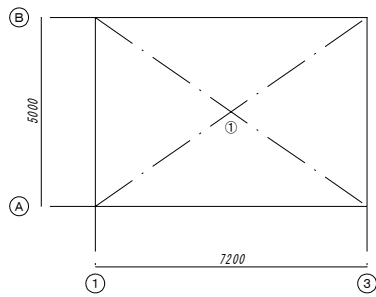
2 2 舗装工事

① アスファ ルト舗装	○舗装の種類： ○アスファルト舗装 ・カラー舗装 ・車路部の基層： ・有 ○無 ・その他（図示） アスファルト： ・再生アスファルト ○ストレータスファルト 骨 材 ○砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物 区分 一般地域 表 層 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) 基 層 ・粗粒度アスファルト混合物(20)
2 特殊舗装	・舗装の区分： ・インターロッキングブロック舗装 ・アスファルト舗装 ・カー舗装 ・種類： 普通ブロック（曲げ強度5.0N/mm ² 以上） （日本興業株式会社 ベイブ ロックフェブ 程度品） ・形状： 297×147 80mm ◎舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。
3 区 画 線	◎路面表示位置は、図示による。 ◎材料： 種類（水性ペイント）、色（白）、添付幅（15cm） 添付厚さ（1.0mm）

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	電気室特記仕様書（2）	Scale	n o n
		設計年月日	
図 番	NO. 29 Total 55 A-02	神 山 町 建 設 課	

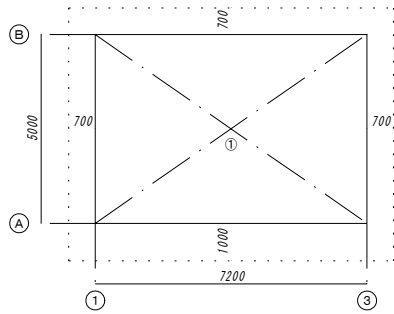
設 計 概 要		外 部 仕 上 表	
工事名称	令和7年度 広野区域水道施設建設工事設計委託業務	名 称	仕 様
建築概要	名西郡神山町	屋 根	元旦TRX3型 カラーガルバリウム鋼板 t=0.45
建築構造	鉄骨造		アスファルトルーフィング940 野地板：構造用合板t=12
敷地面積		外 壁	金属サイディングt=15 タテ張り 透湿防水シート
			胴縁C-100×50×20×2.3@606
建築面積	36.00㎡	腰 壁	コンクリート打ち放し補修
床面積	36.00㎡	巾 木	コンクリート打ち放し補修
		軒 天	ケイカル版t=6 目透かし AEP塗装
軒の高さ		樋	軒樋 タテ樋 塩ビ製75φ
最高高さ		室名札	アクリル5mm 平付型文字シート張
		その他	建具取合部分 ポリサルファイド2成分型シーリング（色は、サンプルを提示の上監督員の承認を得ること。）
			アルミ建具は、電解二次着色（ステンカラー）程度（カラーサンプル提示の上監督員の承認を得ること。）

内 部 仕 上 表									
階	室 名	床	S L	巾木	H	壁	天 井	天井高	備 考
1 F	発電機室	コンクリート直ならし 防塵塗装	+200	防塵塗装	200	グラスウール吸音板張り 32K t50 ガラスクロス（化粧ピン）	グラスウール吸音板張り 32K t50 ガラスクロス（化粧ピン）	2700	配線ピット、縞鋼板蓋、設備基礎
1 F	電気室	コンクリート直ならし 防塵塗装	+200	防塵塗装	200	グラスウール吸音板張り 32K t50 ガラスクロス（化粧ピン）	グラスウール吸音板張り 32K t50 ガラスクロス（化粧ピン）	2700	配線ピット、縞鋼板蓋、設備基礎
特 記 事 項									
・ S Lは、設計G Lよりの高さとする。						・ 防火認定番号			
・ グラスウールボードは、グラスクロス押さえボタン止めとする。						石膏ボード t=12.5 NM-8612			
・ 外部コンクリートは、T=20フカシとする。						ビニールクロス QM-9440			
						グラスウール t=25 NM-8610			
						化粧石膏ボード t=9.5 QM-9824			



1階床面積求積図 1／100

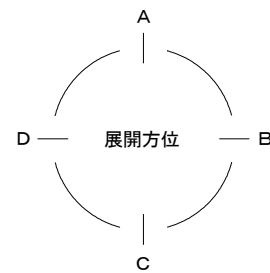
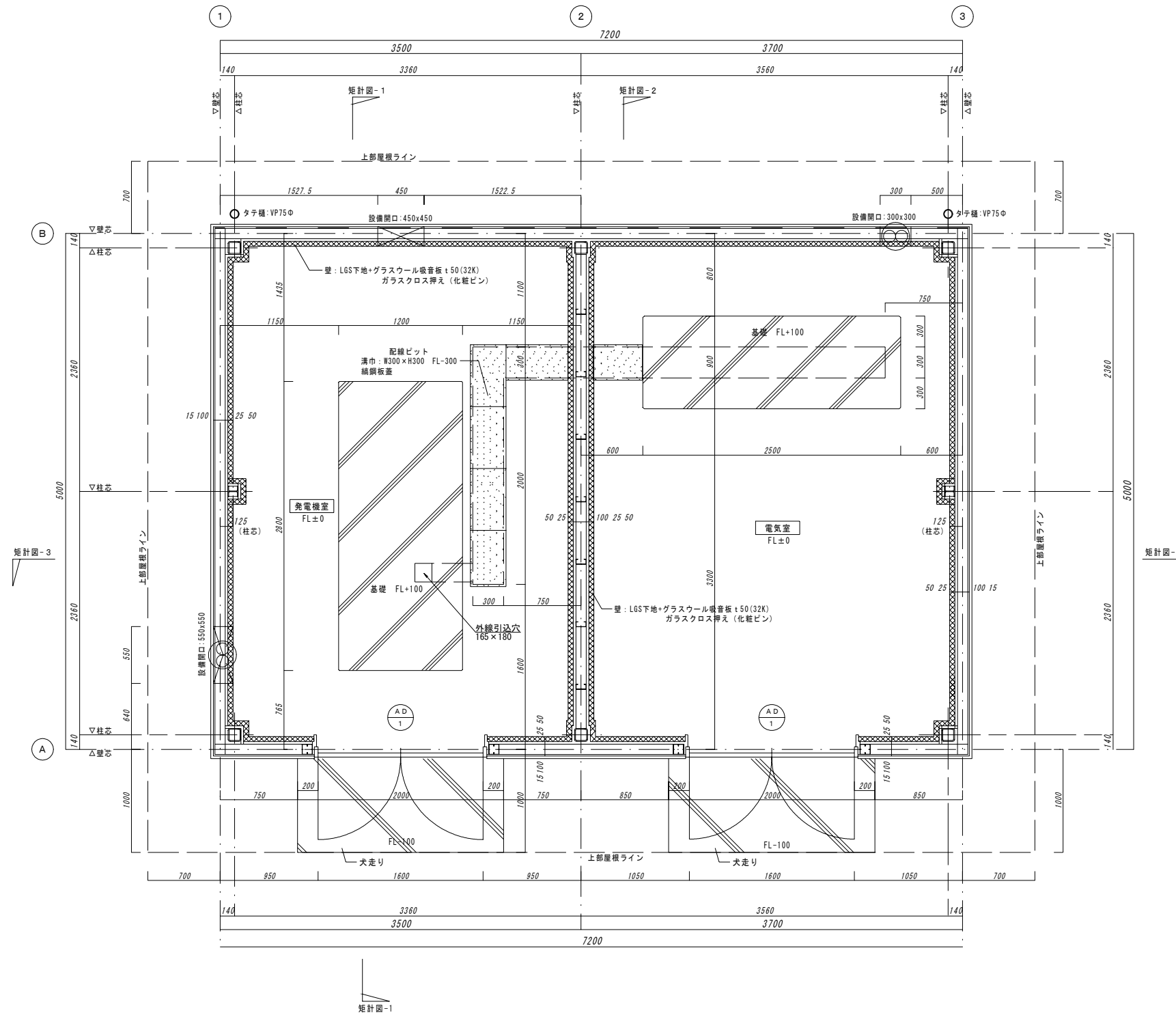
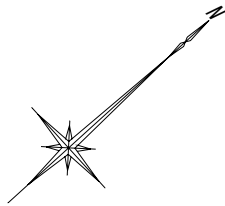
床 面 積		
①	7.20×5.00=36.00	36.00㎡
	延床面積	36.00㎡



建築面積求積図 1／100

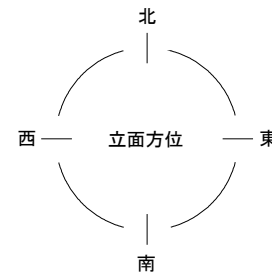
床 面 積		
①	7.20×5.00=36.00	36.00㎡
	延床面積	36.00㎡

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町
図 名	広野配水池		Scale	1:100
	仕上表、面積表、求積図		設計年月日	
図 番	NO. 30	神 山 町 建 設 課		
	Total 55 A-03			

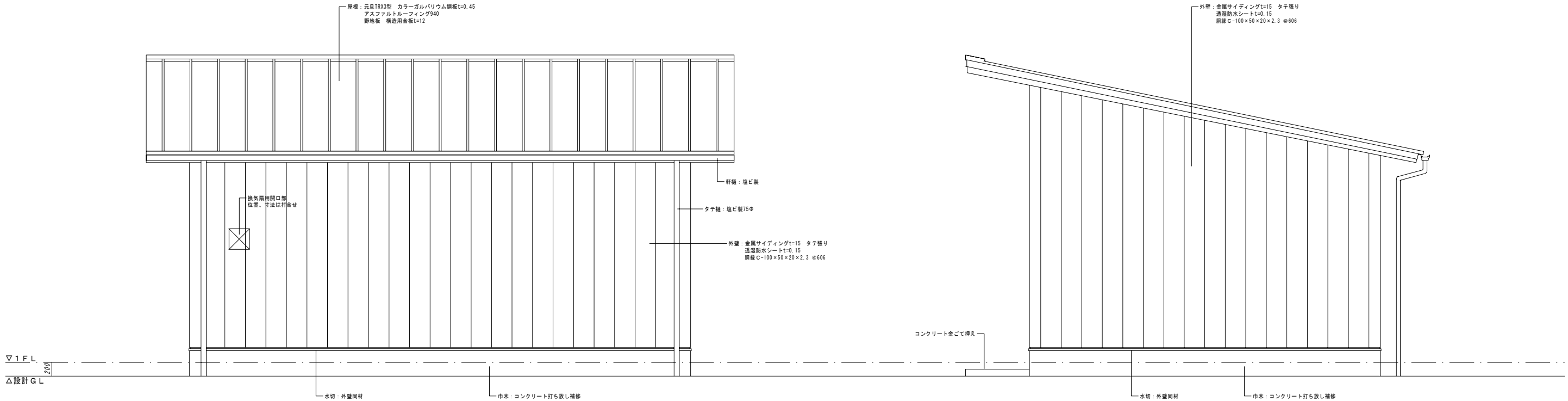


1階平面図 1/25

※換気扇の開口寸法は、使用する換気扇によって調整すること

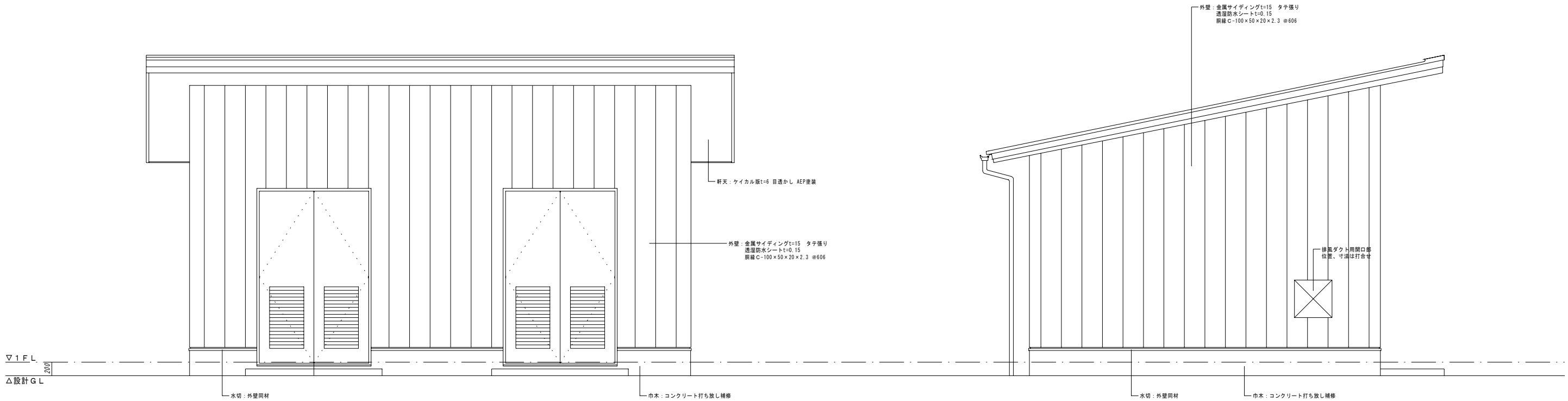


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	広野配水池 1階平面図	Scale	1:25
図 番	NO. 31 Total 55 A-04	神 山 町 建 設 課	



北面 立面図 1/30

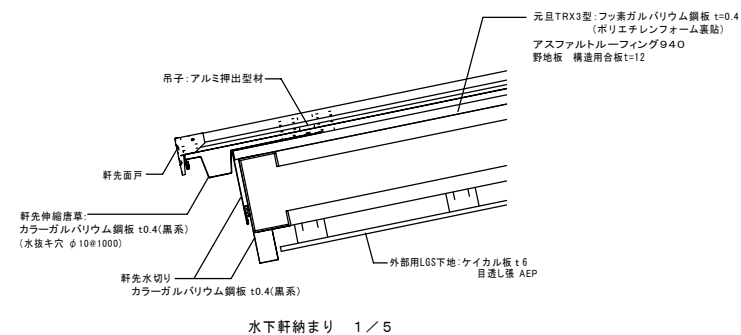
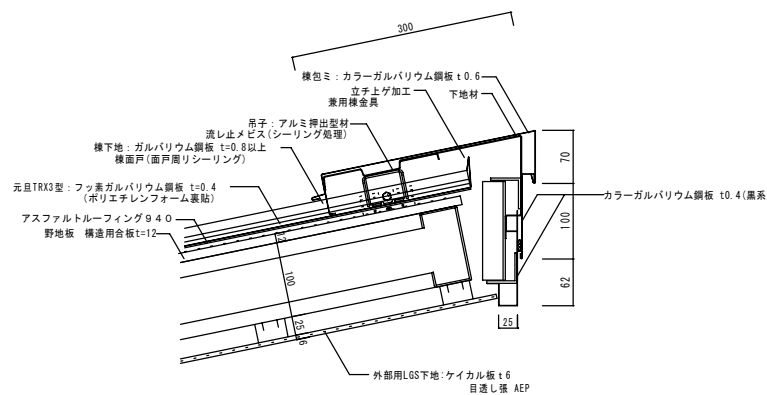
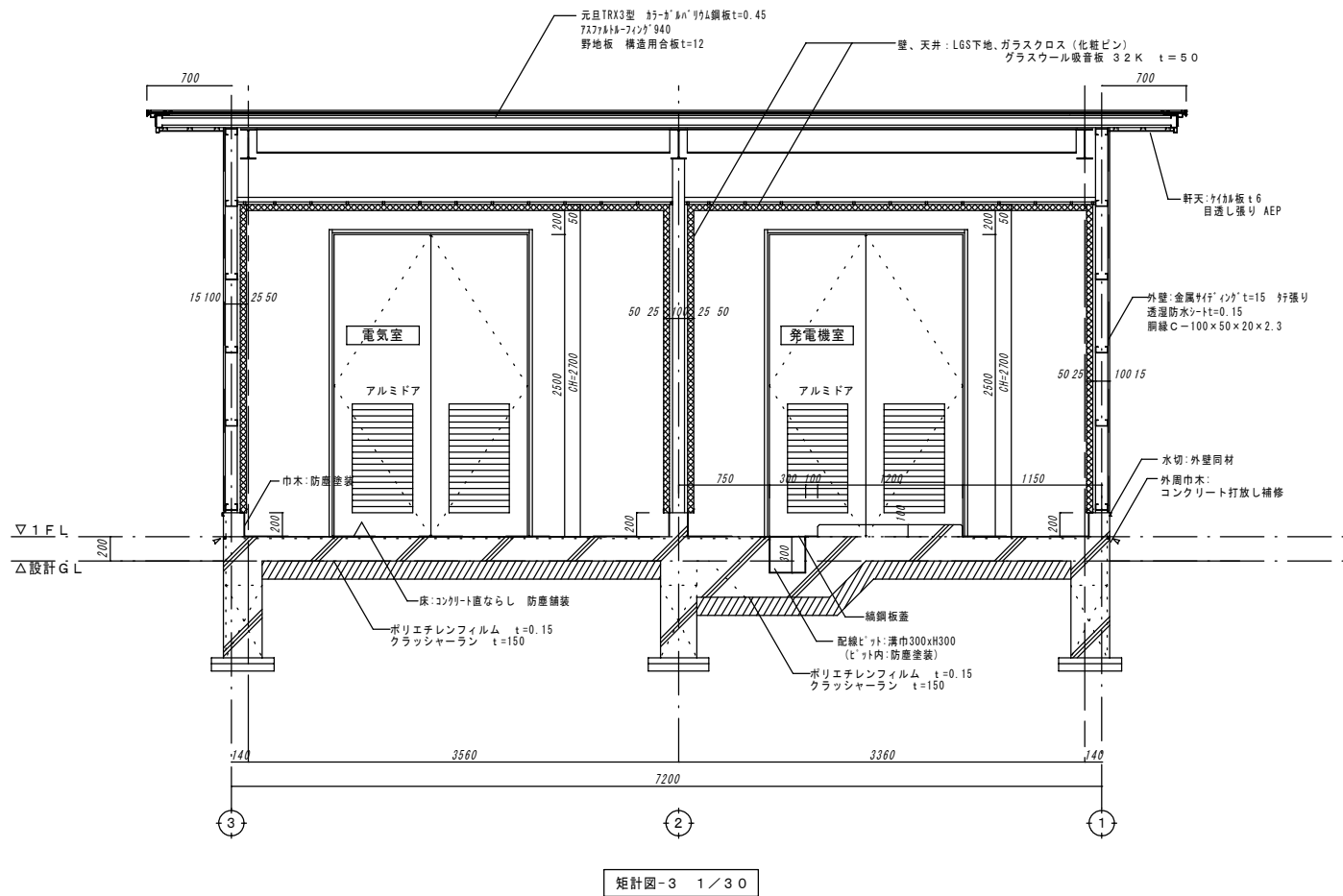
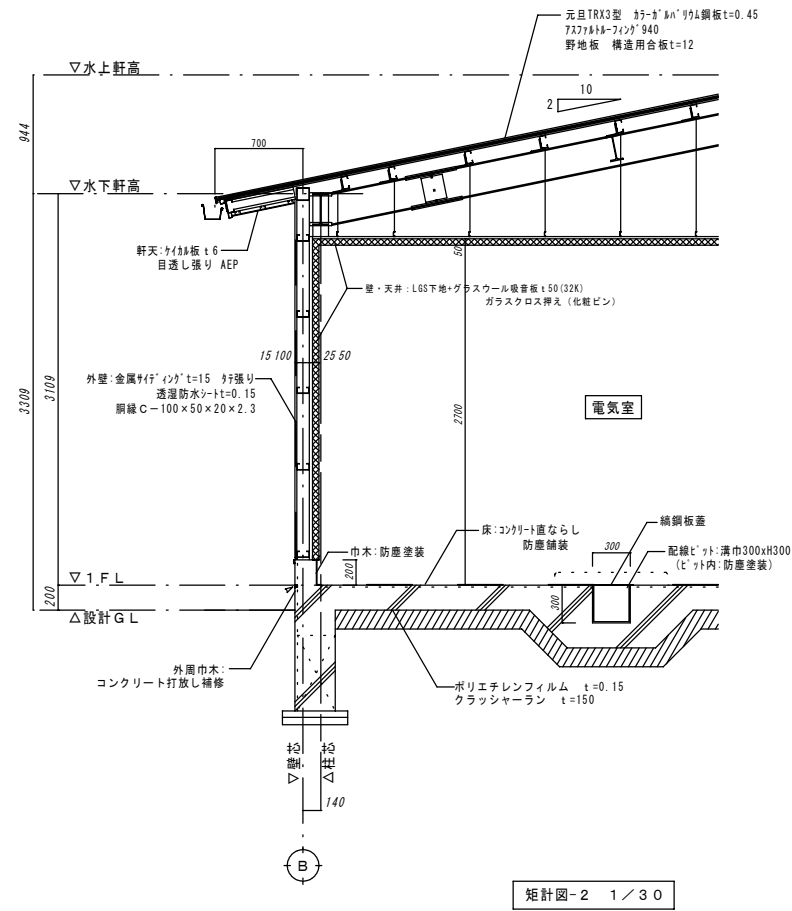
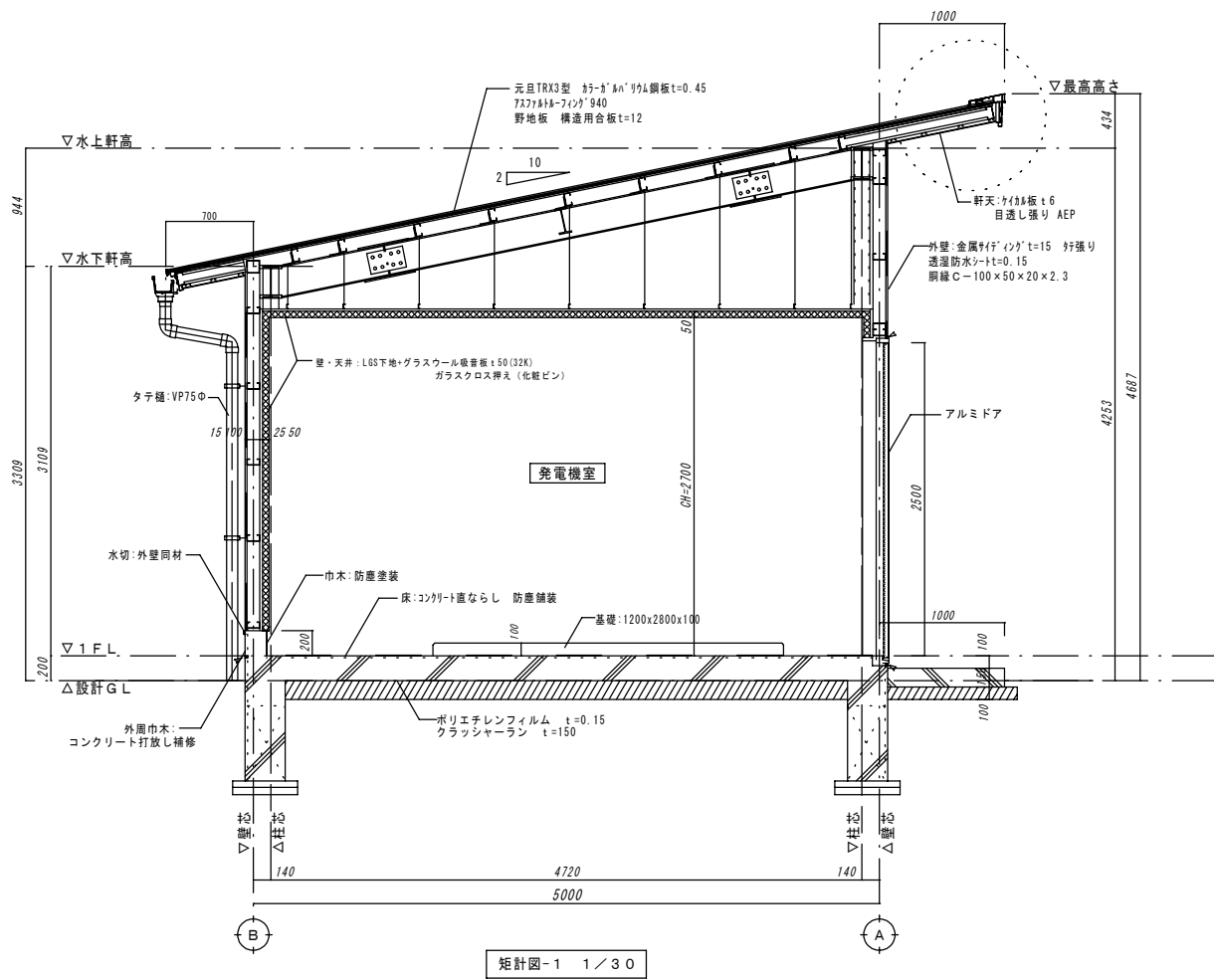
東面 立面図 1/30



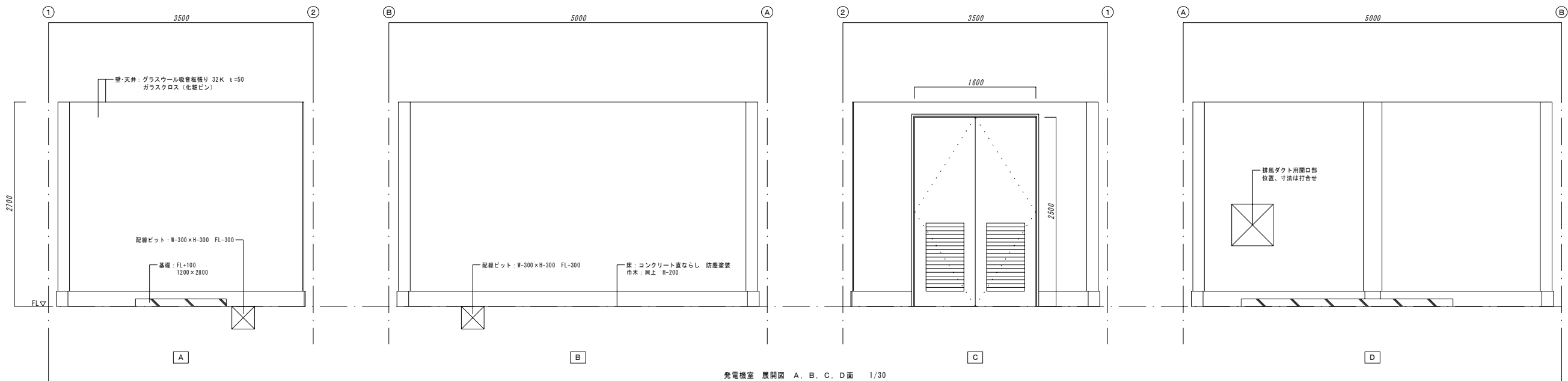
南面 立面図 1/30

西面 立面図 1/30

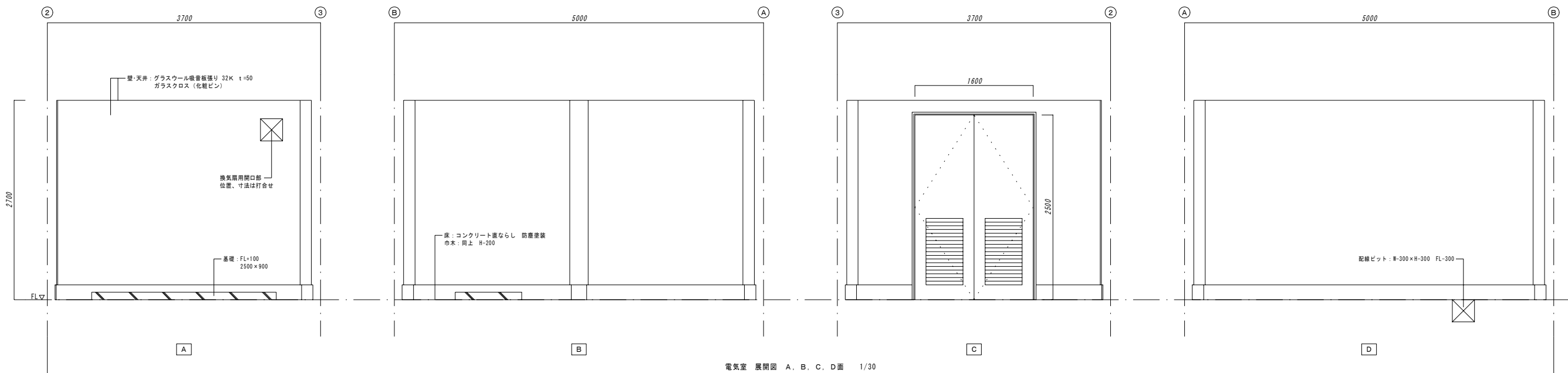
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	広野配水池	Scale	1:30
	立面図	設計年月日	
図 番	NO. 32	神 山 町 建 設 課	
	Total 55 A-05		



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	広野配水池 矩計図	Scale	図示
図 番	No. 33 Total 55 A-06	設計年月日	神 山 町 建 設 課



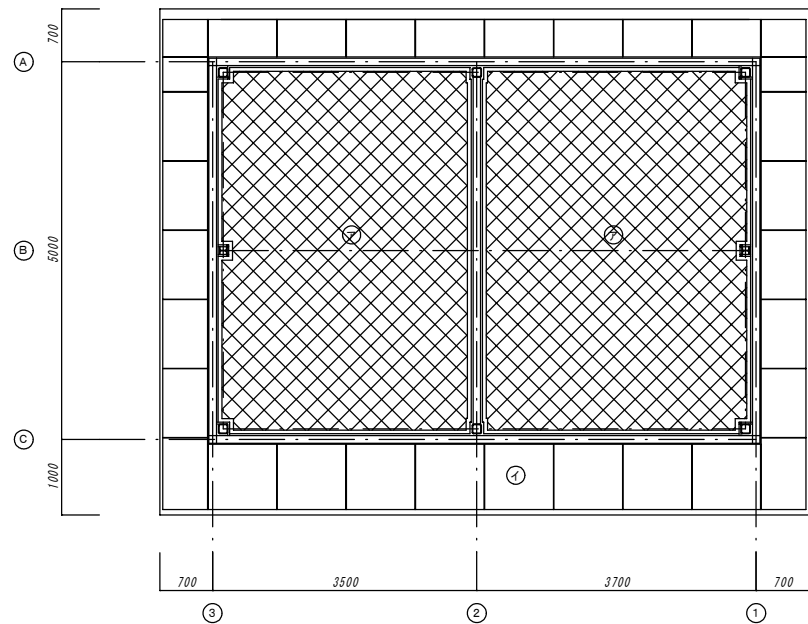
発電機室 展開図 A、B、C、D面 1/30



電気室 展開図 A、B、C、D面 1/30

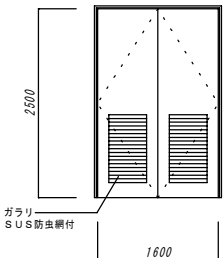
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	広野配水池 展開図	Scale	1:30
図 番	NO. 34 Total 55 A-07	設計年月日	

神 山 町 建 設 課



天井伏図 1/50

天井仕上表	
⑦	グラスウール吸音板種リ 32K t=50 ガラスクロス（化粧ビン）
①	軒天：ケイカル板t=6 目隠かし AEP塗装

建具表 S = 1:50	
記号、室名	AD T 発電機室、電気室、減圧器室
形式	
図	 ※ 建具内部ロックウール充填
ガラス	
仕上	電解着色仕上
見込	100
数量	2
建具金物	丁番（3枚）、レバーハンドル、シリンダー錠、ドアチェック 下枠：ステンレス、アルミ縦線

建具工事特記仕様
1. 建具施工図を提出し、承認を得た後制作に取りかかること。
2. 建具は金属製、寸法は特記なき限り有効開口寸法を示す。
3. 金属製建具外部廻りは、4 間共コーキング詰めとする。
○ 窓性シリコン ・ ポリサルファイド ・ ウレタン
4. 建具金物は、特記なき限りステンレス(SUS304)製とし 全て見本品提出の上決定する。
5. ドア下枠はステンレス(SUS304)製 t=2.0 とする。
6. ドアチェックはストッパー付きとする。

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	広野配水池	Scale	1:50
	天井伏図、建具表	設計年月日	
図 番	NO. 35	神 山 町 建 設 課	
	Total 55		
	A-08		

新 構造設計特記仕様 その2

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

9. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS5 2018 による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大匠認定を受けた製品を用いる必要がある。
軽量コンクリートについてはJASS5の14節によること。

表9.1 コンクリート圧縮強度 (N/mm²) に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 F_d	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS5での区分	普通コンクリート					高強度コンクリート									

表9.2 レディーミクストコンクリートのJIS規格品

調合管理強度 (N/mm ²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
-----------------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

呼び強度 (JIS規格品)	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※
---------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

※印は規格外

(b) 品質と施工

- 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
 - 標準 □ 長期 □ 超長期
 - (本仕様書では計画供用期間の級は、「短期」を想定していない。)
- コンクリートは JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) に適合するJIS認証工場の製品とする。
- 設計基準強度が36N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第2号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。
- レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。
- 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランブフローで表し、設計基準強度が36N/mm²以下33N/mm²以上の場合スランプ21cm以下、33N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし設計基準強度が36N/mm²超 45N/mm²未満の場合はスランプ21cm以下またはスランブフロー50cm以下、設計基準強度が45N/mm²以上の場合はスランプ23cm以下またはスランブフロー60cm以下とし、特記による。
- コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として0.3kg/m³以下とする。
- コンクリートの標混ぜから打込み終了までの時間は、原則として外気温が25℃未満の時は120分、25℃以上の時は90分とする。
- コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
- 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。
- コンクリート打込み中、及び、打込み後5日間はコンクリートの温度が2度を下回らないようにし、セメントの種類に応じて湿潤養生する。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

- コンクリートの強度を求める強度試験は、JIS A 1108(コンクリートの圧縮強度試験方法)もしくはJIS A 1107(コンクリートからのコアの採取方法)による。
 - i) 高強度コンクリート
 - 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は 28日とする。
 - 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は 91日とする。
 - 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満たすものとする。
 - ① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
 - ② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に3N/mm²加えた値以上とする。
 - 調合管理強度は、以下による。
 - $\mu F_m = F_d + \mu S_n$ (N/mm²)
 - μF_m : 高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
 - F_d : コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
 - μS_n : 高強度コンクリートの構造体強度補正値で JASS5 による。
 - 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の面式を満足するように定める。
 - $\mu F \geq \mu F_m + 1.73 \sigma_{\mu}$ (N/mm²)
 - $\mu F \geq 0.85 \mu F_m + 3 \sigma_{\mu}$ (N/mm²)
 - μF : 高強度コンクリートの調合強度 (N/mm²)
 - σ_{μ} : 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、0.1 ($F_d + \mu S_n$) とする。

ii) 普通コンクリート

- 鋼合を定めるための基準とする材齢は、原則として 28日とする。
- 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。

表9.3 構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材齢 (日)	判定基準
標準養生 (注)	28 日	$X \geq F_m$
コ ア	91 日	$X \geq F_q$

ただし、X：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)

F_m : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

F_q : コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

[注] (1) 早い材齢において試験を行い、合格判定基準を満たした場合は、合格とする。

(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日より20+10℃の日光および風が直接当たらない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

- * 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。
- * コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を39日以内のn口において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

- 調合管理強度は、以下による。
 - $F_m = F_d + \mu S_n$ (N/mm²)
 - F_m : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
 - F_d : コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)
 - μS_n : 標準養生した供試体の材齢 μ 日における圧縮強度と構造体コンクリートの n 日における圧縮強度の差による構造体強度補正値 (N/mm²)
- 調合強度は標準養生した供試体の材齢 μ 日における圧縮強度で表すものとし、下記の面式を満足するように定める。調合強度を定める材齢 μ 日は、原則として28日とする。
 - $F \geq F_m + 1.73 \sigma$ (N/mm²)
 - $F \geq 0.85 F_m + 3 \sigma$ (N/mm²)
 - F : コンクリートの調合強度 (N/mm²)
 - σ : 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は 2.5N/mm²、または 0.1F_m の大きい方の値とする。

(d) 検査

- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合 1 日 1 回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが 8cm以上18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm（呼び強度27以上で高性能減水剤を使用する場合は±2cm）とする。
- 高強度コンクリートの場合は、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランブフローの許容差は、目標スランブフローが 50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28日で行い、1回の試験は、打込み区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 3個の供試体を用いて行う。3回の試験で 1検査ロットを構成する。
- 高強度コンクリートでは、打込み日かつ 300m³ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数は 3回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。
- 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた 3台の運搬車から 1個ずつ採取した合計 3個の供試体を用いる。
- 高強度コンクリートでは打込み日、打込み区ごとかつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5による。
- 構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c)調合および構造体コンクリート強度による。
- コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
 - 試験・検査機関名 (都知事登録 号)
 - 代行業者名 (登録番号 号)
 - 代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

(2) 鉄 筋

(a) 施工

- 鉄筋はJIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551 (溶接金網および鉄筋格子) に適合するものを用いる。
- 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。
- 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。
- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級			鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位 (注)	試験方法		
■ 重ね継手	標準図による	A 級 B 級 SA級	■ D (16) 以下 ■ D (19) 以上		
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	□	□ D () 以上		
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□ □	□ D () 以上		
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□ □ □ □	□ D () 以上		

- 注) (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準 (建築物の構造関係技術基準解説書 2020)」によって検討した部材の条件・仕様によること。
- 機械式継手および圧接継手および溶接継手は〈公社〉日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
 - ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
 - 圧接技量資格者は、〈公社〉日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
 - 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

- i) 鉄筋の種類・径の検査
 - 鉄筋搬入時に鉄筋の種類と径をミルシート、ロールマーク、結束ごとの表示で確認し、必要に応じて径は計測する。
- ii) 配筋の検査
 - 鉄筋の数量、材質、加工形状、配置、間隔、継手と定着の位置と長さ、カットオフ長さ等を目視、又は計測で確認する。
- iii) 鉄筋継手部の検査
 - 各継手工法ごとの検査は平12告示1463号による他、具体的な検査方法は、〈公社〉日本鉄筋継手協会仕様書を参照のこと。

表9.5 鉄筋継手部の検査 (検査結果は工事監理者に報告すること)

鉄筋継手工法	検査の種類	検査数量	試験方法
圧接継手	■ 外観検査	全数※	目視又は計測
	■ 超音波探傷検査	採取1検査ロット当たり (30) 箇所又は () %	JIS Z 3062:2014による
溶接継手	□ 引張試験による検査	採取1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JIS Z 3120:2014による
	□ 外観検査	全数※	目視又は計測
機械式継手	□ 超音波探傷検査	採取1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JRJS 0005:2017による
	□ 引張試験による検査	採取1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JIS Z 2241:2011による
	□ 外観検査	全数※	目視又は計測
	□ 超音波測定検査	採取1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JRJS 0003:2017による
□ 引張試験による検査	採取1検査ロット当たり () 箇所又は () %	JIS Z 2241:2011による	

注) 1 採取1検査ロットは、同一作業連が同一日に作業した継手箇所200箇所程度とする。

注) 2 ガス圧接部分の検査は超音波探傷検査によって行う場合、数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は超音波探傷試験に合格した部位から採取した3率以上とする。

※外観検査の実施は次のによる。(必要に応じて測定器具等の検査機器を用いること)

表9.6 外観検査の要領

	受入検査		工事監理者	備 考
	自主検査	検査機関	施 工 者	
□ 全数	全数	() ()	() ()	
□ 全数	超音波探傷又は超音波測定	検査機関による	() ()	
■ 全数	検査実施部位	検査部位以外	全数	(確認)
□ 全数	採取1検査ロット当たり () 箇所又は () %	() ()	() ()	

- 引張試験を行う試験機関、非破壊試験を行う検査機関は、建築主、工事監理者、又は施工者が自ら契約した機関とする。
- 試験機関は「建築物の工事における試験及び検査における東京都取扱要綱」第4条の試験機関、検査機関は同要綱第8条の検査機関とする。

試験機関名 (都知事登録 号)

検査機関名 (都知事登録 号)

(3) かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、表9.7に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
- 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.7以上の値とする。

表9.7 設計かぶり厚さ (単位: mm)

構造体の計画供用期間の級	標準・長期		超長期	
	屋 内	屋 外 (2)	屋 内	屋 外 (2)
構造部材	部材の種類			
	柱・梁・耐力壁 床スラブ・屋根スラブ	40 30	50 40	40 50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 (1)	30	40	(30)
直接土に接する柱・梁・壁・床および 布基礎の立上り部分、腰梁の壁部分		50		
基礎、腰梁の基礎・床面		70		

注) (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。
(2) 計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを 10mm減じることができる。

- 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第79条に規定する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

(4) 型 枠

- 型枠および支保工の存置期間は、下表による。

表9.8 型枠存置日数 昭和46年建設省告示第110号 (最終改正: 令和元年国土交通省告示第203号)

種 別	は き 板				支 柱			
	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下	
セメントの粒数	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種	高炉セメント A 種
存置期間の平均気温	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種
	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種	シリカセメント A 種
コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	26
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)	5℃未満	5	8	10	16	15	26	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	26	28
コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)	※ 5.0N/mm ²	設計基準強度の50%						
	※ 5.0N/mm ²	設計基準強度の						
		50%						
		100%						

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあっては 5N/mm²以上、長期及び超長期の場合は 10 N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は 10N/mm²以上。

- 注) 1 片持ち梁、壁、スパン 9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
- 注) 2 大梁の支柱の腐蝕は行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の腐蝕は、必ず直上段のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛替え後の変形頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 変形の盛替えは、小梁が壊れてからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。
- 注) 6 直上段に若しくは大きい横載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支持を除く) の盛替えを行わないこと。
- 注) 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすものがある振動または衝撃を与えないように行うこと。

事業名 令和8年度 生活基盤近代化事業 発注機関 神 山 町

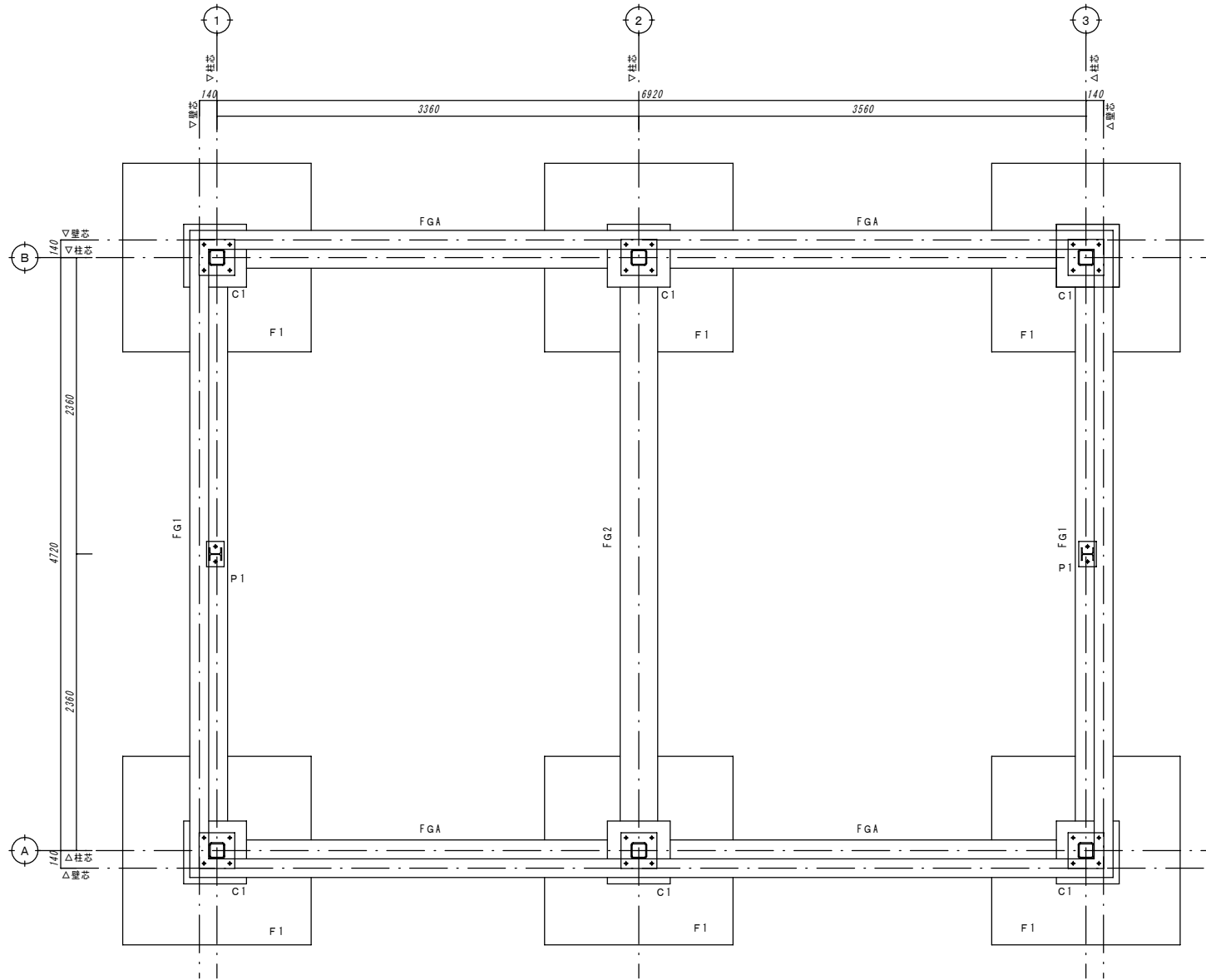
配水池 Scale none

図 名 構造設計特記仕様 その2 対年月

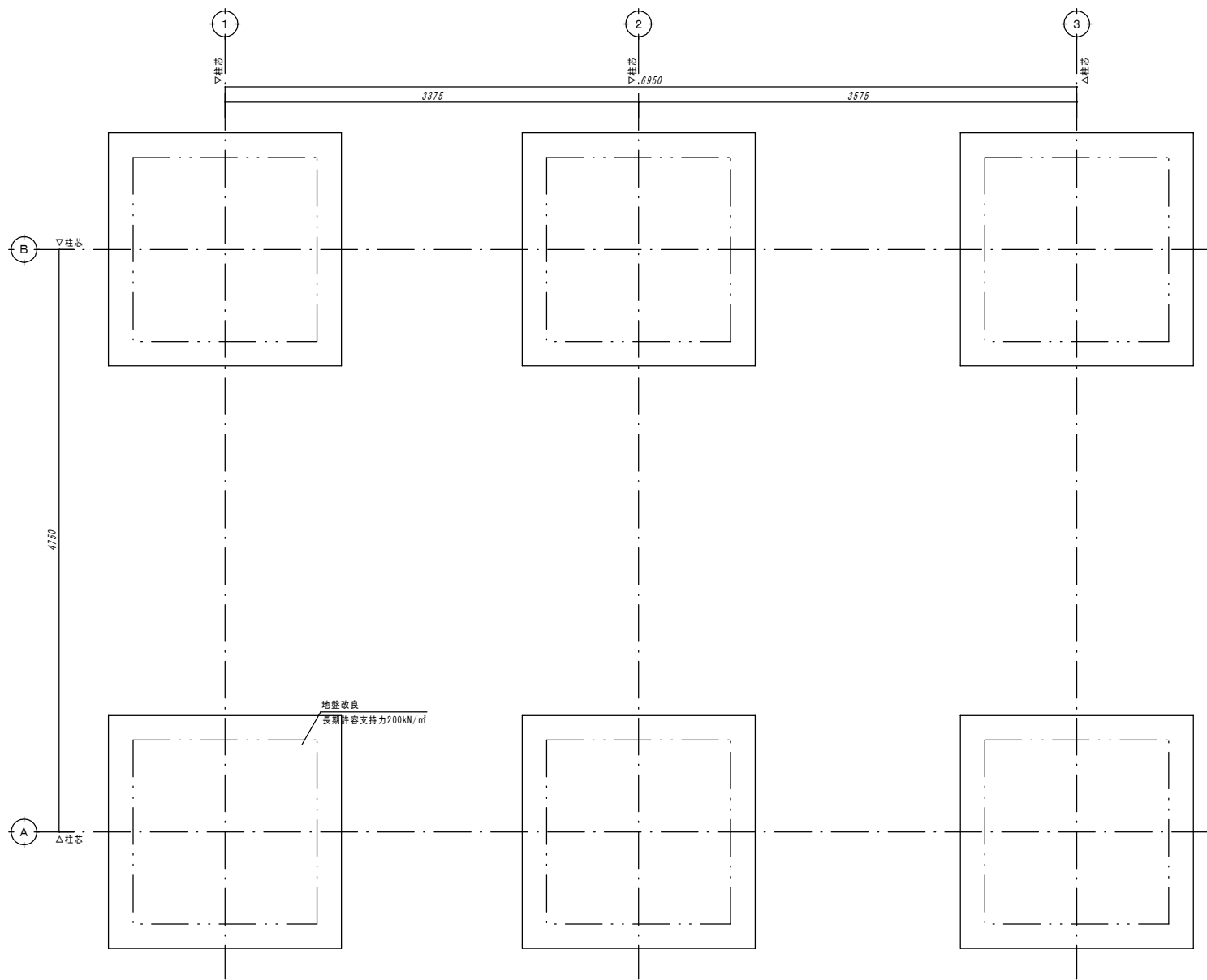
図 番 NO 37

Total 55

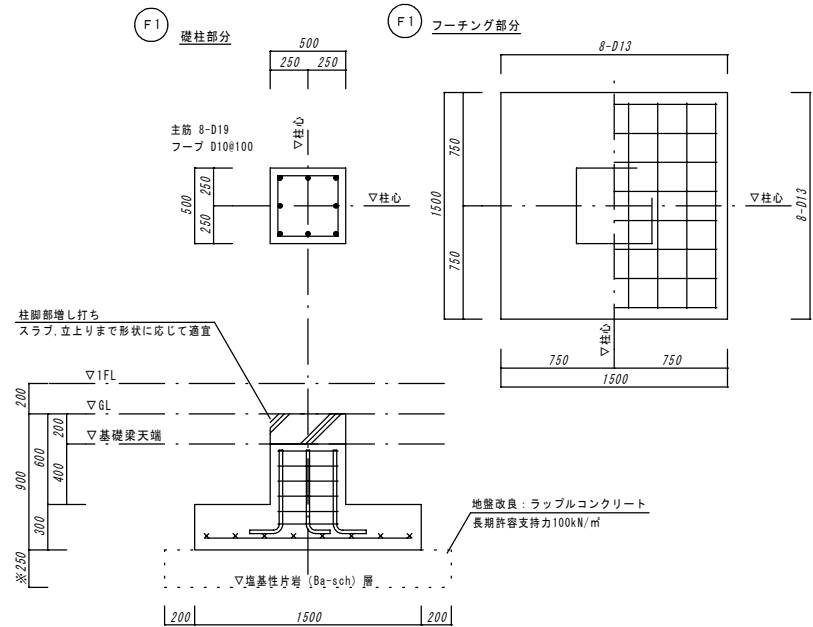
S-02 神 山 町 建 設 課



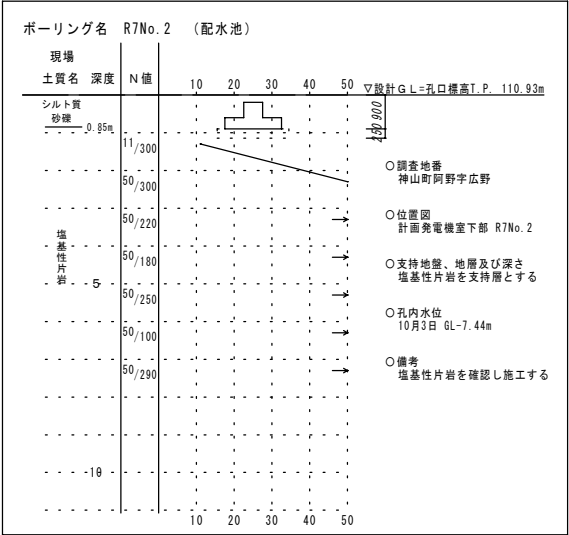
基礎伏図 1/25



地盤改良伏図 1/25



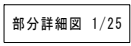
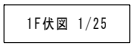
基礎配筋図 1/25



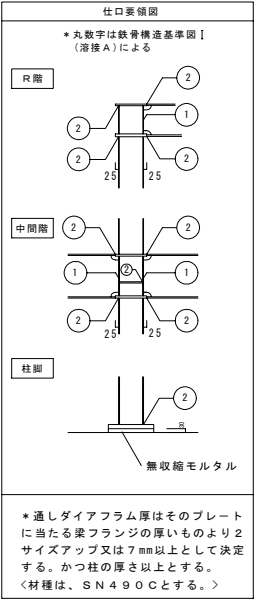
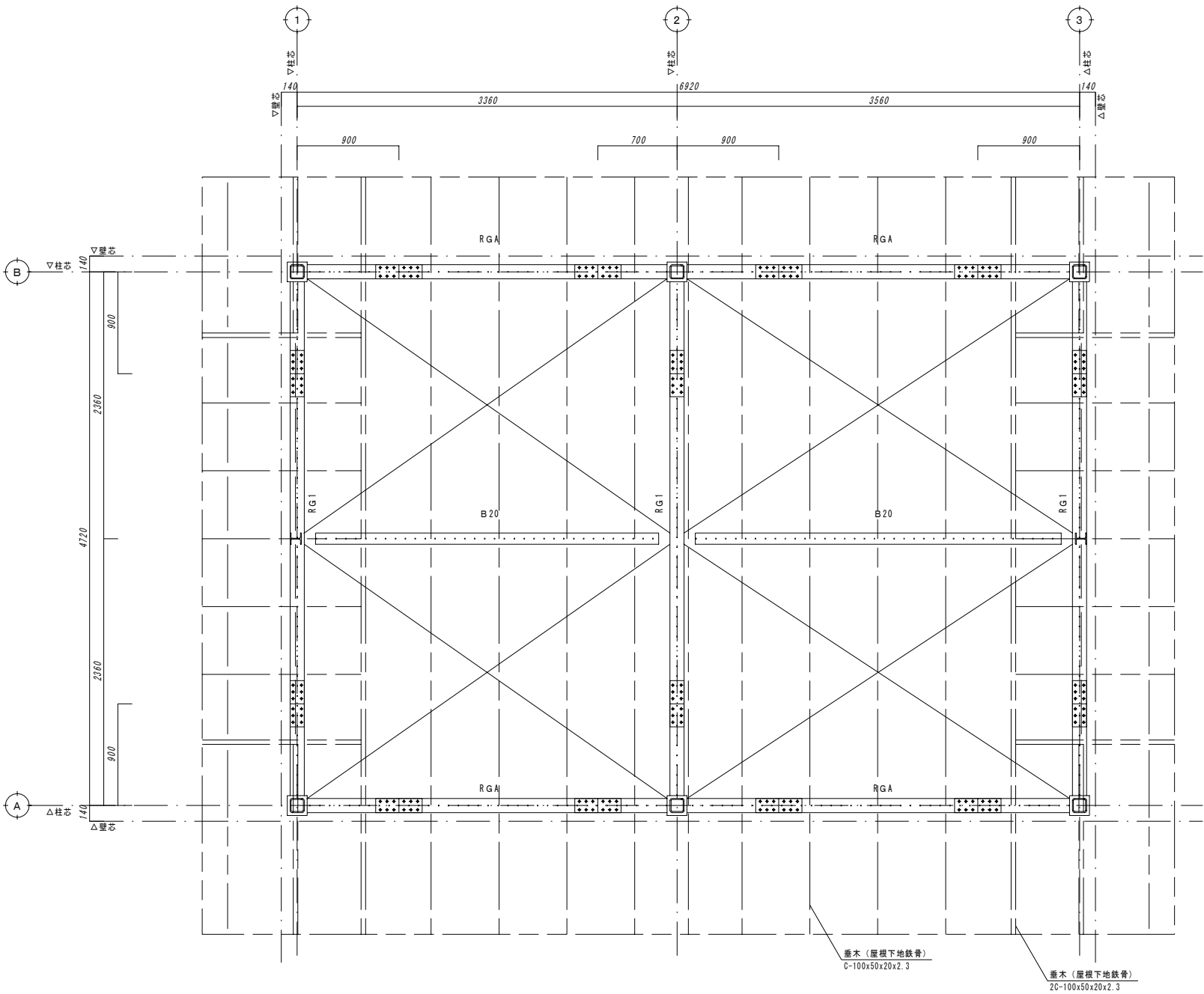
●地盤改良	
地盤改良工法〔ラップルコンクリート置換工法〕	
地盤改良耐力は、基礎下にて 長期 (RaL=100kN/m ²)、短期 (RaD=200kN/m ²) とする。	
地盤改良支持層は、堆積性片岩 (Ba-sch) 層とする。	
●コンクリート	
捨てコンクリート	: Fc=18 N/mm ² u2 スランプ 8cm
ラップルコンクリート	: Fc=18 N/mm ² u2 スランプ 8cm
鉄筋コンクリート	: Fc=24 N/mm ² u2 スランプ15cm
●鉄筋	
D10, D13, D16	SD295 重ね継手
D19	SD345 ガス圧接継手

特記事項		
鉄筋コンクリート	Fc = 24 N/mm ² u2	
鉄筋	D10~D16	SD295
	D19	SD345

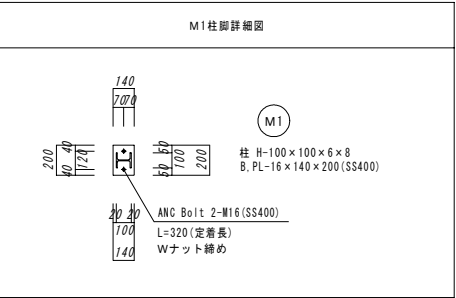
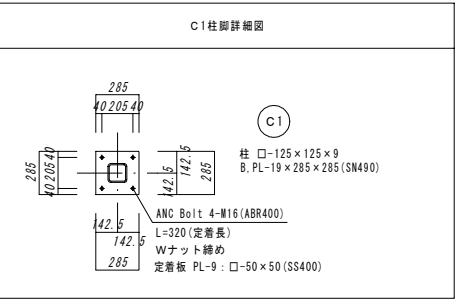
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池	Scale	1:25
	基礎伏図, 地盤改良伏図 基礎配筋図	設計年月日	
図 番	No. 38	神 山 町 建 設 課	
	Total 55 S-03		



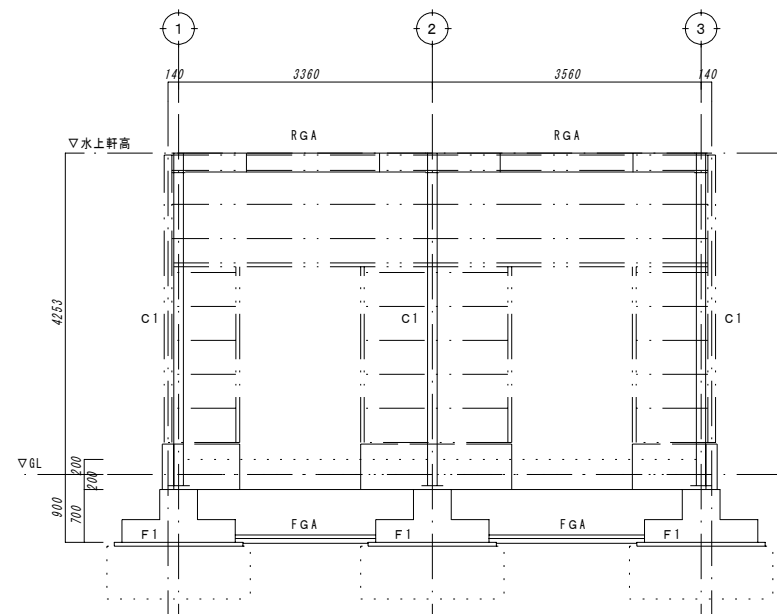
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事		発注機関	神 山 町
図 名	配水池		Scale	1:25
	1F伏図 部分詳細図		設計年月日	
図 番	NO.	39	神 山 町 建 設 課	
	Total	55		
	S-04			



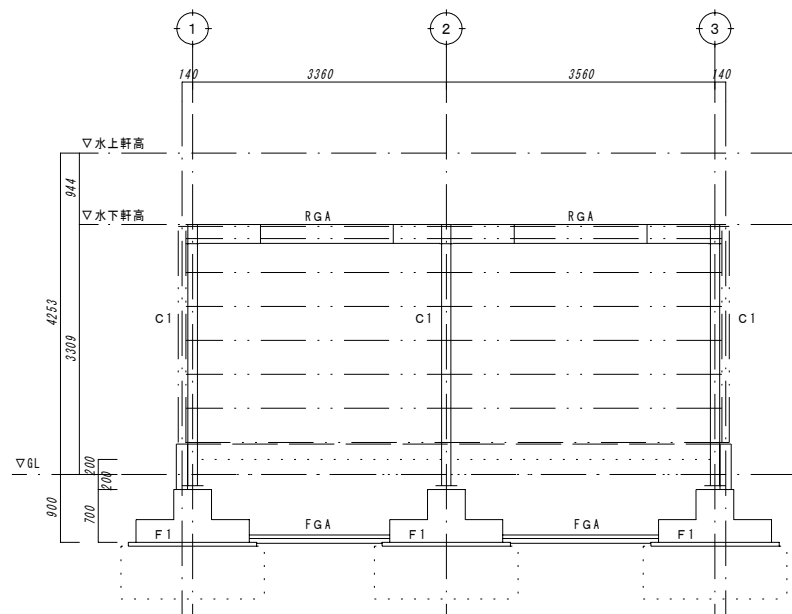
記 号	断 面 サ イ ズ	備 考	材 種
RGA RG1	H - 250 X 125 X 6 X 9	FPLs-12 HTB 32-M20 WPLs- 9 HTB 12-M20	SS400
B20	H - 200 X 100 X 5.5 X 8	PL - 6 HTB 2-M16	SS400
C1	□ - 125 X 125 X 9		STKR400
M1	H - 100 X 100 X 6 X 8	PL - 6 HTB 2-M16	SS400
水平プレート	1 - M16	JIS規格品 (9-20°スリット付)	SS400
屋根下地受材	C - 100 X 50 X 20 X 2.3 #600 ZC - 100 X 50 X 20 X 2.3	PL - 6 (中#ス) 2-M12	SSC400
胴 縁	C - 100 X 50 X 20 X 2.3 #450	PL - 6 (中#ス) 2-M12	SSC400
開口補強部材	ZC - 100 X 50 X 20 X 2.3	PL - 6 (中#ス) 2-M12	SSC400



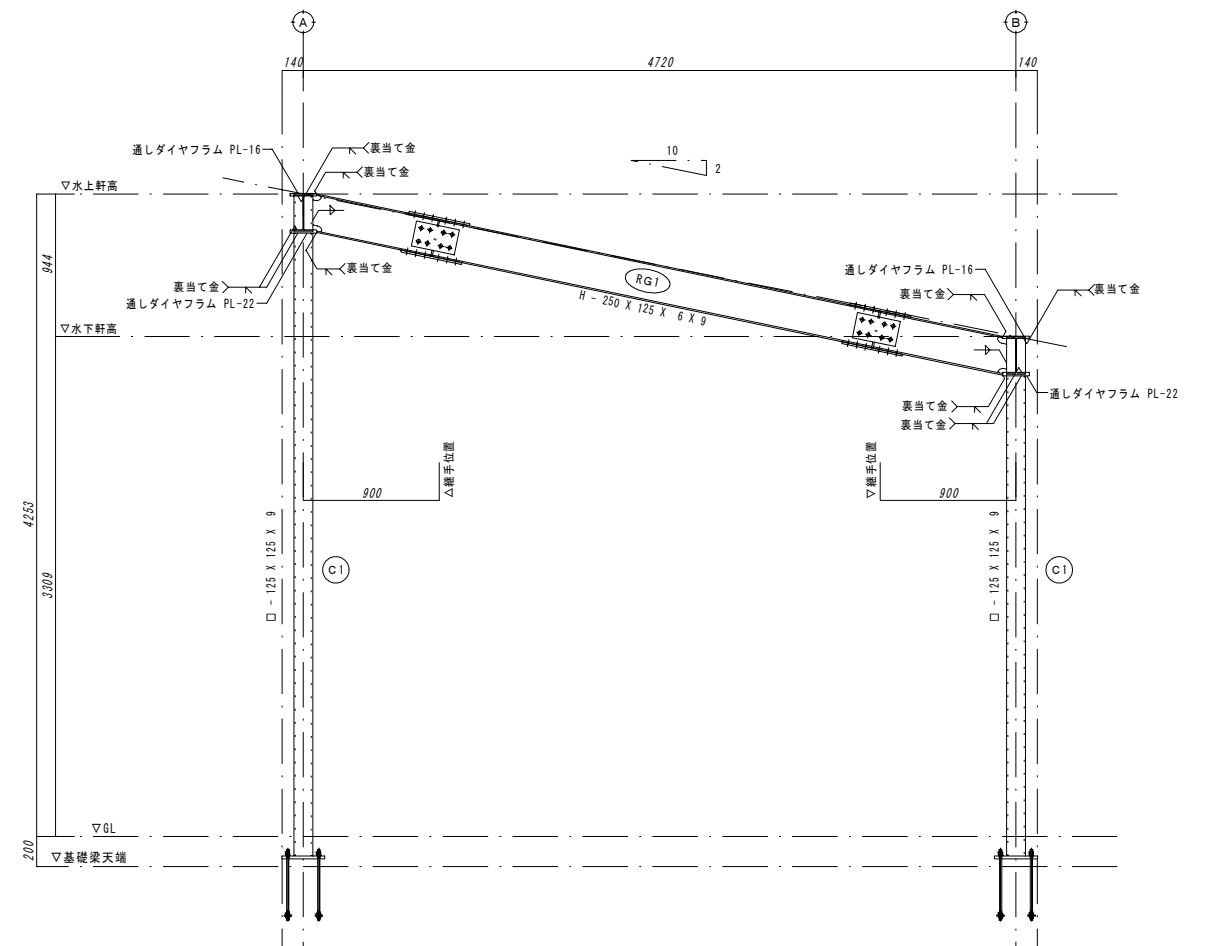
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池 RF伏図、部材リスト 部分詳細図	Scale	1:25
図 番	No. 40 Total 55 S-05	神 山 町 建 設 課	



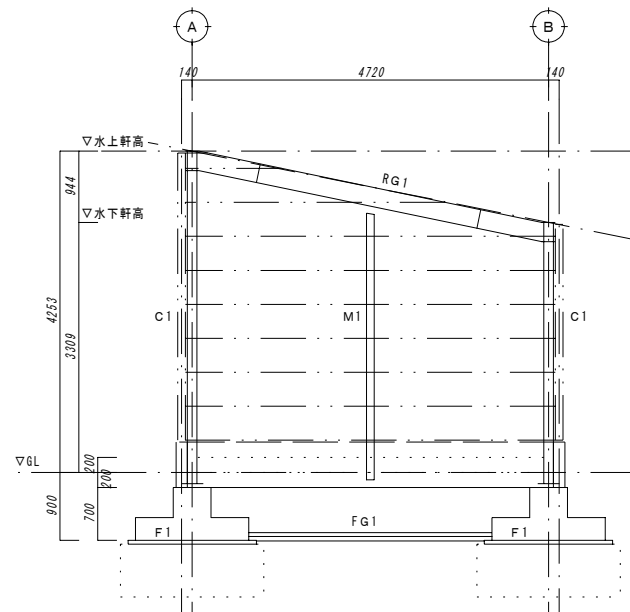
A通り軸組図 1/50



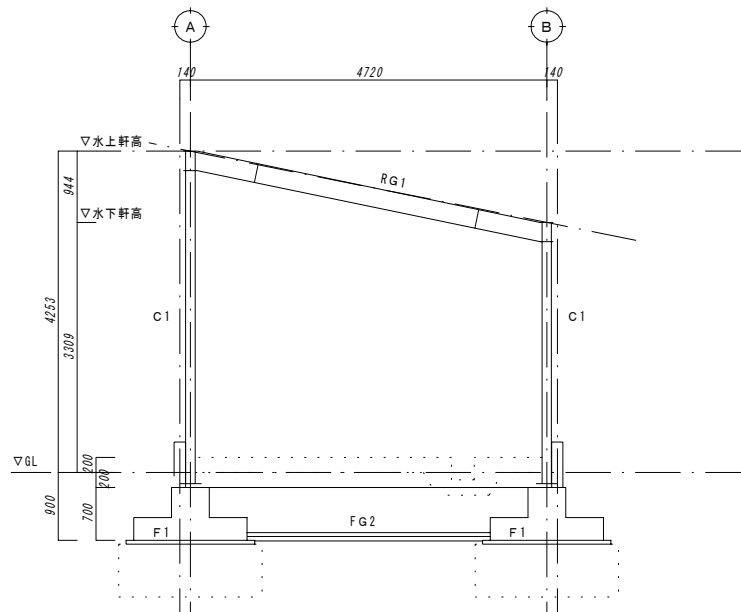
B通り軸組図 1/50



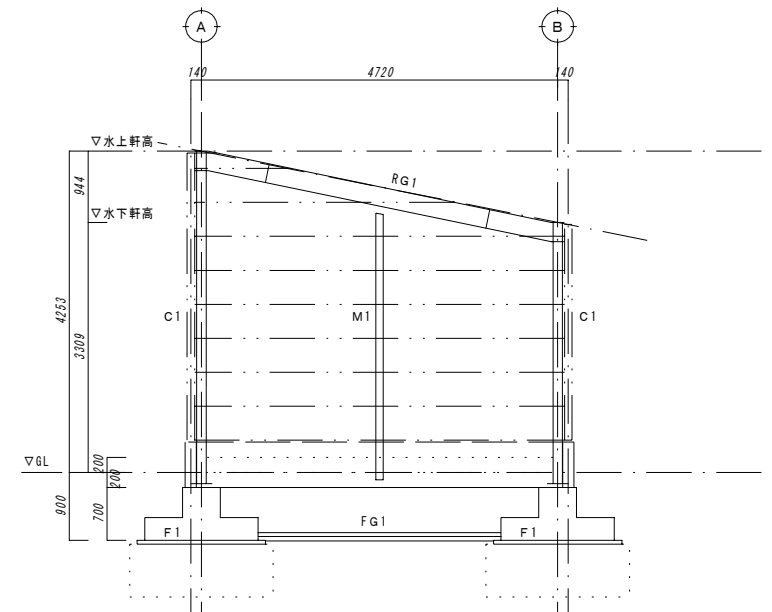
鉄骨詳細図 1/25



1通り軸組図 1/50



2通り軸組図 1/50



3通り軸組図 1/50

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池 軸組図 鉄骨詳細図	Scale	1:25, 1:50
図 番	NO. 41 Total 55 S-06	設計年月日	
神 山 町 建 設 課			

鉄骨構造標準図

7－1

(基礎配筋標準図)

I．構造設計概要

1．建築物の構造内容

(1) 建築場所

名西郡神山町広野

(2) 工事種別

■新築

□増築

□増改築

□改築

(3) 構造設計一級建築士の関与

□必要

■必要としない

□法第20条第一号（高さ60m超）

□法第20条第二号（□RC造高さ20m超□S造4階建以上□木造高さ13m超□その他）

注(3) 構造設計一級建築士の関与が義務付けられる建築物については解説書等を参照して確認すること。

(4) 階数

地下

階

地上

1階

塔屋

階

(5) 主要用途

発電機室

(6) 増築計画

□有（

）

■無

(7) 構造計算ルート

X方向ルート1－（1）Y方向ルート1－（1）

(8) 鉄筋の継手及び定義

建築基準法施行令36条及び73条による仕様規定に準ずる事。
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令73条の仕様規定によらずJASS(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC基準2018とすることができ

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート（レディーキャストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm ²	品質基準強度 Fq=N/mm ²	スランプ cm	種類
捨て・土間コンクリート用	■普通	18	18	8	
基礎・基礎梁	■普通	24	24	15	
ラップルコンクリート	■普通	18	18	8	

■単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

(2) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■SD295	D10, D13, D16	スラブ、梁	■重ね継手
	■SD345	D19	梁	■ガス圧接継手
	□SD390			□溶接継手
	□			□機械式継手
	□			
高強度せん断補強筋	□材種			
	□大臣認定番号			
丸鋼 (JIS G 3112)	□SR235			
溶接金網 (JIS G 3551)	□			

(3) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
■SS400□SM400□SN400A,B,C	大梁、小梁、間柱、BPL	□有■無	JIS G3101
■STKR400□STKR490□	柱	□有■無	
□BCR295□BCP235□	柱	□有□無	
□SM490A□SM490B■SN490C	ダイヤフラム	□有■無	JIS G3136
□SSC400□		□有□無	JIS G3350

ボルト○使用箇所の詳細については別添図示とする。

■高力ボルト
■普通：F10T■特殊：S10T 認定品（□M12■M16□M20□M22□M24）
□溶融亜鉛メッキ高力ボルトF8T
■中ボルト
M12 M
■アンカーボルト
■SS400 M
■ABR400 M
□ABR490 M
□ABM400 M
□ABM490 M
□大臣認定柱脚（メーカー仕様による）

□頭付きスタッドボルト
Φ＝L＝mm 使用箇所（□柱□大梁□小梁）
Φ＝L＝mm 使用箇所（□柱□大梁□小梁）

3．地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

■有（■敷地内□近隣）□無（□調査計画□有□無）

規格番号	資料有り	調査計画		資料有り	調査計画		資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確定）			平板載荷試験			液状化判定		
スプレッド試験			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料が有るものに○を記入する。

4．地業工事

(1) 直接基礎□ベタ基礎□布基礎■独立基礎試験堀□有□無
深さ GL-0.9 m、支持層ー、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □有 □無

(2) 地盤改良■ラップルコンクリート置換工法

深さ GL-1.15 m、長期許容支持力度 100 kN/m² 載荷試験 □有 □無

注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針；日本建築センター2018」を参考とする。

(3) 杭基礎 支持層ー

杭種	材 料	施 工 法	備 考
□RC□PRC	PRC(□Ⅰ種□Ⅱ種□Ⅲ種)	□打ち込み	
□PHC□H鋼	PHC(□A種□B種□C種)	□埋込み(セメントミルク工法)	
□鋼管□摩擦杭	鋼材 □SS400 □STK400	□	評定第 号
□SC杭□	□JIS	□	年 月 日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc N/mm ² Fq N/mm ² スランプ cm以下 セメント量 kg/m ³ 単位水量 kg/m ³ 鉄 筋 主筋 SD HOOP SD	□オールケーシング □拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 □手掘 □機械掘	評定 号 年 月 日

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
試験杭（□有□無）（□打ち込み □載荷 □孔壁測定）本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本 数	特 記 事 項

5．設備関係

・建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。

・建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずること。

・建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。

・煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。

・設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。

・設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。

・エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。

・特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。

・床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

・給湯設備は、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

6．その他

・諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

・各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

・必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

・本構造配筋標準図は、設計者の責任において使用すること。

II．配筋標準図

1．鉄筋の材料

鉄筋は表 1 により、種類の記号は特記による。

規 格 番 号	規 格 名 称	種 類 の 記 号
JIS G3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 SR295 SD295 SD345 SD390

溶接金網は JIS G3551（溶接金網及び鉄筋格子）により、網目の形状、寸法及び鉄線の径は特記による。

2．鉄筋の表示記号

鉄筋径	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表 示 記 号	●	×	∅	●	○	⊙	⊙	⊗	⊙

3．鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは下表による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

構 造 部 分 の 種 別	最小かぶり厚さ(mm)		
スラブ、耐力壁以外の壁	仕上りあり	20	
	仕上りなし	30	
	柱、梁、耐力壁	屋 内 仕上りあり	30
		仕上りなし	30
		屋 外 仕上りあり	30
		仕上りなし	40
擁壁、耐圧スラブ	40		
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁	*40	
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	*60	
煙突等高温を受ける部分	60		

注1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。

2. 「仕上りあり」とは、モルタル塗り等の仕上りのあるものとし、仕上塗材、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久上有効でない仕上りのものを除く。

3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。

4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。

5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶりの厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは、下記のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、特記による。

(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍

(2) 25mm

(3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは (d) による。

(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c) による。

4．鉄筋の末端部

鉄筋の末端部には、次の場合にフックをつける。

(1) 根巻き柱脚の主筋で末端部が頂部にあるもの。

(2) 杭基礎のベース筋。

(3) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

折曲げ角度	折 曲 げ 図	SD295 SD345 D16以下	SD390 D19～D38	
180°		D	3d以上	5d以上
135°		D	3d以上	5d以上
90°		D	3d以上	5d以上
135°及び90°(幅止め筋)		D	3d以上	5d以上

5．鉄筋の継手

(a) 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。

(b) 鉄筋の継手位置は、特記による。

(c) 鉄筋の重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

(1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表 5. 1 の重ね継手長さのうちの大きい値とする。

(2) (1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表 5. 1 による。

(3) 隣り合う継手の位置は、表 5. 2 による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

なお、先組工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所設ける場合は、特記による。

表 5. 1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	L ₁ （フックなし）	L _{1n} （フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

(注) 1. L₁、L_{1n}：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1n}は、図 5. 1 に示すようにフック部分ℓを含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

図 5. 1 フックありの場合の重ね継手の長さ

表 5. 2 隣合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	
	フックなしの場合	
圧接継手の場合		
機械式継手の場合		

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域記水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池 鉄骨構造標準図-1	Scale	none
図 番	42 Total 55 S-07	設計年月日	神 山 町 建 設 課

鉄骨構造標準図

7－3

(溶接A)

1

すみ肉溶接

1-2

K型すみ肉溶接

1-3

断続すみ肉溶接

特記事項

1適用範囲

1. 本標準図は「溶接工作基準・同解説、I アーク溶接、IVサブマージアーク自動溶接、IVガスシールド半自動溶接：日本建築学会」に従い、工場溶接を行う場合に適用する。
2. 特に設計者の指示がある場合はそれに従う。
3. 本図によらない場合は、設計者の承認を受ける。
4. 本構造標準図は、設計者の責任において使用すること。

2適用鋼材

溶接法	鋼材の記号					板厚 (mm)
M	SS400	SSC400	STKR400	STK400	STK490	2.3～6
M	SS400	SM490YA	STKR400	STK490		6～25
M	SM400A	SM490B	SN400B・C	SN490B・C		6～32
NG	SN490A	SM520B	SN400B・C	SN490B・C		6～38
G	SN400B・C	BCR295	BCP235	BCP295		6～45
S	SN400B・C	SN490B・C				6～45
	SM400B	SM400C・SM520C	SM570			6～50

予熱は、鉄骨工事技術指針に従い行うものとする。技術指針に該当しない鋼材については、必要な試験を行った上、適切な熱管理のもとで準用してよい。

3適用溶接法と記号

M	アーク手溶接
NG	ノンガスシールドアーク半自動溶接
G	ガスシールドアーク半自動溶接
S	サブマージアーク自動溶接
C	突合せ溶接
P	部分溶け込み溶接
F	すみ肉溶接
T	T継ぎ手
L	角継ぎ手
B	突合せ継ぎ手
I	I形
V	V形
レ	レ形
K	K形
X	X形
B	裏あて金
1	片面溶接
2	両面溶接

(例) MC-T-L-B1＝アーク手溶接突合せレ形T継ぎ手
-裏あて金付き片面溶接

4溶接姿勢

F	下向姿勢
H	水平又は、横向姿勢
V	立向姿勢
O	上向姿勢

手溶接における姿勢は、特記あるものを除き、原則として下向とする。

5その他

1. 使用板厚は半自動、自動溶接の場合は6mm以上とする。
2. 手溶接において、1層目の溶接を行う棒径は4mm以下とする。
3. 寸法の許容誤差で図示したもの以外は、下記による。
a 開先角度は、-3° ～+5° とする。
b 裏あて金のすきまは0とし許容誤差は、-0～+1とする。
c 重ね継ぎ手のすきまは0とし許容誤差は、-0～+2とする。
d グループ溶接部の相互の目違いは0とし、許容誤差は、-1～+1とする。
e 突き合わせ溶接及び部分溶け込み溶接の余盛の高さは、特記なき場合は、右記詳細図によるものとする。

柱H形鋼の場合

柱角形鋼管の場合

2

2

1

2

1

2

1

2

1

2

2

2

1

1-2

1

1-2

2

2

2

2

7エンドタブ、裏あて金、補強隅肉、スカークラップ

突合せ溶接の両端にはエンドタブを取付け、アークの開始および終了点とする。 寸法は下図による。
裏あて金の厚さは、母材の厚さ6mmの場合6mm、25mmまでは9mm、25mm以上は12mmとする。
スチール製エンドタブに替えてフラックスタブ・セラミックタブを監督員の承諾を得て使用する事ができる。

手溶接、半自動溶接

自動溶接

b

b

t

32

25

5

エンドタブ

裏あて金

溶接後切断する

b

b

t

32

25

5

100

5

切断線

t≦19 は b≧35 、 22≦ t ≦36 は b≧50とする。

A板突合せ継手

B仕口フランジ突合せ継手

C

D

T継手 (柱巾大)

T継手 (柱梁同巾)

C

T継手 (カバーPL付)

グラインダー仕上げ

カバーPL

梁フランジ

T継手、角継手には補強すみ肉を行う。
スカークラップ
カーブをつけるr=10
本図中、各溝の下端、左側はルート間隔、右側はルート面の許容誤差寸法を示す。

1-4重ねすみ肉溶接

S

t1

S

5t1以上、構造図指定

SはI表による。
許容誤差
隙間e -0～+2mm S、a、cは1(すみ肉溶接)に同じ

2レ型突合せ

45°

1～5

6

9

12

0～2

35°

1～5

8

12

16

19

22

25

3

F B9×25

M C

- T L - B 1

NG C

G C - T L - B 1

3レ型突合せ

45°

1～5

6

9

12

16

19

2

45° ～55°

1～5

3

裏はつり

M C

- T L - 2

NG C

G C - T L - 2

4K型突合せ

45°

1～5

25

22

2

22

25

60°

45° ～55°

1～5

25

22

12

22

25

60°

裏はつり

M C

- T K - 2

NG C

G C - T K - 2

5I型突合せ

6

6

裏あて金 13×13
又は F B6×25

M C

- L 1 - B 1

NG C

G C - L 1 - B 1

6レ型突合せ

35°

1～3

25

22

19

16

12

9

6

2

7

M C

- L L - B 1

NG C

G C - L L - B 1

7V型突合せ

35°

5以上

1～3

25

22

19

16

12

9

6

2

7

M C

- L V - B 1

NG C

G C - L V - B 1

8V型突合せ

60°

5以上

1～3

25

22

19

16

12

9

6

2

裏はつり

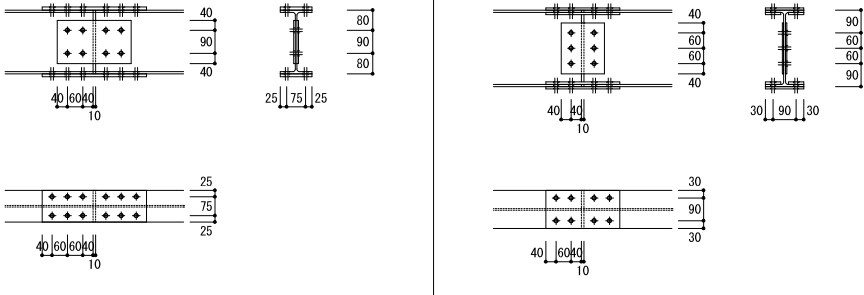
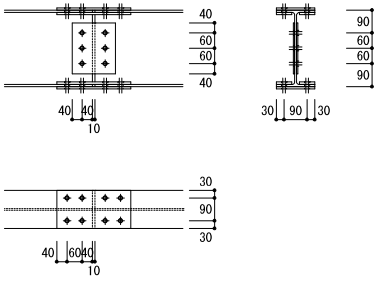
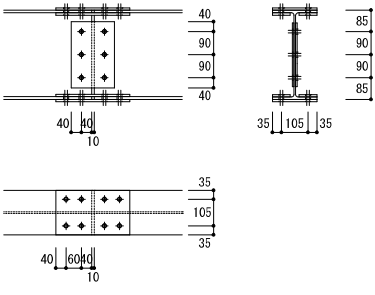
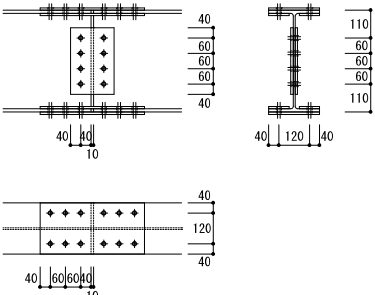
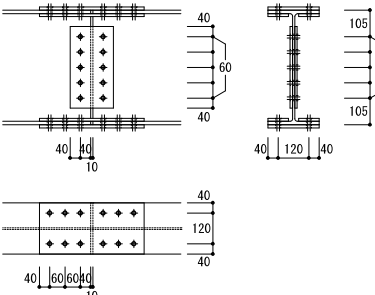
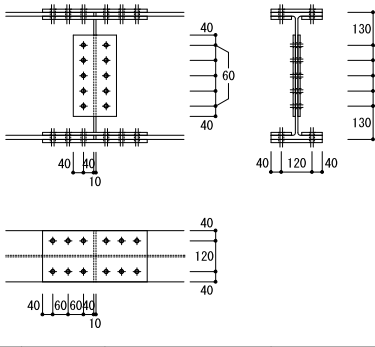
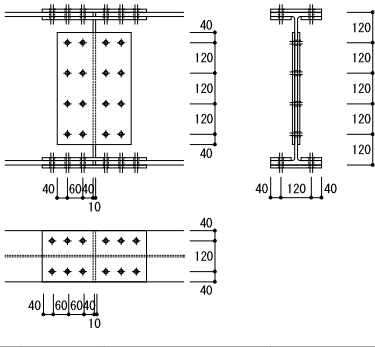
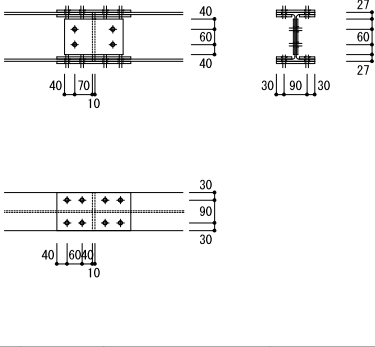
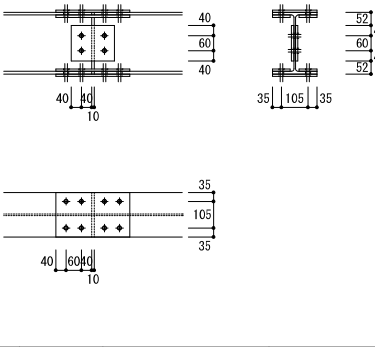
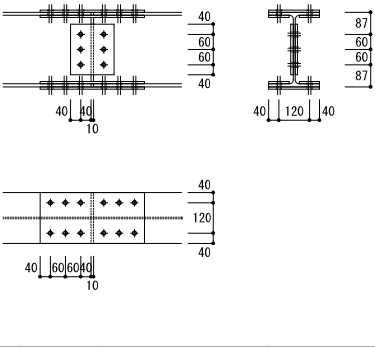
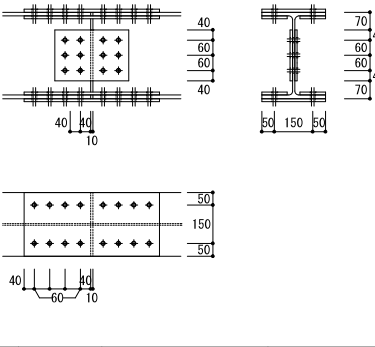
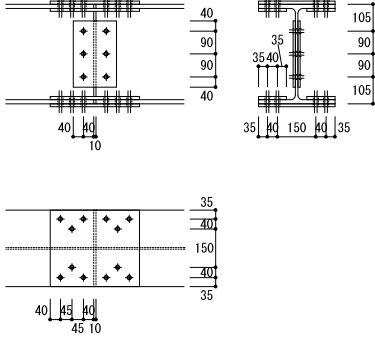
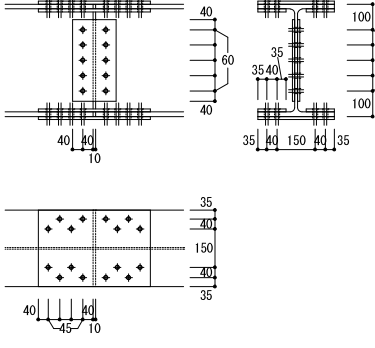
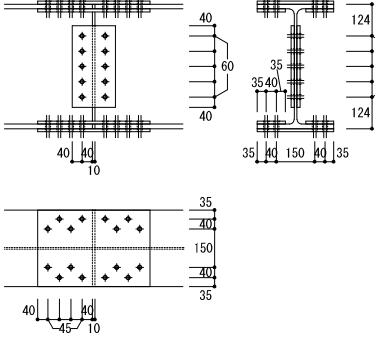
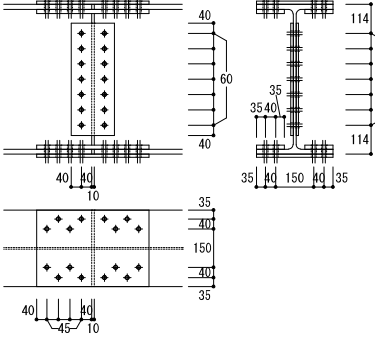
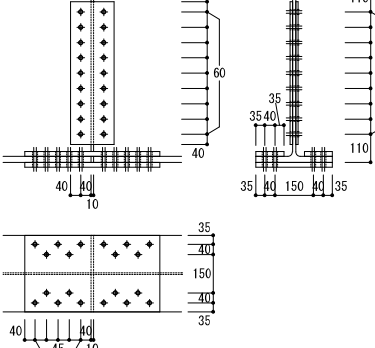
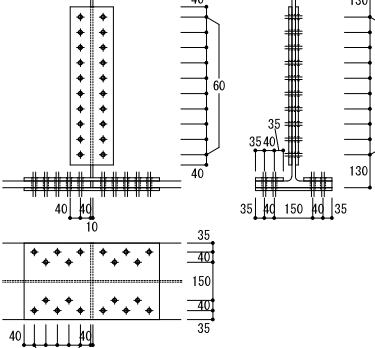
M C

- L V - 2

NG C

G C - L V - 2

事業名	令和年度 生活基盤近代化事業 広野区減水配水池施設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池	Scale	none
	鉄骨構造標準図-3	設計年月日	
図 番	NO. 44 -rel 55 S-09	神 山 町 建 設 課	

鉄骨構造標準図 7-4 (接合部)		H-250×125×6×9							H-300×150×6.5×9							H-350×175×7×11							H-400×200×8×13							H-450×200×9×14																																																																																																																																																																
H型鋼標準接合部																																																																																																																																																																																														
特記事項		1. 許容耐力設計において、存在応力が本標準図の許容耐力以内である事を確認すること。																					2. 本標準図は保有力接合を示す標準図である。																					3. 孔径はボルト軸径+2mm以内とする。																					4. 鋼材の材質は SS400、S400A・B・Cとする。																					5. 高力ボルトは S10T、F10Tとする。																					6. 亜鉛メッキを施した場合には本表は使用できない。																					7. 大梁の内法長さが本表に示す最小長さ以下の場合せん断耐力が不足するため本表は使用できない。																					8. 別途設計をした場合本標準図は使用しなくても良い。																					9. 継手部添板の切断はガス手動切断・シャー切断をしてはならない。																				
		高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品																																																																																																																																											
		全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ																																																																																																																																											
フランジ		24 M16 2 12 125 410							0.80m							16 M16 2 9 150 290							0.97m							16 M20 2 9 175 290							1.25m							24 M20 2 9 200 410							1.52m							24 M20 2 12 200 410							1.56m																																																																																																																													
																4 9 60 290														4 9 70 290														4 9 80 410														4 12 80 410																																																																																																																																				
ウェブ		8 M16 2 6 290 170														6 M16 2 6 170 200														6 M20 2 6 170 260														8 M20 2 9 170 260														10 M20 2 9 170 320																																																																																																																																				
H-500×200×10×16		H-600×200×11×17																					H-194×150×6×9																					H-244×175×7×11																					H-294×200×8×12																					H-340×250×9×14																																																																																																								
																																																																																																																																																																																														
		高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品																																																																																																																																											
		全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ																																																																																																																																											
フランジ		24 M20 2 12 200 410							1.57m							24 M20 2 12 200 410							1.46m							16 M16 2 9 150 290							0.95m							16 M20 2 9 175 290							1.17m							24 M20 2 9 200 410							1.36m							32 M20 2 12 250 530							1.65m																																																																																																															
		4 12 80 410														4 9 60 290														4 9 70 290														4 9 80 410														4 12 100 530																																																																																																																																				
ウェブ		10 M20 2 9 170 320														16 M20 2 9 290 440														4 M16 2 6 230 140														4 M20 2 9 170 140														4 M20 2 9 170 200														12 M20 2 9 290 200																																																																																																																						
H-390×300×10×16		H-440×300×11×18																					H-488×300×11×18																					H-588×300×12×20																					H-700×300×13×24																					H-800×300×14×26																																																																																																								
																																																																																																																																																																																														
		高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品							高力ボルト							母材と同等品																																																																																																																																											
		全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ							全数量 径 数量 厚さ 幅 長さ (本) (mm) (枚) (mm) (mm) (mm)							使用可能な梁の最小長さ																																																																																																																																											
フランジ		24 M22 2 12 300 350							1.98m							32 M22 2 12 300 440							2.33m							32 M22 2 12 300 440							2.27m							40 M22 2 19 300 530							2.52m							40 M22 2 19 300 530							2.95m							40 M22 2 19 300 530							3.01m																																																																																																															
		4 12 110 350														4 12 110 440														4 16 110 440														4 19 110 530														4 19 110 530																																																																																																																																				
ウェブ		8 M22 2 9 170 260														10 M22 2 9 170 320														10 M22 2 12 170 320														14 M22 2 9 170 440														18 M22 2 9 170 560														20 M22 2 12 170 620																																																																																																																						

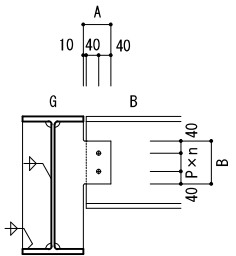
事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池 鉄骨構造標準図-4	Scale	none
図 番	1/0. 45 Total 55 S-10	神 山 町 建 設 課	
		設計年月日	

鉄骨構造標準図 7-5

小梁接合部

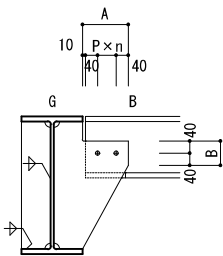
特記事項

1. 鋼材の材質は SS400 SM400A・B・Cとする。
2. ガセットプレートの材質は、大梁と同じものとする。
3. 高力ボルトは S10T・F10Tとする。
4. 大梁の横補剛材として使用する場合は別途計算の上決定する必要がある。
5. 本標準図は小梁の接合部を示すものであるが、別途設計を行う場合は本図を用いなくてよい。
6. 本標準図に記載されている耐力は参考値であって、本図を用いる場合は、耐力の確認を行うこと。
7. ボルト孔明けは、ドリル明けとする。
8. 小梁のたわみ量は算定していません。



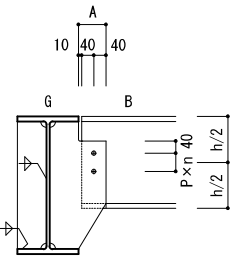
H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
A



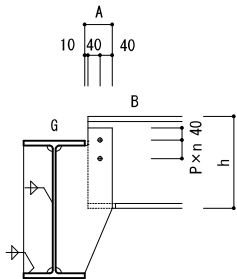
H-175×90
H-148×100 以下の場合

タイプ
B

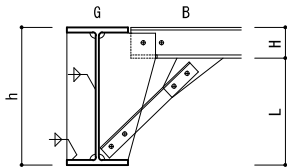


H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
C



タイプ
D



方杖材 $\theta=45^\circ$ $L>300$ 且つ $2\times H$
 2LS-65×65×6 の場合は方杖をいれる。
 HTB 4-M16
 b材取付はA-Eによる。

タイプ
E

記号	タイプ	細幅ｼｰｽﾞ 小梁 (B)	許容せん断耐力	HTB		G.P				記号	タイプ	中幅ｼｰｽﾞ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)		HTB		G.P			
				N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B					N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B		
BJ01		H-100×50×5×7	※[30.80]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	[39.13]	60×1	150×80	BJ51		H-148×100×6×9	[60.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[33.70]	60×1	150×80
BJ02			H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[58.70]	60×1	150×80	BJ52		H-300×150 H-294×200 以上		2-M16	[59.23]	9.0	※[50.55]	60×1	150×80		
BJ03		H-125×60×6×8	[49.46]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[45.93]	60×1	150×80	BJ53		H-194×150×6×9	[76.10]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140
BJ04			H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[68.89]	60×1	150×80	BJ54		H-300×150 H-294×200 以上		2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140		
BJ05		H-150×75×5×7	[53.45]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[52.72]	60×1	150×80	BJ55		H-244×175×7×11	[112.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M20	[92.38]	6.0	※[52.18]	60×1	90×140
BJ06			H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[79.09]	60×1	150×80	BJ56		H-300×150 H-294×200 以上		2-M20	[92.38]	9.0	※[78.27]	60×1	90×140		
BJ07		H-175×90×5×8	[63.87]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	※[59.23]	6.0	[59.52]	60×1	150×80	BJ57		H-294×200×8×12	[147.84]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200
BJ08			H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[89.29]	60×1	150×80	BJ58		H-340×250×9×14	[182.63]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260	
BJ09	A	H-200×100×5.5×8	[73.74]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140	BJ59		H-390×300×10×13	[242.78]	H-400×200 H-390×300 以上	4-M22	[223.59]	12.0	※[178.28]	60×3	90×260
BJ10			H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140	BJ60		H-440×300×11×18	[283.00]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M22	[279.48]	12.0	※[217.42]	60×4	90×320	
BJ11		H-248×124×5×8	※[75.19]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	[79.35]	60×2	90×200	BJ61		H-482×300×11×15	[306.92]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380
BJ12			H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ62		H-488×300×11×18	[306.92]	H-600×200 H-582×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380	
BJ13		H-250×125×6×9	[90.23]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	※[79.35]	60×2	90×200	BJ63		H-582×300×12×17	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440
BJ14			H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	※[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ64		H-588×300×13×20	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440	
BJ15		H-298×149×5.5×8	※[107.62]	H-298×149 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	[109.25]	60×2	90×200	BJ65		H-692×300×13×20	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560
BJ16		H-300×150×6.5×9	[127.19]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200	BJ66		H-700×300×13×24	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560
BJ17		H-346×174×6×9	※[130.45]	H-346×174 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	[140.23]	60×3	90×260	BJ67		H-792×300×14×22	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680
BJ18		H-350×175×7×11	[152.19]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260	BJ68		H-800×300×14×26	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680
BJ19		H-396×199×7×11	※[167.41]	H-396×199 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	[171.22]	60×4	90×320	BJ69		H-890×299×15×23	[755.52]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740
BJ20		H-400×200×8×13	[191.33]	H-400×200 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320	BJ70		H-900×300×16×28	[805.89]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740
BJ21		H-446×199×8×12	[226.11]	H-446×199 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320	注：1. 小梁に小梁（2次小梁）がつく場合は大梁（G）を小梁と読みかえる。 2. 図中[]内の数値は参考許容せん断力とし※印は最低値を示す。 3. H-100×50、H-125×60、H-150×75、H-175×90、H-148×100の 取付方法は、Bタイプ又はEタイプとする。										
BJ22		H-450×200×9×14	[254.38]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	12.0	※[228.29]	60×4	90×320											
BJ23		H-496×199×9×14	[273.94]	H-496×199 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380											
BJ24		H-500×200×10×16	[304.38]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380											
BJ25		H-600×200×11×17	[389.23]	H-600×200 H-582×300 以上	8-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×7	90×500											

耐力の単位:kN

注：1. 小梁に小梁（2次小梁）がつく場合は大梁（G）を小梁と読みかえる。

2. 図中〔 〕内の数値は参考許容せん断力とし※印は最低値を示す。

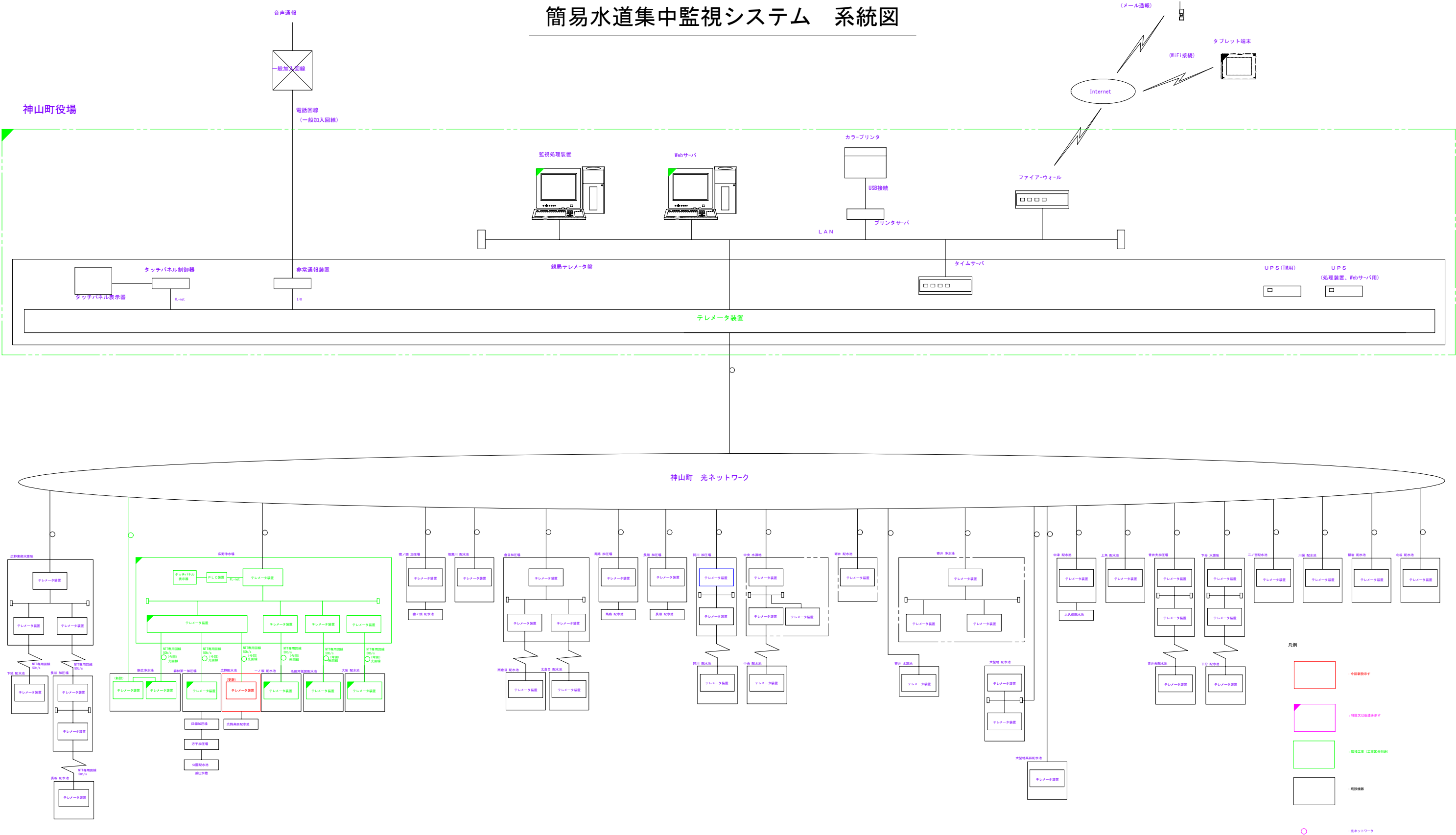
3. H-100×50、H-125×60、H-150×75、H-175×90、H-148×100の
取付方法は、Bタイプ又はEタイプとする。

事業名	令和6年度 生活基盤近代化事業 広野区東配水池施設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池 鉄骨構造標準図-5	Scale	none
図 番	NO. 46 Total 55 S-11	神 山 町 建 設 課	

鉄骨構造標準図 7ー7 (筋かい)	壁面ブレース（床面ブレースもこれに準ずる）		丸 鋼 (JISターンバックル筋かい)		e2は、平鋼を使用した場合の値		山 形 鋼 (シングル)		
	丸 鋼		平 鋼		溝 形 鋼		山 形 鋼 (ダブル背中合わせ)		
A. ターンバックル筋違 JIS A5540 1) ターンバックルボルト JIS A 5542の規格品、性能評定品。 材質 SS400 (JIS G3101) 種類 羽子板ボルトJIS記号：S 2) ターンバックル胴 JIS A 5541の規格品、性能評定品。 材質 SS400 (JIS G3101), ST KM11A, 12A, 13A, 14A (JIS G3445) 種類 1種 (割枠式 JIS記号：ST) 2種 (パイプ式 JIS記号：PT) 3) 接合用高力ボルトは S10T及び F10Tとする。 4) ターンバックルボルトの羽子板部分に製造メーカーの略号を刻印にて明示すること。 5) 筋かい端部の接合はせん断接合である。				TYPE① 		TYPE② 		TYPE③ 	
B. 平鋼、溝形鋼、山形鋼 筋違 		平 鋼		溝 形 鋼		山 形 鋼 (ダブル並列)			
1) 使用鋼材 SS400・SN400A・B 2) 筋違端部板の面内力だけでは力が伝達されない場合は、必ず水平あるいは鉛直のスチフナーをもうけ変形を防止し、十分な力を伝達させる対策を講じなければならない。 3) ガセットプレートの縁は第一ボルトの位置から筋違の軸線の左右各30度の線を切ってはならない。止むを得ずこれを切る場合は偏心による複合応力度の検討を行わなければならない。 4) 原則として梁は持出継手とし、ガセットプレートは梁心に合わせて溶接する。止むを得ず偏心する場合は局部変形防止の設計を行わなければならない。 5) すみ肉溶接の有効長さには、一辺の長さ 10S 以下は算入しない。 6) ガセットプレートの取付く部材厚はS以上とする。 7) トルシア形高力ボルトは S10T または、六角高力ボルトは F10T とする。 8) 特記なき寸法はmmとする。 9) ガセットプレートを突合せ溶接とする場合は詳細設計を行うものとする。 10) 柱梁とガセットプレートの接合部を変更する場合は詳細設計を行うものとする。 11) ブレースの付く柱脚では引抜力はアンカーボルトで、水平力及び偏心力は根巻き鉄筋コンクリートによって処理するものとする。止むを得ず実施出来ない場合は引抜き水平力及び偏心力に対するアンカーボルトの設計を行わなければならない。 12) 本標準図に記載されていないものは別途詳細設計を行うこと。									
		山 形 鋼		山 形 鋼		山 形 鋼		山 形 鋼	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	
		シングル		ダブル背中合わせ		ダブル並列		シングル	

事業名	令和6年度 生活基盤近代化事業 広野高瀬池水田施設工事	免注機関	神 山 町
図 名	配水池	Scale	none
	鉄骨構造標準図-7	設計年月日	
図 番	NQ 48 Total 55 S-13	神 山 町 建 設 課	

簡易水道集中監視システム 系統図



事業名	令和8年度 生活基礎近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山町
図 名	簡易水道集中監視	Scale	FREE
	システム系統図	設計年月日	
図 番	NO. 49	神山町建設課	
	Total 55		

広野簡易水道 施設フロー図 1

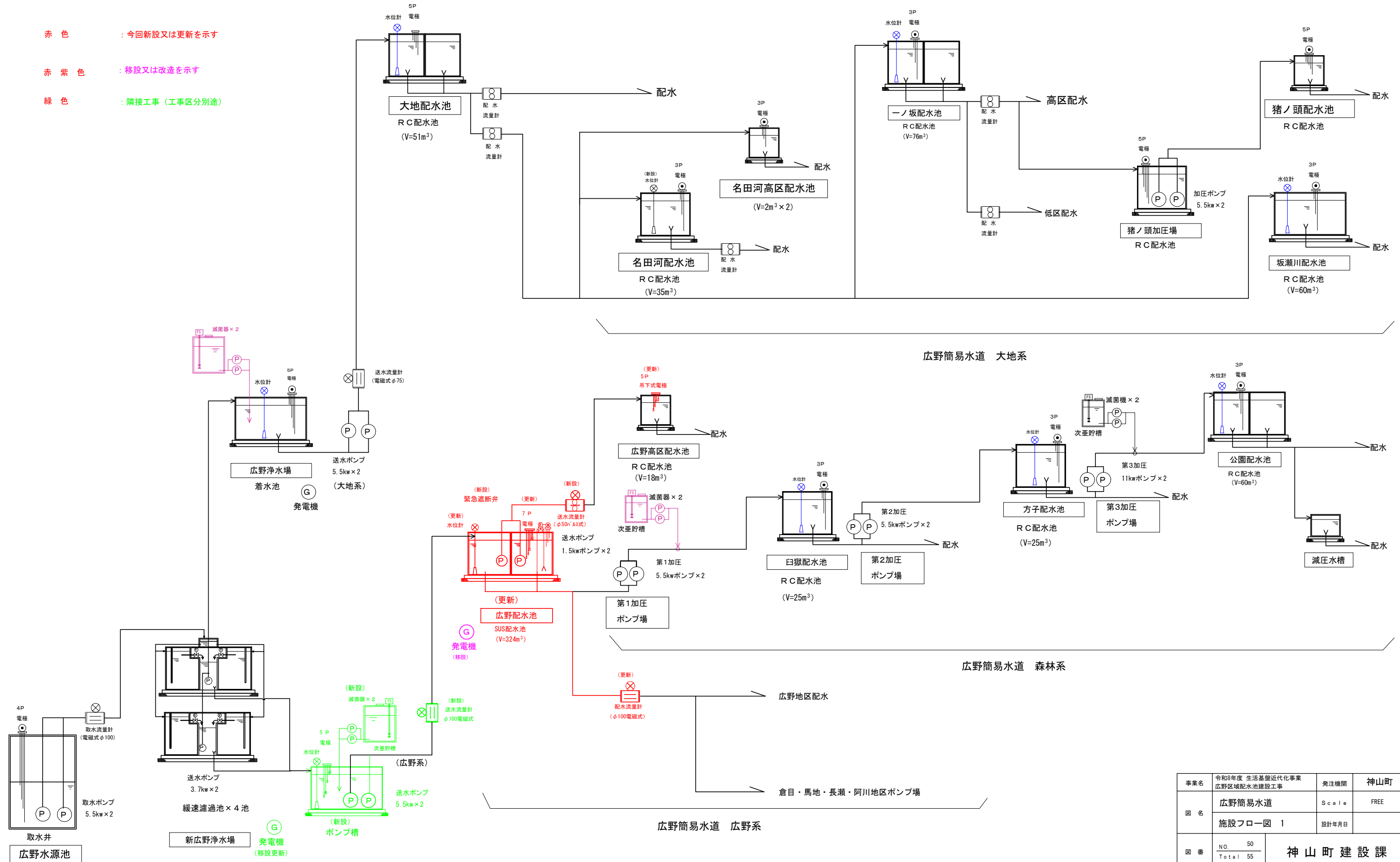
(大地系・広野系・森林系)

凡例

赤 色 : 今回新設又は更新を示す

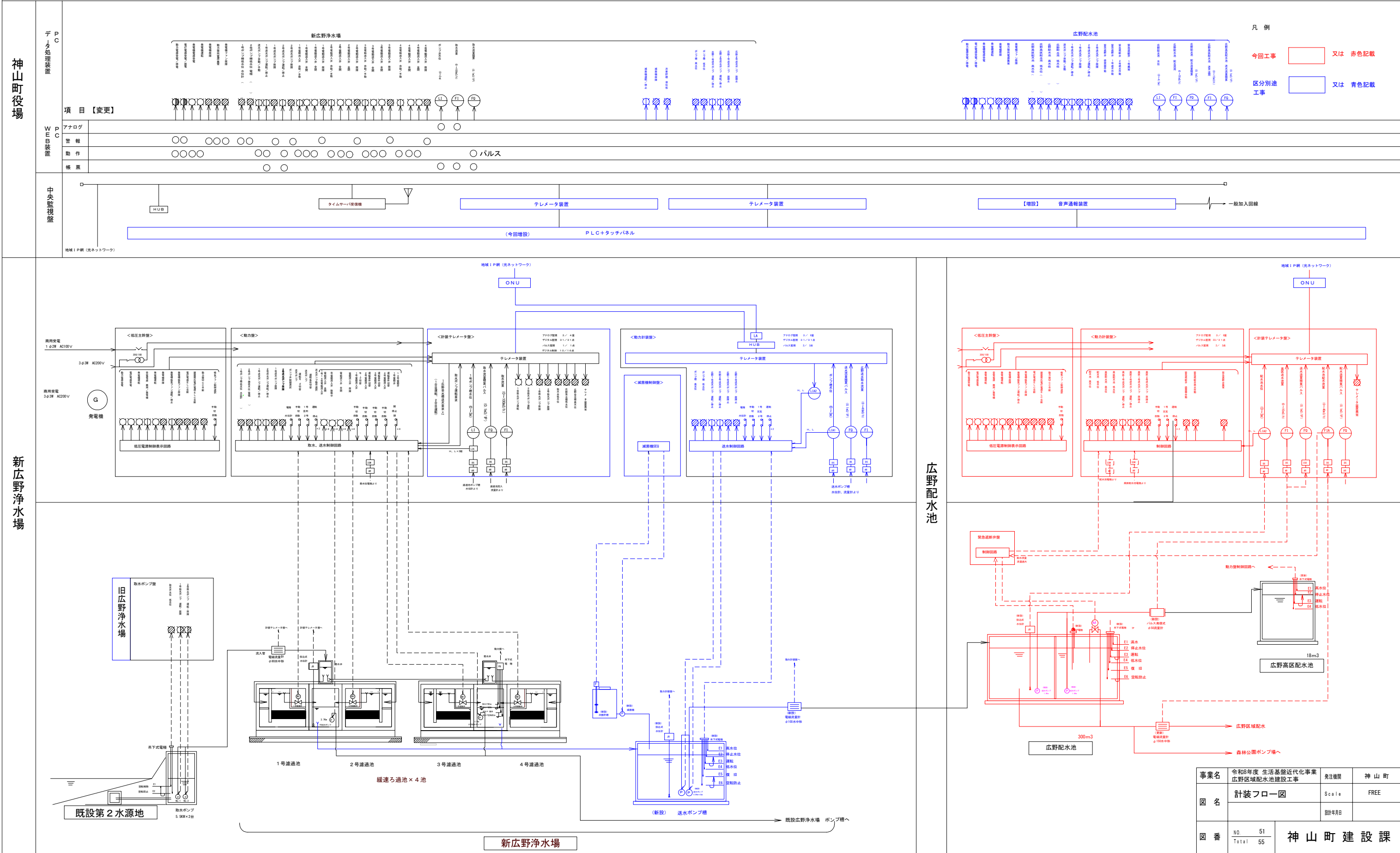
赤 紫 色 : 移設又は改造を示す

緑 色 : 隣接工事 (工事区分別途)

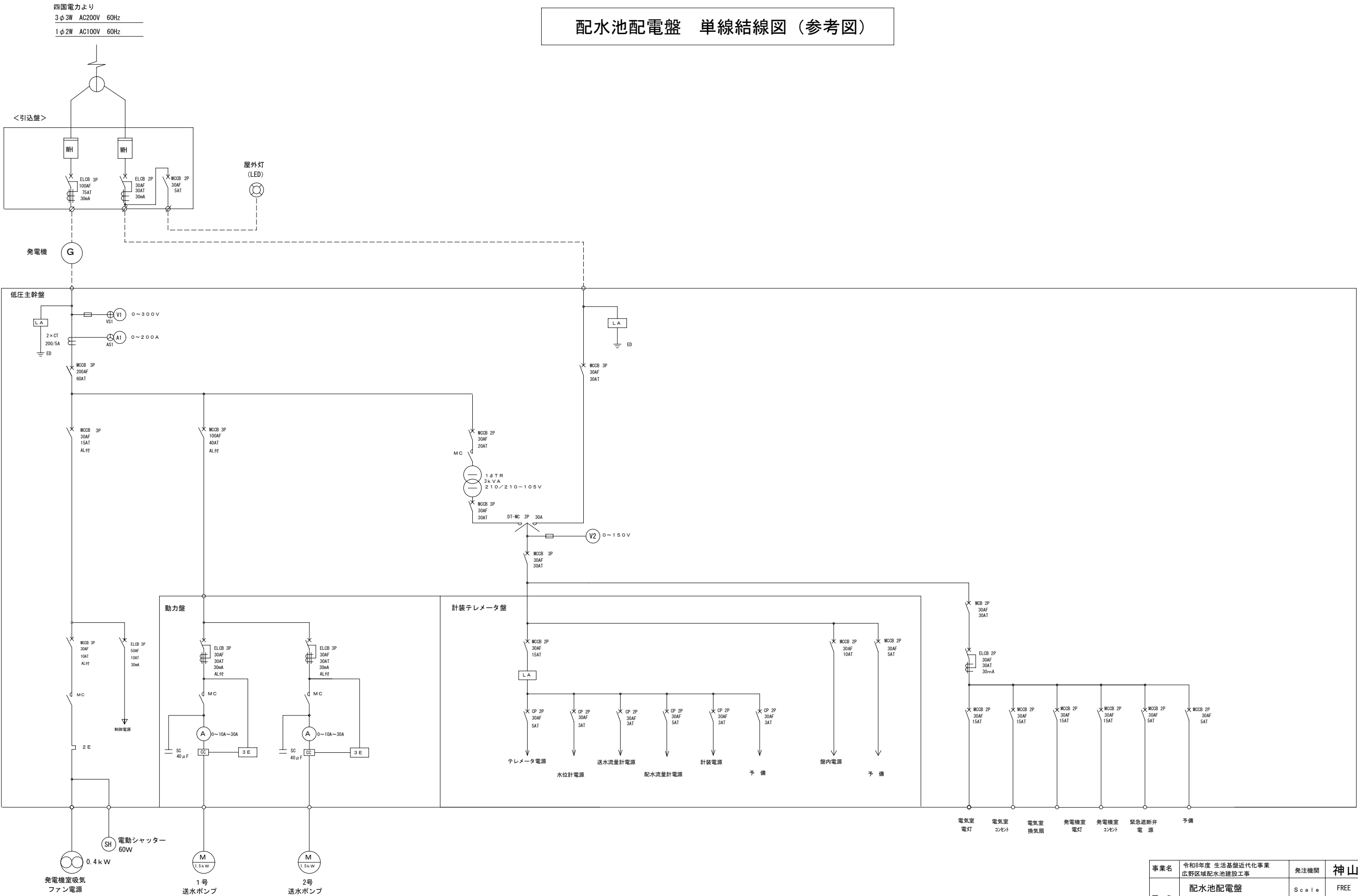


事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山町
国 名	広野簡易水道 施設フロー図 1	Scale	FREE
図 番	NO. 50 Total 55	設計年月日	神山町建設課

広 野 地 区

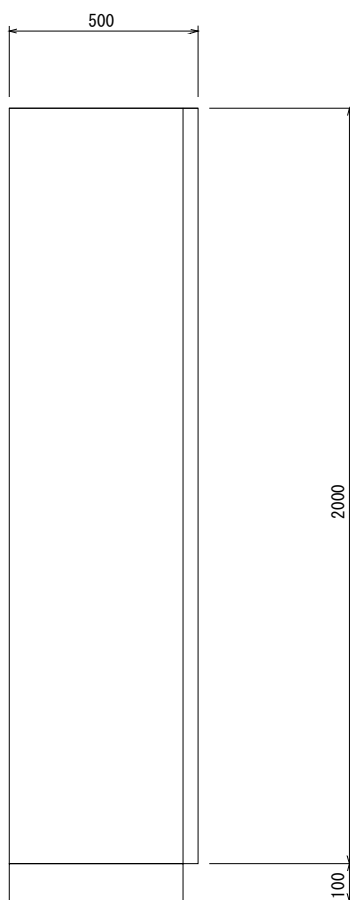
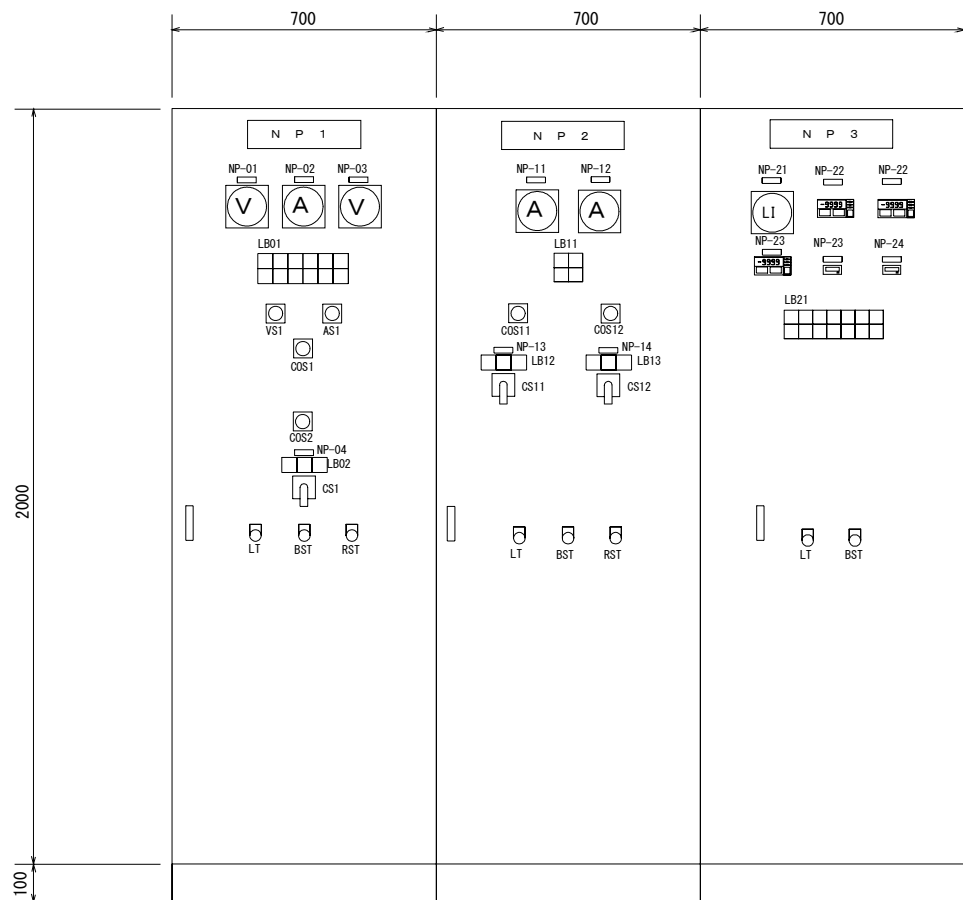


配水池配電盤 単線結線図（参考図）



事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山町
図 名	配水池配電盤	Scale	FREE
	単線結線図（参考図）	設計年月日	
図 番	NO. 52	神山町建設課	
	Total 55		

配水池配電盤 外形図（参考図）



表示灯記入文字

表示色 (白色) (橙色) (緑色) (赤色)

発電機
運 転
故 障

動力電源 AC200V 商用受電	発電機 運 転	予 備	電灯電源 ELCB断	動力盤 MCB断	予 備
電灯電源 AC100V 商用受電	発電機 故 障	排気ファン 故 障	建屋屋外 電灯コンセント ELCB断	動力盤 MCB断	予 備

LB02～LB03

停 止	運 転	故 障
-----	-----	-----

LB11

予 備	高区配水池 高水位	予 備
配水池 満 水	高区配水池 低水位	予 備

LB12～LB13

停 止	運 転	故 障
-----	-----	-----

LB21

配水池 高水位 (電極)	配水池 低水位 水位計)	予 備	緊急遮断弁 電動弁 閉	緊急遮断弁 遮 水	配水池 配水流量 過 大	リレー装置 異 常
配水池 低水位 (電極)	配水池 低水位 (水位計)	予 備	緊急遮断弁 故障	緊急遮断弁 感震器 作 動	予 備	予 備

低圧主幹盤

動 力 盤

計装テレメータ盤

配電盤仕様

型 式	屋内自立閉鎖型
材 質	筐体・扉 鋼板製 2.3mm
塗 装	メラミン樹脂塗料焼付塗装 マンセル5 Y 7 / 1 (全艶)

凡 例

低圧主幹盤 銘板文字

記 号	名 称	備 考
N P 1	低圧主幹盤	銘 板
NP-01	AC200V動力電源電圧	電圧計
-02	AC200V動力電源電流	電流計
-03	AC100V電灯電源電圧	電圧計
-04	吸気ファン	切替スイッチ

低圧主幹盤 スイッチ類文字

記 号	名 称	備 考
VS1	動力電源電圧 切-RS-ST-TR-切	切替 スイッチ
AS1	動力電源電流 切-R-S-T-切	"
COS1	AC100V受電選択 自動-切-発電機	制御 スイッチ
COS2	吸気ファン動作モード選択 手動-切-自動	"
CS1	入-切	"
LT	ランプテスト	押釦スイッチ
BST	警報停止	"
RST	警報復帰	"

動力盤 銘板文字

記 号	名 称	備 考
N P 2	送水ポンプ盤	銘 板
NP-11	1号送水ポンプ運転電流	電流計
-12	2号送水ポンプ運転電流	"
-13	1号送水ポンプ	銘 板
-14	2号送水ポンプ	"

動力盤 スイッチ類文字

記 号	名 称	備 考
COS11	送水ポンプ 運転モード切替 手動-切-自動	切替 スイッチ
COS12	送水ポンプ 運転条件切替 1号-交互-2号	切替 スイッチ
CS11～ CS12	送水ポンプ 動作選択 運転-停止	制御 スイッチ

動力盤 スイッチ類文字

記 号	名 称	備 考
LT	ランプテスト	押釦スイッチ
BST	警報停止	"
RST	警報復帰	"

計装盤 銘板文字

記 号	名 称	備 考
N P 3	計装テレメータ盤	銘 板
NP-21	配水池水位	広角指示計
-22	配水池配水流量	"
-23	高区送水流量	"
-22	配水池配水流量積算	流量積算表示器
-23	高区送水流量積算計	"

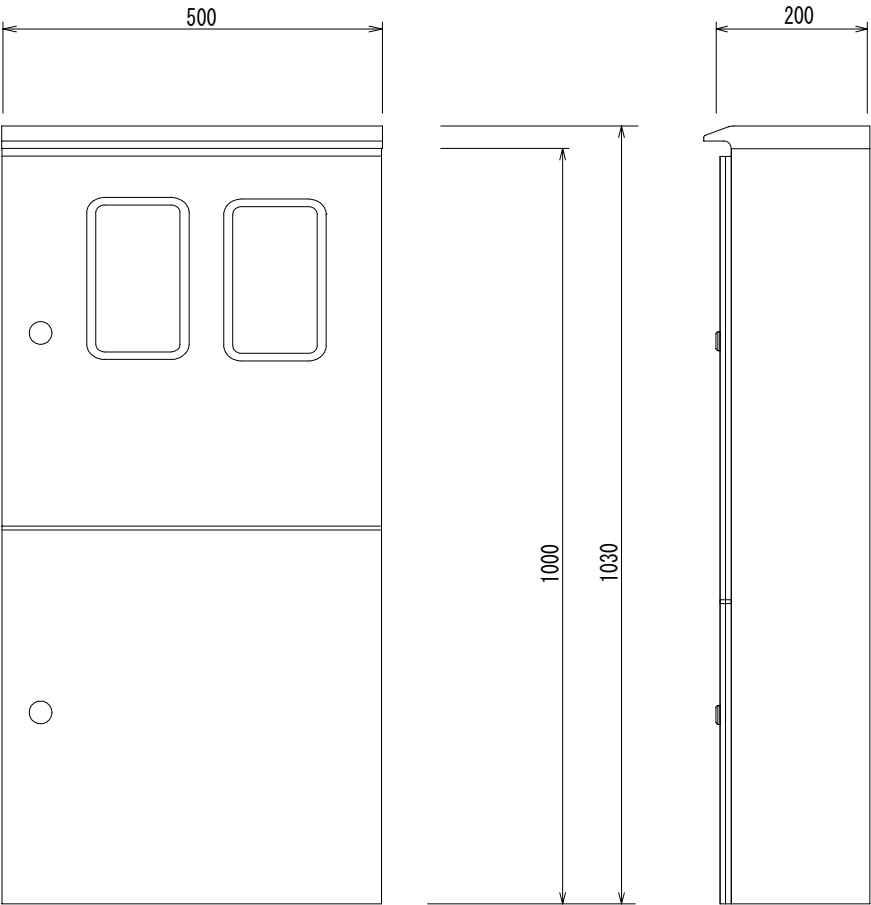
低圧盤 スイッチ類文字

記 号	名 称	備 考
LT	ランプテスト	押釦スイッチ
BST	警報停止	"

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神 山 町
図 名	配水池配電盤（参考図） 外形図	Scale	1:10
図 番	NO. 53 Total 55	神 山 町 建 設 課	

引込盤・光整端部収納盤(参考図)

引込盤 外形図



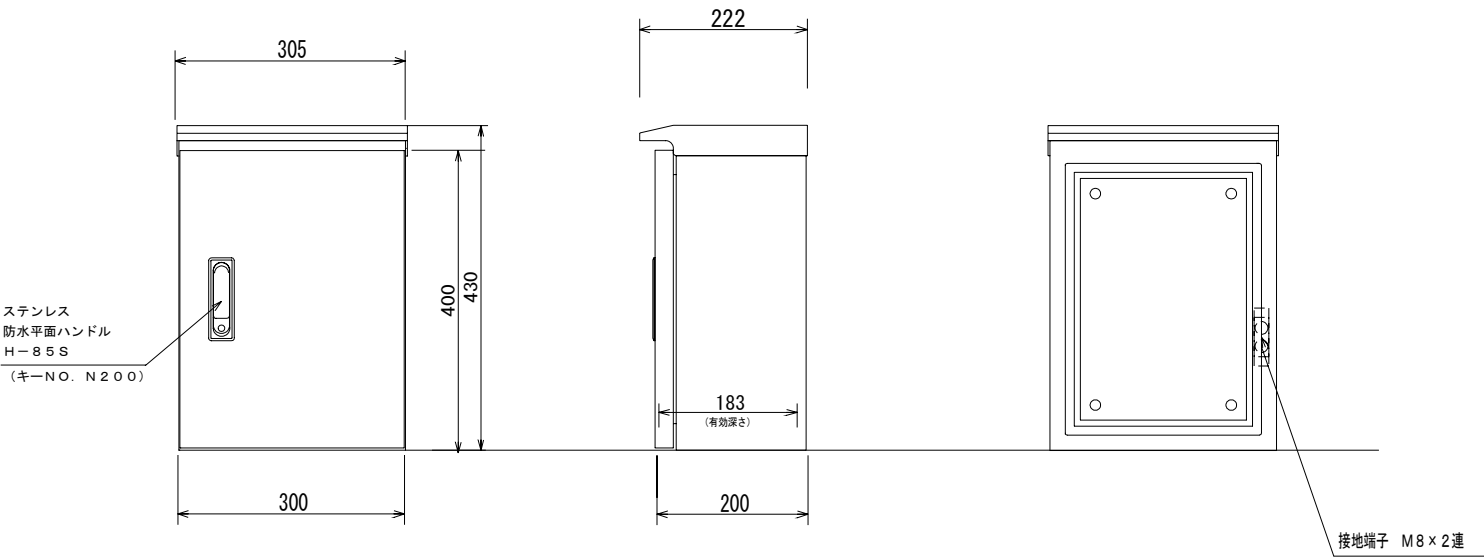
正面図

側面図

引込盤仕様

型 式	屋外壁取付形（2窓形、鍵付）
材 質	筐体・扉 SUS 1.5mm
塗 装	5Y1/7 艶有
内 部	木台、MCCB（2P、3P）付

光整端部収納盤



正面図

側面図

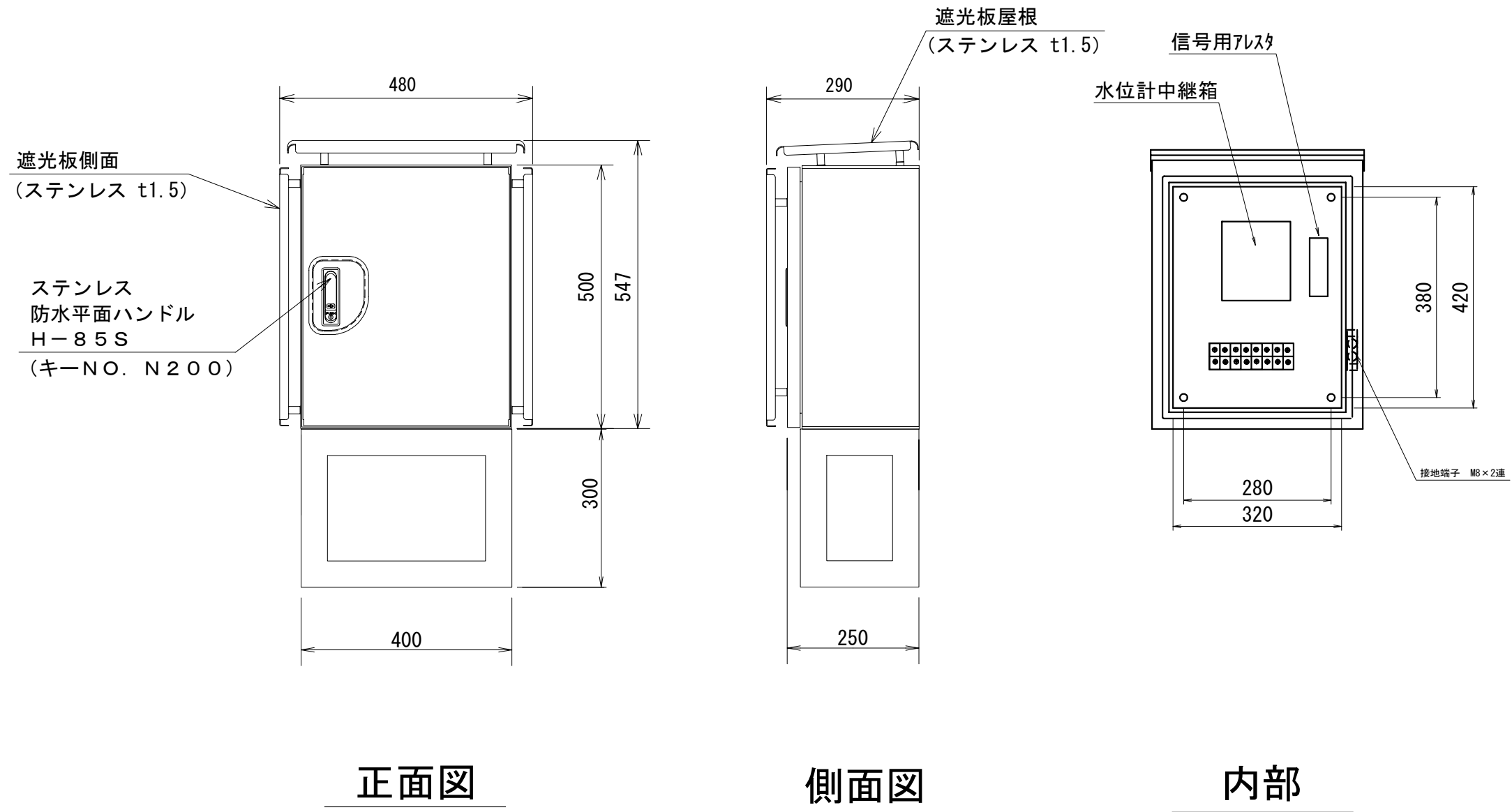
内面図

保安器箱仕様

型 式	屋外壁取付形（鍵付）
材 質	筐体・扉 SUS 1.5mm
塗 装	5Y1/7 艶有
内 部	支柱装柱金具含む

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山町
図 名	引込盤、光整端部	Scale	S=1 : 5
	収納盤外観図	設計年月日	
図 番	NO. 54	神 山 町 建 設 課	
	Total 55		

水位計中継箱収納盤外形図(参考図)



水位計中継箱収納盤仕様

型 式	屋外自立型
材 質	筐体・扉 SUS 1.5mm以上
塗 装	5Y1/7 艶有
内 部	鉄板基盤付
ペ-ス	SUS L50×50×t3 以上

事業名	令和8年度 生活基盤近代化事業 広野区域配水池建設工事	発注機関	神山市
図 名	水位計中継箱	Scale	1:5
	収納盤外形図	設計年月日	
図 番	NO. 55	神 山 町 建 設 課	
	Total 55		